

寄 居 町  
一般廃棄物（ごみ）処理基本計画  
素 案

平成28年12月

寄 居 町



# 目 次

|                             |           |
|-----------------------------|-----------|
| <b>第 1 章 総則</b> .....       | <b>1</b>  |
| 第 1 項 計画策定の主旨 .....         | 1         |
| 第 2 項 基本方針 .....            | 2         |
| 第 3 項 計画目標年次の設定 .....       | 2         |
| 第 4 項 本計画の位置付け .....        | 3         |
| <b>第 2 章 地域の概要</b> .....    | <b>4</b>  |
| 第 1 項 自然環境の特性 .....         | 4         |
| 1. 地理的、地形的特性 .....          | 4         |
| 2. 気候的特性 .....              | 5         |
| 第 2 項 社会環境の特性 .....         | 7         |
| 1. 人口動態、分布状況 .....          | 7         |
| 2. 都市の形態 .....              | 8         |
| 3. 産業の動向 .....              | 9         |
| 第 3 項 生活環境の特性 .....         | 10        |
| 1. 主要な交通 .....              | 10        |
| 2. 土地利用状況 .....             | 11        |
| 3. 将来計画（開発計画）等 .....        | 11        |
| 4. 環境の状況 .....              | 12        |
| <b>第 3 章 ごみ処理の状況</b> .....  | <b>19</b> |
| 第 1 項 ごみの発生量の実績及びその性状 ..... | 19        |
| 1. ごみ処理の流れ .....            | 19        |
| 2. 種類別排出量 .....             | 20        |
| 3. 排出形態別排出量 .....           | 20        |
| 4. 1 人 1 日当たりの排出量 .....     | 21        |
| 5. 1 日当たりの事業系ごみの排出量 .....   | 21        |
| 6. 中間処理量 .....              | 22        |
| 7. 最終処分量 .....              | 23        |
| 8. ごみの性状 .....              | 23        |
| 第 2 項 ごみの減量化・再資源化 .....     | 25        |
| 1. 資源となるごみの分別収集 .....       | 25        |
| 2. 不燃ごみからの資源回収 .....        | 25        |

|            |                         |           |
|------------|-------------------------|-----------|
| 3.         | 団体資源回収                  | 26        |
| 第3項        | ごみ処理の体制                 | 27        |
| 1.         | 家庭系ごみの処理体制              | 27        |
| 2.         | 事業系ごみの処理体制              | 27        |
| 3.         | 中間処理の状況                 | 28        |
| 4.         | 最終処分の状況                 | 30        |
| 5.         | ごみ処理経費の状況               | 31        |
| 第4項        | ごみ処理の施策展開の現状            | 32        |
| 第5項        | 関係法令                    | 33        |
| 第6項        | 課題の抽出                   | 34        |
| <b>第4章</b> | <b>ごみ処理基本計画</b>         | <b>35</b> |
| 第1項        | ごみの発生・排出抑制の方策           | 35        |
| 1.         | 行政における方策                | 35        |
| 2.         | 住民における方策                | 36        |
| 3.         | 事業者における方策               | 37        |
| 4.         | その他民間活用（彩の国資源循環工場）による方策 | 37        |
| 第2項        | ごみの排出量及び処理量の見通し         | 38        |
| 1.         | 行政区域内人口の予測              | 39        |
| 2.         | ごみ排出量の見通し               | 41        |
| 3.         | 種類別排出量の見通し              | 48        |
| 4.         | 資源化量の見通し                | 49        |
| 5.         | 発生・排出抑制による減量効果の予測       | 50        |
| 第3項        | 発生抑制及び資源化の目標            | 51        |
| 1.         | 目標値の設定                  | 51        |
| 2.         | 削減目標の設定                 | 52        |
| 3.         | 目標を達成した場合のごみ排出量         | 55        |
| 第4項        | ごみの発生・排出抑制施策の展開         | 57        |
| 1.         | 行政による施策展開               | 58        |
| 2.         | 住民による施策展開               | 58        |
| 3.         | 事業者による施策展開              | 59        |
| 4.         | その他民間活用による施策展開          | 59        |
| 第5項        | ごみの適正処理に関する基本的事項        | 60        |
| 1.         | 収集・運搬計画                 | 60        |
| 2.         | 中間処理計画                  | 61        |
| 3.         | 最終処分計画                  | 64        |
| 第6項        | ごみ処理・処分技術の動向            | 65        |
| 1.         | 可燃ごみの処理方式               | 65        |
| 2.         | 不燃・粗大ごみの処理方式            | 71        |

|     |                 |    |
|-----|-----------------|----|
| 3.  | 最終処分等の方式        | 72 |
| 第7項 | その他の施策          | 73 |
| 1.  | 広報啓発活動          | 73 |
| 2.  | 再生利用品の需要拡大事業    | 73 |
| 3.  | 不法投棄対策          | 73 |
| 4.  | 災害時の廃棄物処理に関する対応 | 73 |
| 5.  | 地球温暖化防止に関する対応   | 74 |
| 6.  | 広域化の推進方策        | 74 |
| 7.  | 関連施設との整合        | 74 |
| 第8項 | 進行管理計画          | 75 |
| 1.  | 施策推進体制の整備       | 75 |
| 2.  | 計画の検証方法         | 75 |



# 第1章 総則

## 第1項 計画策定の主旨

寄居町（以下「本町」という。）は、昭和59年2月に竣工した寄居町環境事業所において、ごみ処理を行ってきましたが、平成14年12月からは、大里広域市町村圏組合（以下「組合」という。）にて、ごみ処理を行っています。

国では、「環境基本法」をはじめとする廃棄物に関する各種関連法の整備を進め、また、社会のあり方や生活様式の変化に伴い、環境への負荷の少ない資源循環型の社会を構築するため、各種関連法の改正も行なってきました。

また、埼玉県では、3R（廃棄物の発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））をごみ処理施策の基本として位置づけており、組合や構成市の熊谷市、深谷市も3Rの実現に向け取り組んでいます。

こうした状況の中、本町においてもごみの減量化の促進、資源循環の促進をはじめとする基本方針に沿って、ごみ処理行政を進めています。人口減少や少子高齢化が急速に進展しており、ますます厳しい財政状況の進行が予想され、行政運営の効率化と良質できめ細かな行政サービスを提供していくことが求められています。

以上のことを踏まえながら、また、「第8次埼玉県廃棄物処理基本計画（平成28年3月）」や「大里広域市町村圏組合一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（平成27年3月）」などの計画に基づき、「寄居町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」（以下「本計画」という。）を策定することとなりました。

## 第 2 項 基本方針

本計画の基本方針を次のとおり定めます。

### 基本方針Ⅰ：3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

3R（リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用））を基軸に、住民、事業者が取り組みやすい、参加しやすい循環型社会を構築します。

### 基本方針Ⅱ：安心安全で環境にやさしいごみ処理の推進

ごみの収集運搬、中間処理、最終処分にあたっては、発生する環境負荷をできる限り軽減するとともに、ごみ処理に関する住民サービスを充実し、組合と連携しながら安全で環境にやさしいごみ処理を推進します。

### 基本方針Ⅲ：住民・事業者が実践し協働しやすいごみ処理体制の構築

住民・事業者のそれぞれが環境に配慮した生活や事業活動を営むとともに、行政と協働してごみの減量、資源の有効活用、適正処理を進められるごみ処理体制を構築します。

## 第 3 項 計画目標年次の設定

目標年次は計画策定時より 10 年間とし、平成 29 年度を初年度、平成 38 年度を目標年次とします。概ね 5 年ごとに改定するほか、計画策定の前提となっている諸条件に大きな変動があった場合には見直しを行うこととします。

なお、中間目標年次を 5 年後の平成 33 年度とします。



図 1-1 計画の期間

## 第 4 項 本計画の位置付け

本計画は、長期的・総合的視点に立った計画的なごみの適正処理を推進するため、ごみの発生・排出抑制から彩の国資源循環工場を含めた最終処分までの必要な基本的事項を定めます。

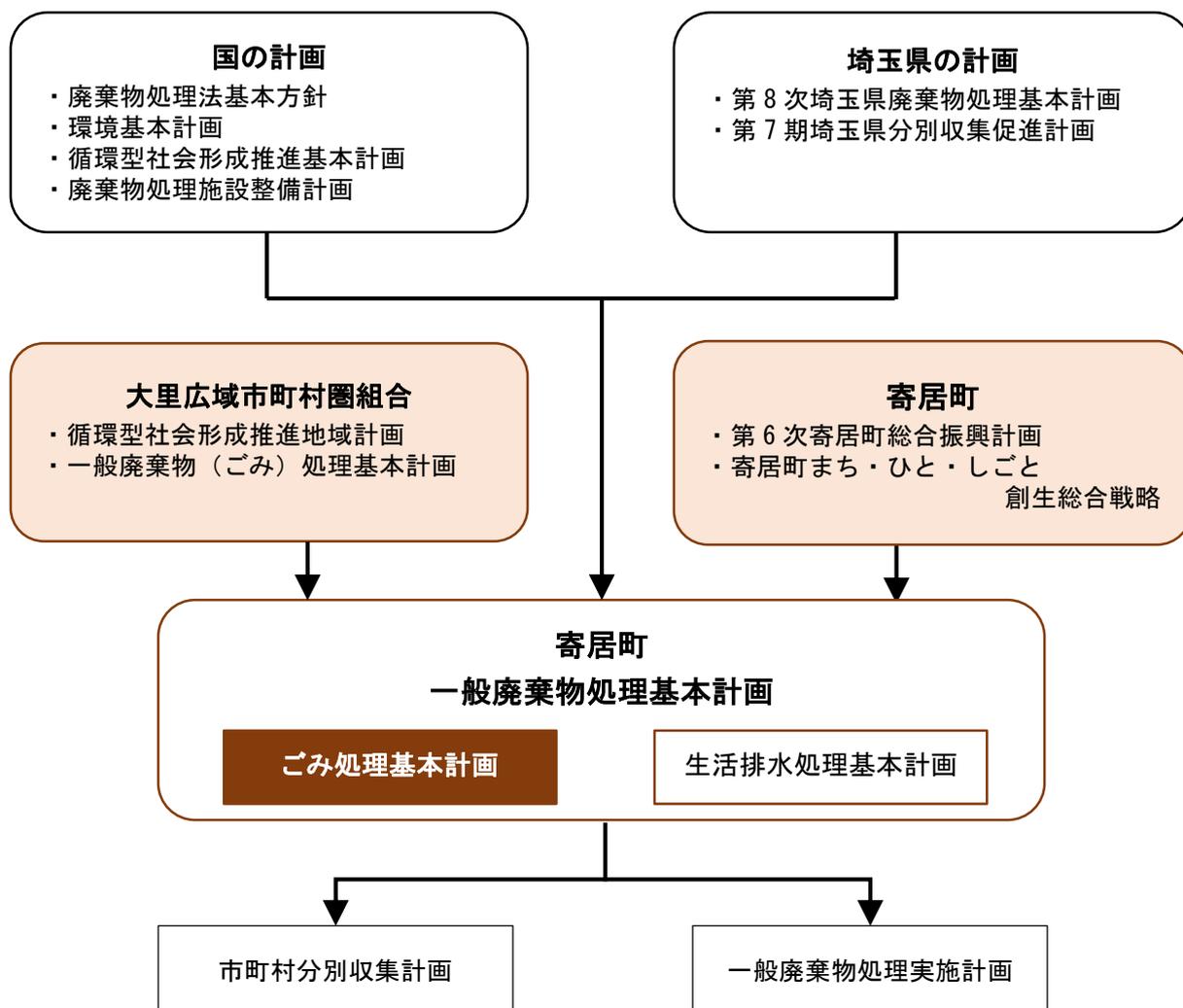


図 1-2 一般廃棄物処理基本計画の位置づけ

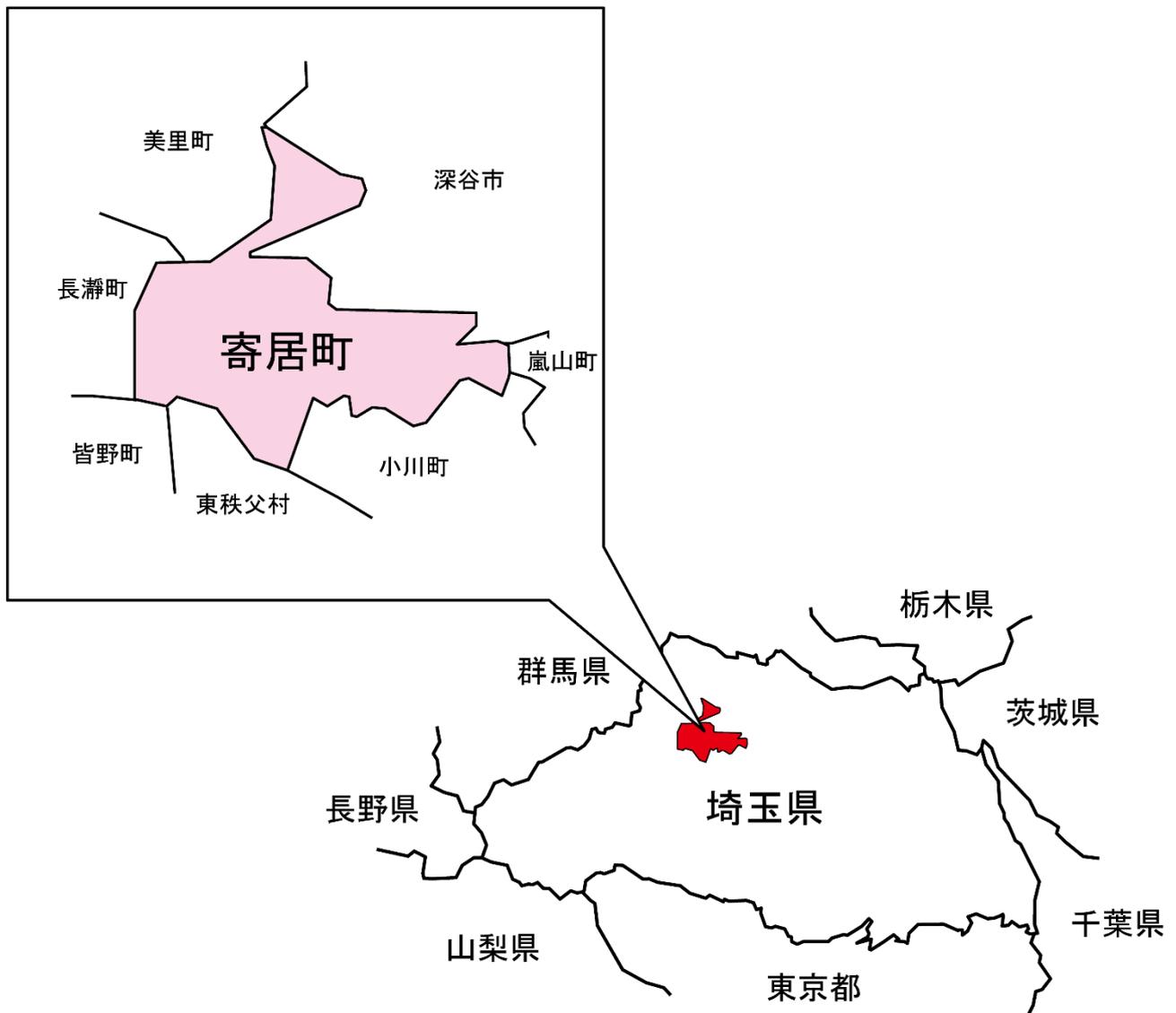
## 第2章 地域の概要

### 第1項 自然環境の特性

#### 1. 地理的、地形的特性

本町は、埼玉県北西部にある人口約 34,766 人(H28.4)の町で、東京都心から 70km 圏に位置しています。荒川が本町のほぼ中央を大きく湾曲して流れています。また、本町の西側は秩父山地で山間部となっており、県立長瀬玉淀自然公園に指定されているなど自然豊かな町です。

図 2-1 本町の位置



## 2. 気候的特性

降水量は、1981年～2010年の平年値では年間1,300mm程度です。最高気温は、1981年～2010年の平年値<sup>1</sup>では8月で31.5℃であり、最低気温は1月で氷点下1.9℃まで下がります。また、日照時間は、1987年の観測開始から2010年の平年値では200.1時間で1月が一番長くなります。

表 2-1 地域の気温、降水量

|     | 気温(℃) |      |      | 降水量<br>(mm) | 日照時間<br>(時間) |
|-----|-------|------|------|-------------|--------------|
|     | 平均    | 最高   | 最低   |             |              |
| 1月  | 3.1   | 9.4  | -1.9 | 31.7        | 200.1        |
| 2月  | 3.8   | 9.8  | -1.2 | 33.6        | 186.0        |
| 3月  | 7.1   | 13.2 | 1.9  | 63.7        | 193.2        |
| 4月  | 12.8  | 19.3 | 7.2  | 91.6        | 182.2        |
| 5月  | 17.4  | 23.7 | 12.3 | 105.1       | 163.8        |
| 6月  | 20.9  | 26.2 | 16.7 | 142.6       | 122.5        |
| 7月  | 24.4  | 29.7 | 20.6 | 180.9       | 132.8        |
| 8月  | 25.7  | 31.5 | 21.9 | 201.4       | 157.3        |
| 9月  | 21.8  | 26.8 | 18.2 | 219.9       | 120.6        |
| 10月 | 16.0  | 21.4 | 12.0 | 147.9       | 143.4        |
| 11月 | 10.3  | 16.3 | 5.7  | 55.1        | 168.2        |
| 12月 | 5.4   | 11.8 | 0.5  | 29.1        | 195.3        |
| 年   | 14.0  | 19.9 | 9.5  | 1,290.8     | 1,964.4      |

資料：気象庁アメダス(寄居観測所)データ 気温、降水量(1981年～2010年の平年値)、日照時間(1987年の観測開始～2010年の平年値)

<sup>1</sup> 平年値とは、ある一定の期間(概ね30年)の観測値の平均の値のこと。

図 2-2 地域の気温、降水量

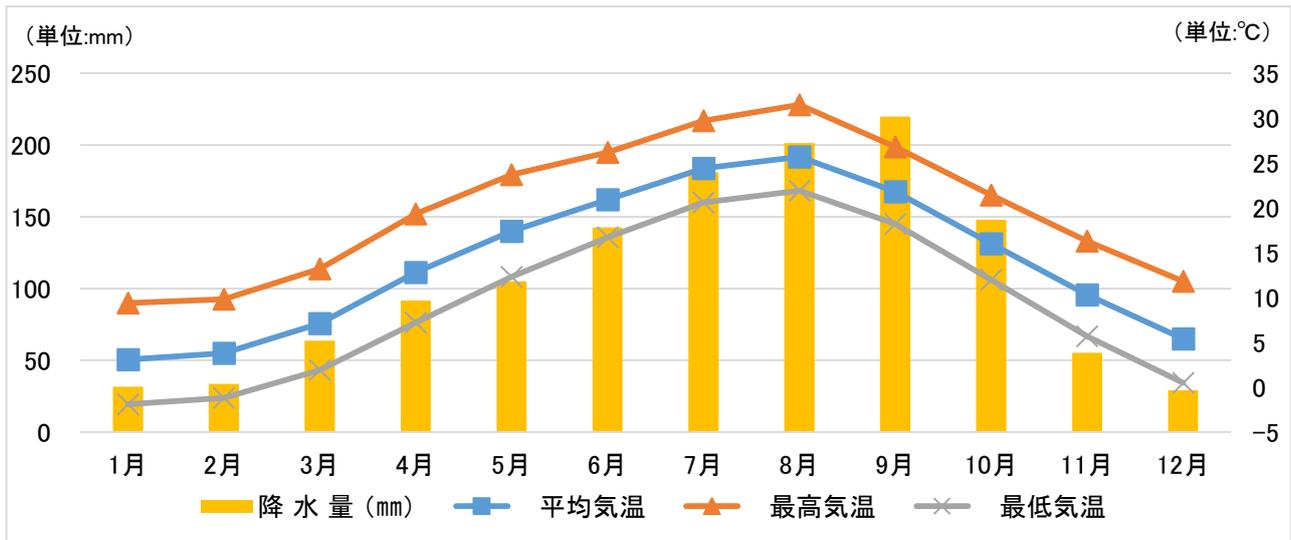
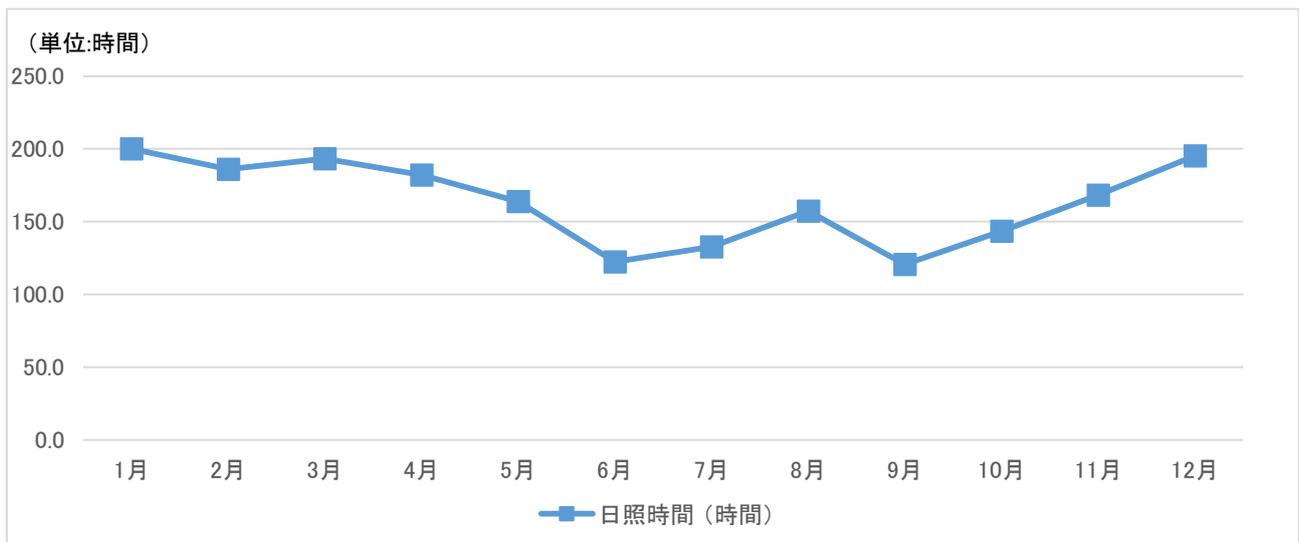


図 2-3 地域の日照時間



## 第 2 項 社会環境の特性

### 1. 人口動態、分布状況

#### 1) 人口の動向

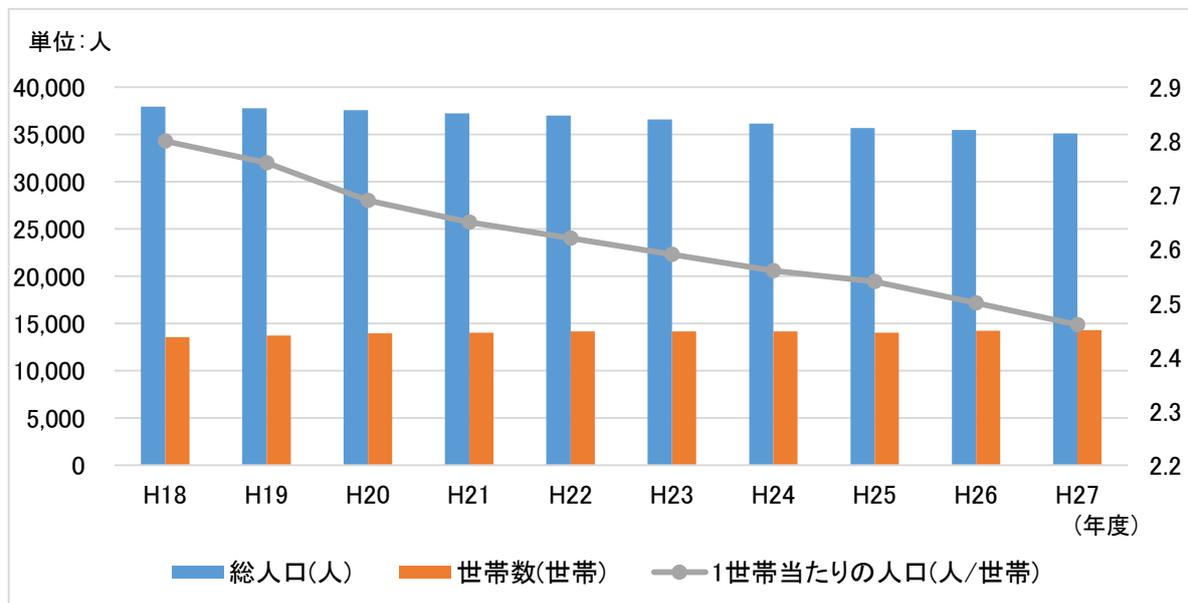
本町の総人口及び世帯数の推移は次のとおりです。世帯数は増加傾向ですが、総人口及び世帯当たりの人口は減少傾向です。

表 2-2 本町の総人口及び世帯数の推移

|                  | H18    | H19    | H20    | H21    | H22    | H23    | H24    | H25    | H26    | H27    |
|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総人口<br>(人)       | 37,939 | 37,762 | 37,544 | 37,214 | 37,001 | 36,583 | 36,134 | 35,672 | 35,470 | 35,083 |
| 世帯数<br>(世帯)      | 13,549 | 13,700 | 13,934 | 14,022 | 14,141 | 14,138 | 14,141 | 14,024 | 14,213 | 14,289 |
| 1世帯当たりの人口<br>(人) | 2.80   | 2.76   | 2.69   | 2.65   | 2.62   | 2.59   | 2.56   | 2.54   | 2.50   | 2.46   |

出典:住民基本台帳・世帯人口統計表(各年4月1日外国人登録を含む)

図 2-4 本町の総人口及び世帯数の推移



## 2) 高齢化の動向

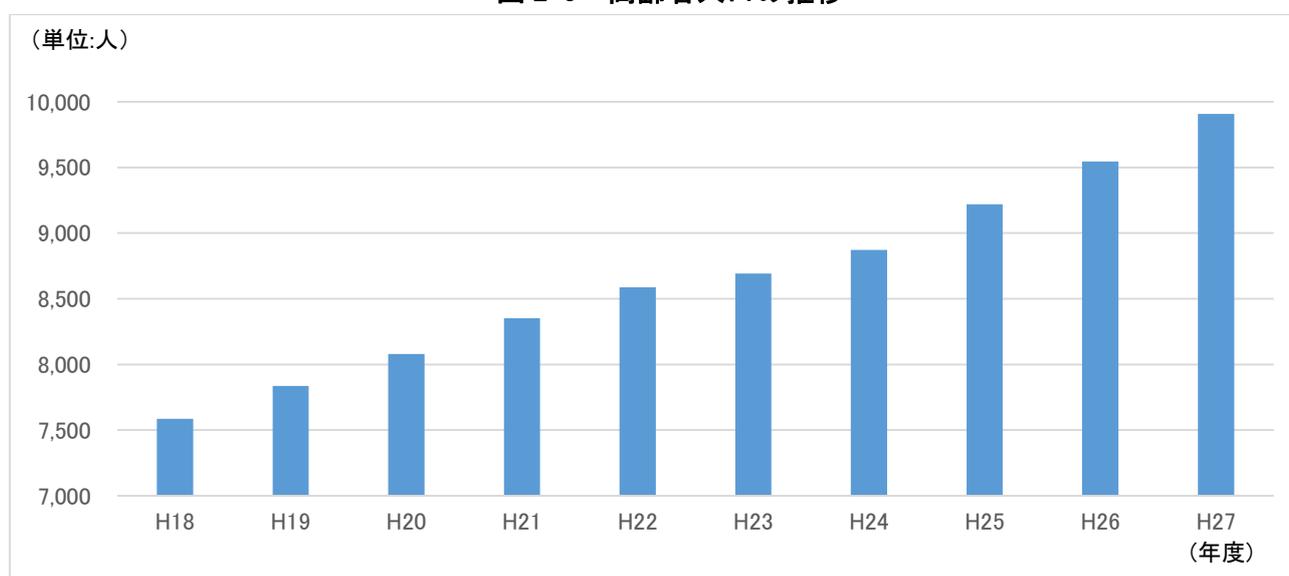
本町の高齢者人口の推移は次のとおりです。65歳以上の高齢者人口が増加しており、高齢化が進んでいます。

表 2-3 高齢者人口の推移

|          | H18   | H19   | H20   | H21   | H22   | H23   | H24   | H25   | H26   | H27   |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 高齢者人口(人) | 7,586 | 7,837 | 8,079 | 8,353 | 8,588 | 8,692 | 8,871 | 9,220 | 9,545 | 9,908 |

出典:彩の国統計情報館 町(丁)字別人口調査結果報告 (各年4月1日現在)

図 2-5 高齢者人口の推移



## 2. 都市の形態

寄居駅を中心とする地域は、環境との調和に配慮しながら、商業施設、文化施設、公共施設など多様な機能を集積し、まちの顔となる都市空間を形成しています。

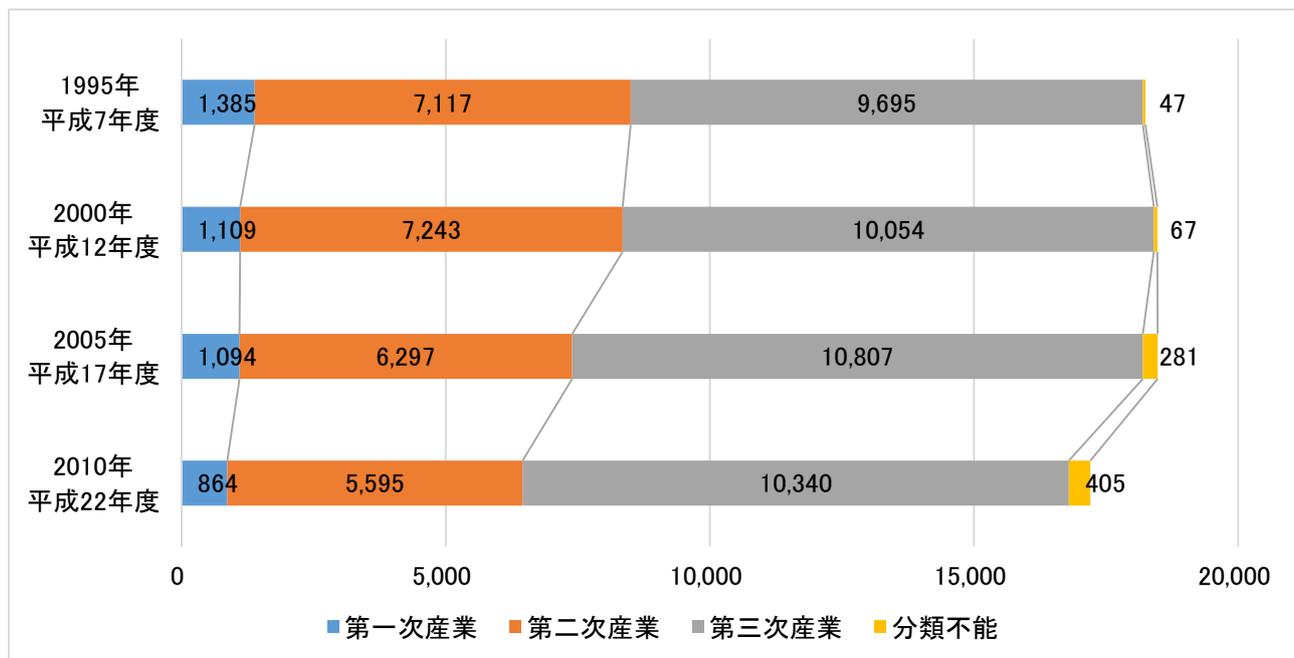
特に、寄居駅南地区周辺については、美しい都市景観の形成を進め、住民の利便性の向上に寄与する都市機能が集積され、快適で利便性の高い商業業務地を形成しています。

また、玉淀駅及び男衾駅の周辺には、商業施設、公共施設、医療・福祉施設などが充実した生活を支える拠点を形成しており、男衾駅の周辺には、都心へのアクセス機能と南部に広がる山地の緑を活かしながら住居、商業、自然が共存した居住環境に優れた拠点を形成しています。

### 3. 産業の動向

本町の産業別人口は次のとおりです。第三次産業人口が一番多く、その割合は増加傾向となっています。

図 2-6 寄居町産業別就業人口の推移



出典: 寄居町人口ビジョン

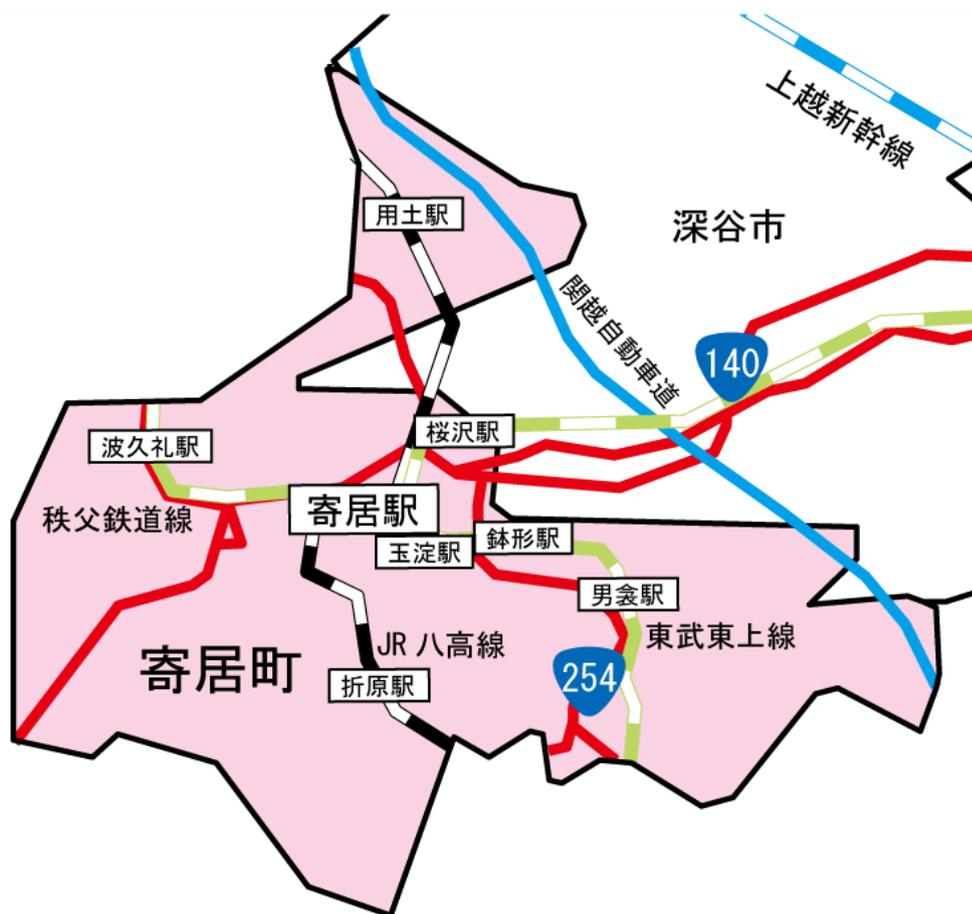
### 第 3 項 生活環境の特性

#### 1. 主要な交通

本町には、国道 140 号と国道 254 号が通っています。

また、主要な駅は寄居駅で、東西方向に秩父鉄道線、中央部を南北方向に東武鉄道や JR 八高線が通っており、通勤・通学の主要な交通手段となっています。

図 2-7 主要な交通



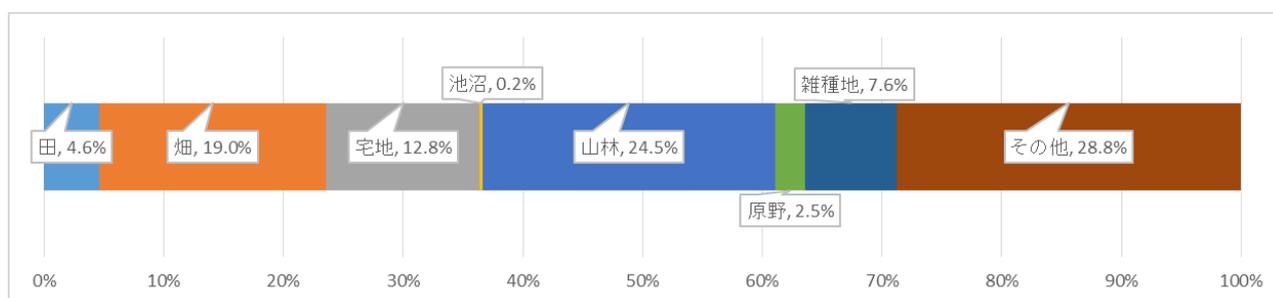
## 2. 土地利用状況

本町の土地利用面積は次のとおりです。山林が一番広く 24.5%となっています。

表 2-4 土地利用状況

|                      | 総数    | 田    | 畑     | 宅地   | 池沼   | 山林    | 原野   | 雑種地  | その他   |
|----------------------|-------|------|-------|------|------|-------|------|------|-------|
| 面積(km <sup>2</sup> ) | 64.25 | 2.94 | 12.23 | 8.24 | 0.11 | 15.72 | 1.62 | 4.88 | 18.51 |
| 割合(%)                | 100   | 4.6  | 19.0  | 12.8 | 0.2  | 24.5  | 2.5  | 7.6  | 28.8  |

図 2-8 土地利用状況



資料: 税務課(平成 28 年 1 月 1 日現在)

## 3. 将来計画（開発計画）等

将来にわたり、人口が大きく変動するような開発は現在のところ計画されていません。

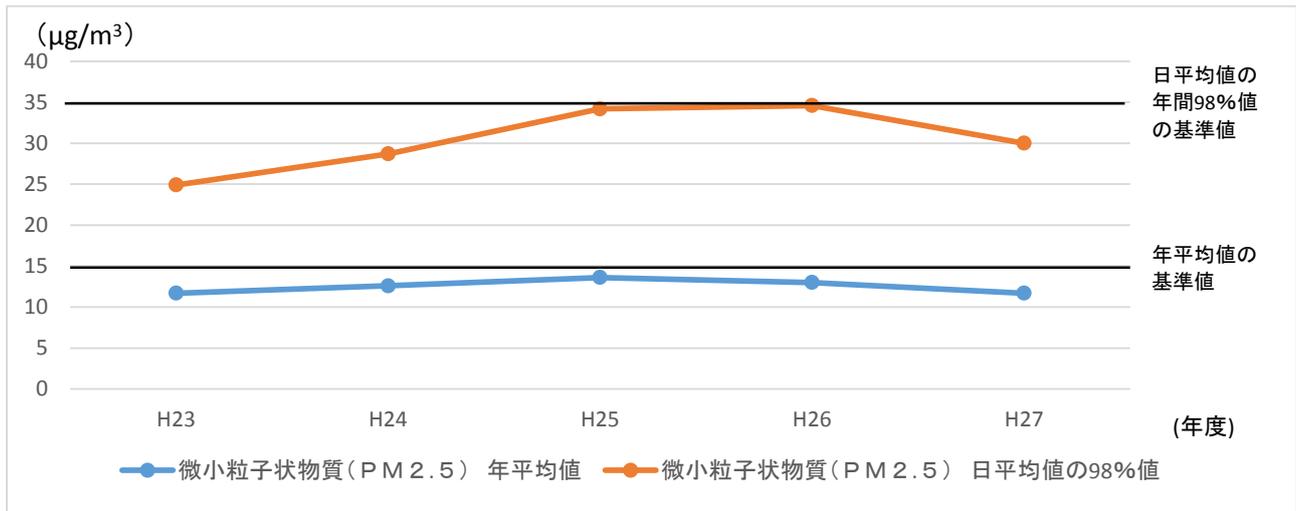
(資料: 寄居町人口ビジョン)

## 4. 環境の状況

本町の大気質、水環境の状況は次のとおりです。

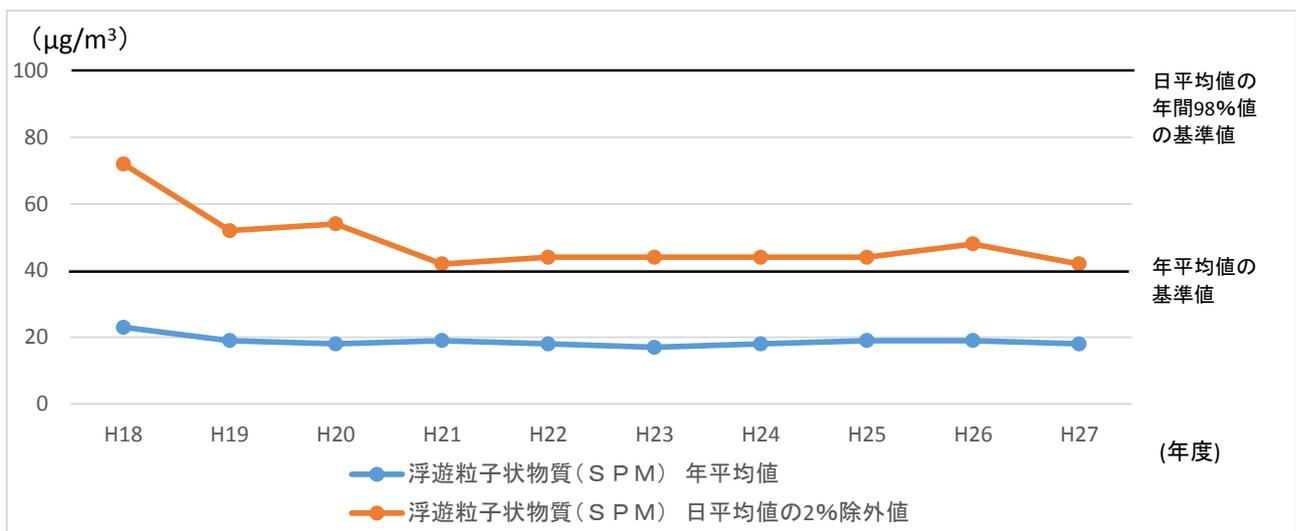
### 1) 大気質

図 2-9 微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）の推移



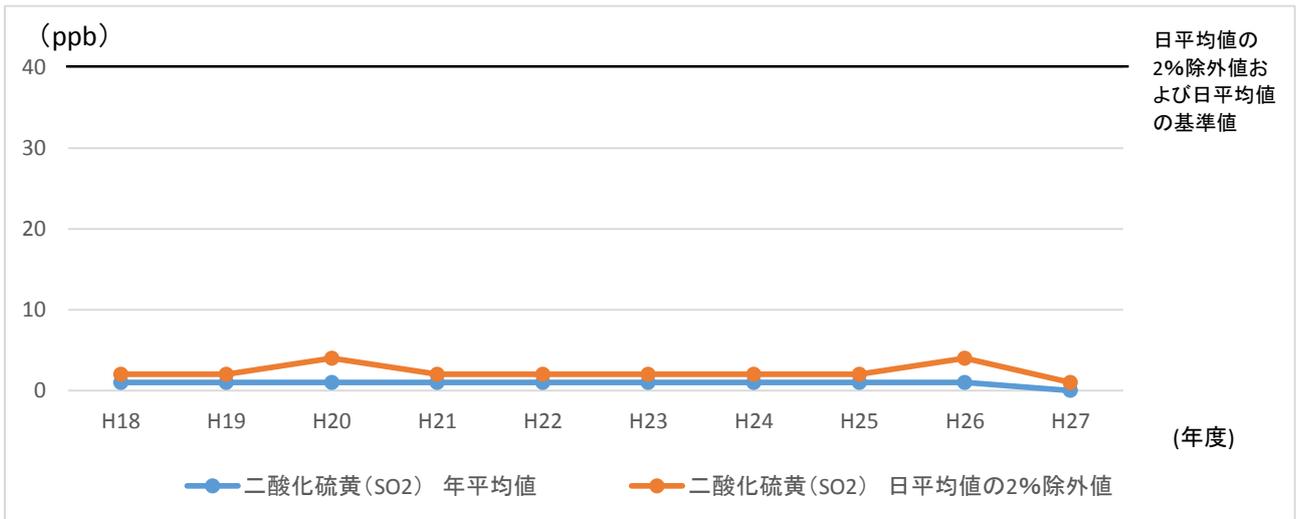
資料: 埼玉県の大気状況(寄居測定局)

図 2-10 浮遊粒子状物質（SPM）の推移



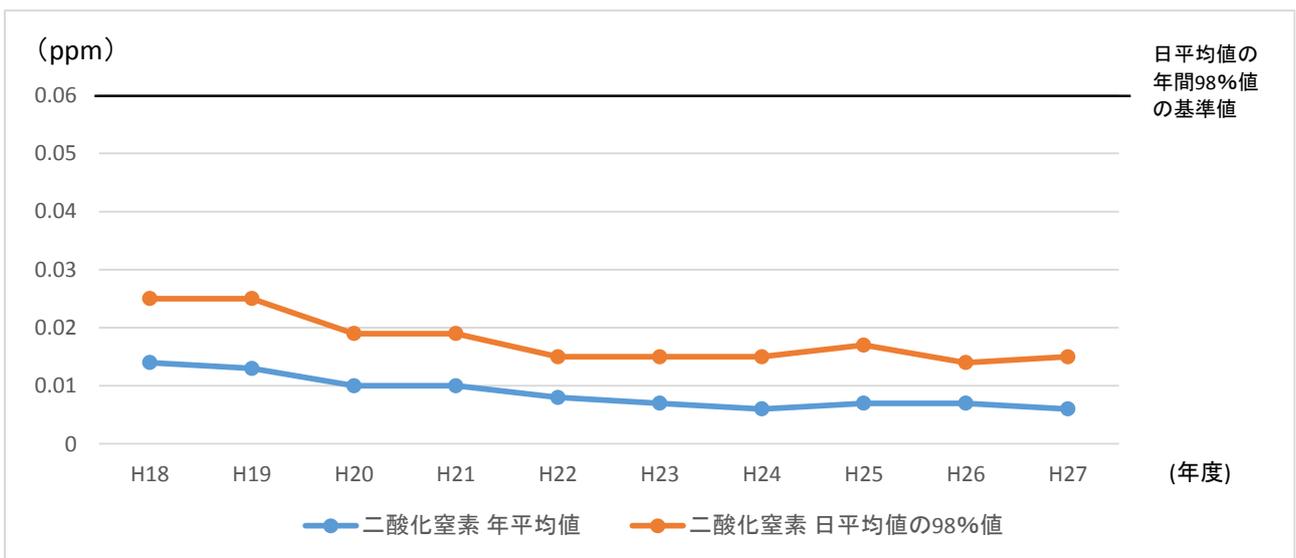
資料: 埼玉県の大気状況(寄居測定局)

図 2-11 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) の推移



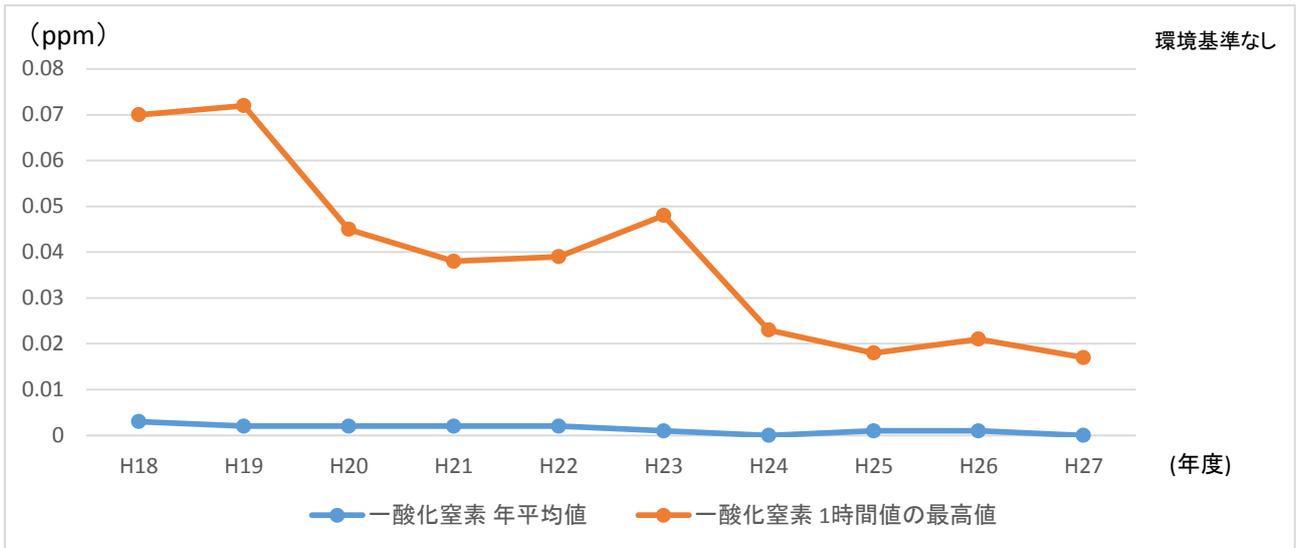
資料: 埼玉県の大気状況(寄居測定局)

図 2-12 二酸化窒素の推移



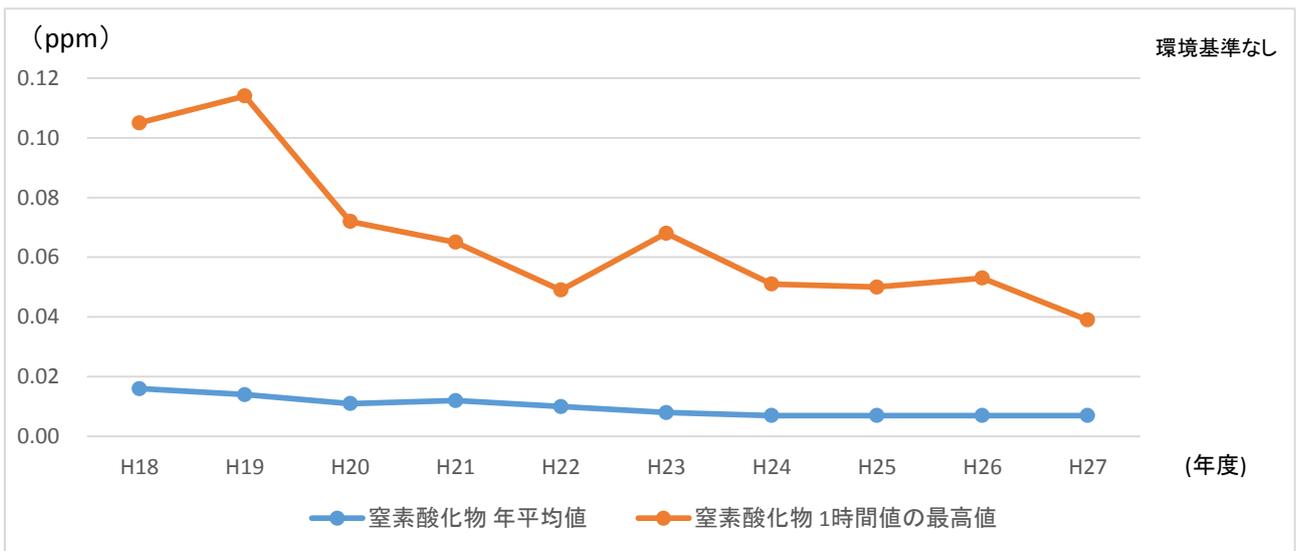
資料: 埼玉県の大気状況(寄居測定局)

図 2-13 一酸化窒素の推移



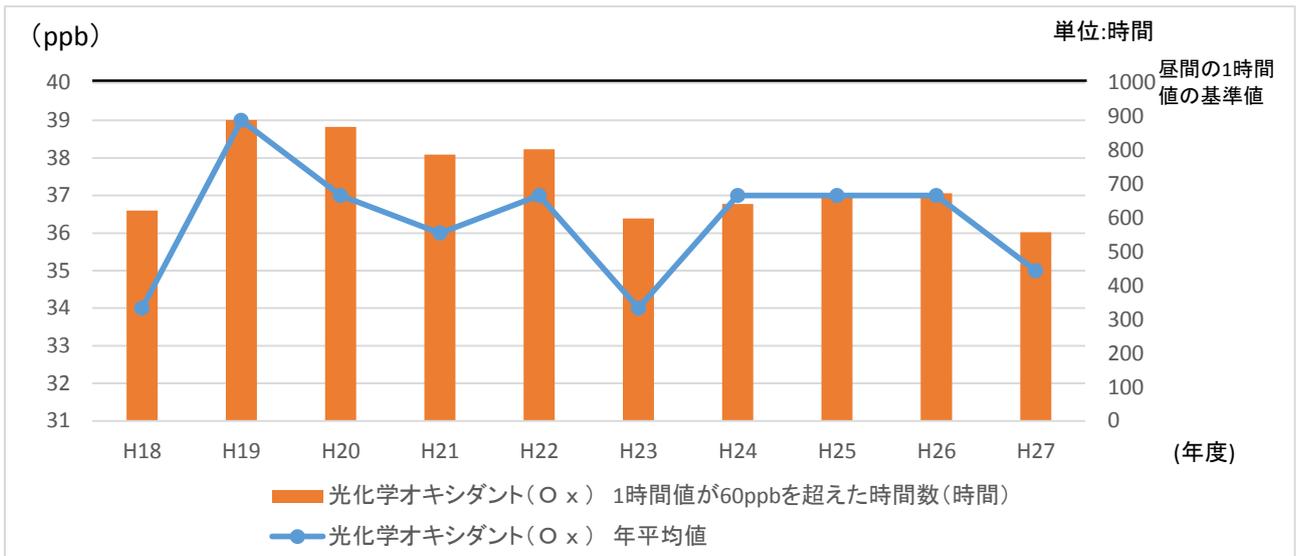
資料: 埼玉県の大気状況(寄居測定局)

図 2-14 窒素酸化物の推移



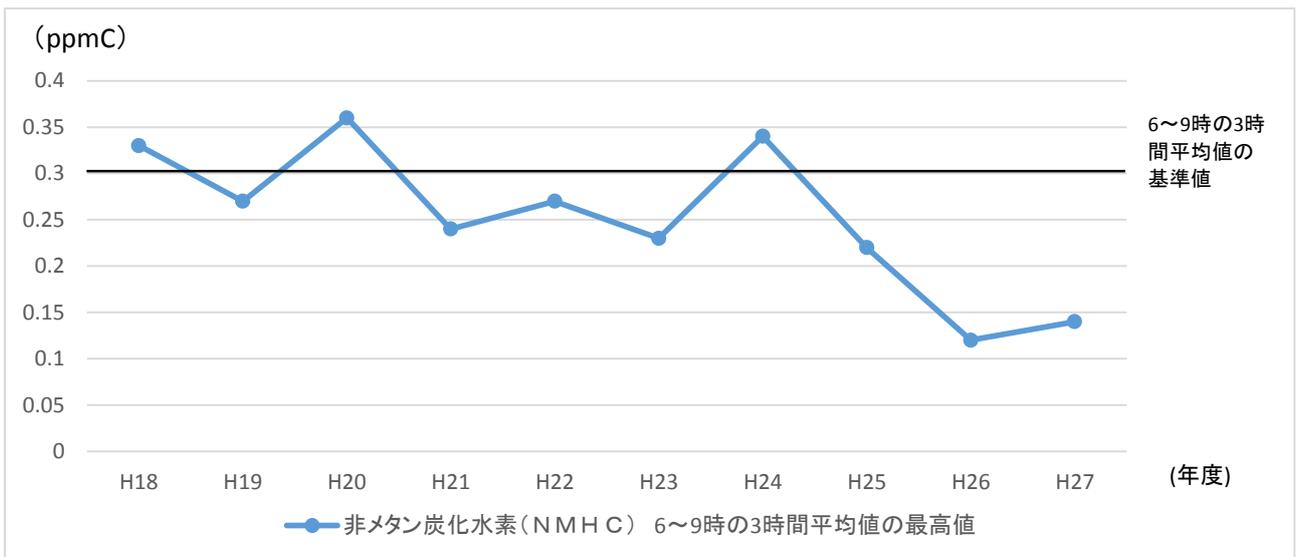
資料: 埼玉県の大気状況(寄居測定局)

図 2-15 光化学オキシダント (Ox) の推移



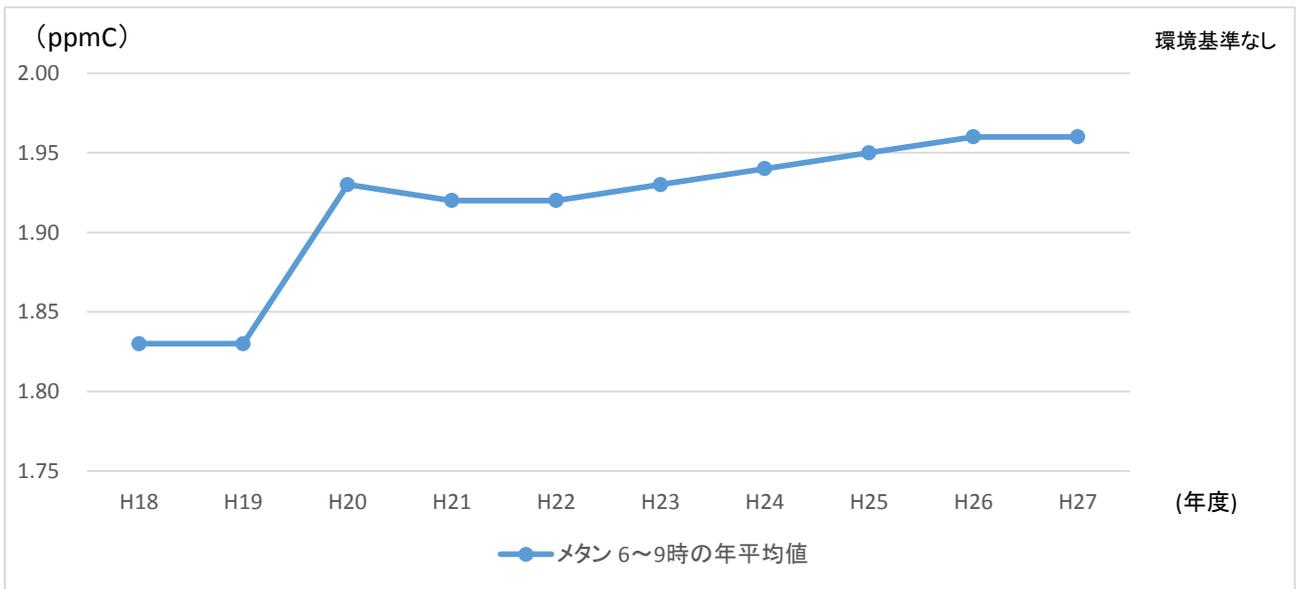
資料: 埼玉県の大気状況(寄居測定局)

図 2-16 非メタン炭化水素 (NMHC) の推移



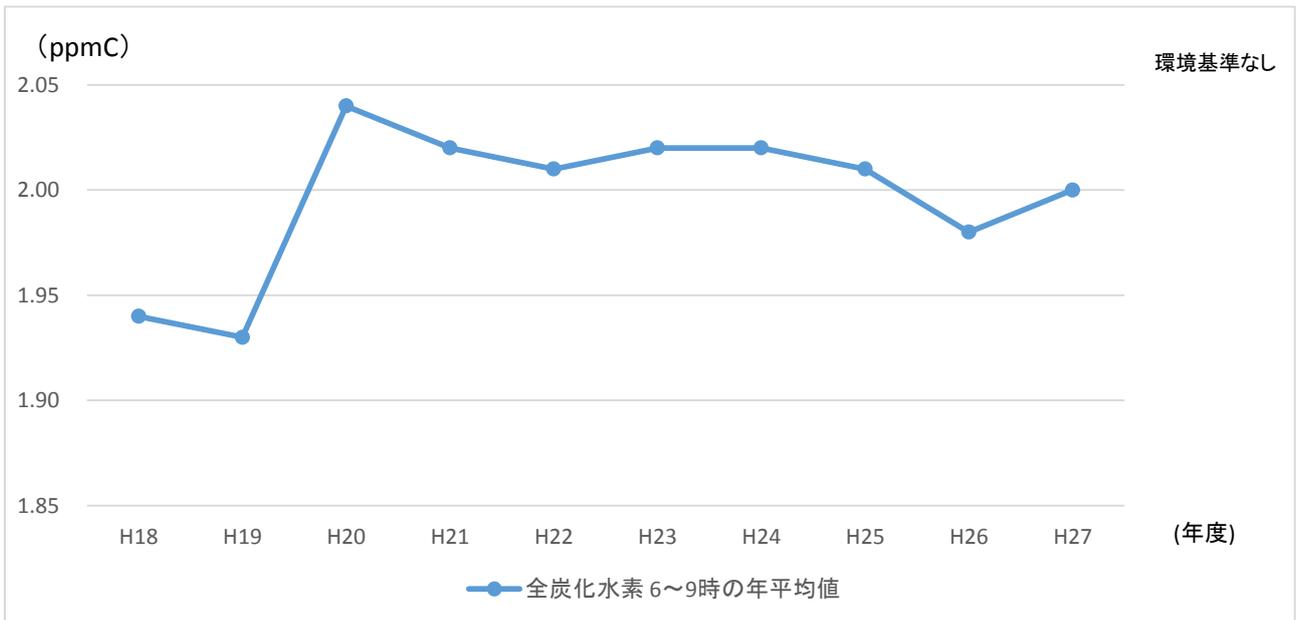
資料: 埼玉県の大気状況(寄居測定局)

図 2-17 メタンの推移



資料: 埼玉県の大気状況(寄居測定局)

図 2-18 全炭化水素の推移



資料: 埼玉県の大気状況(寄居測定局)

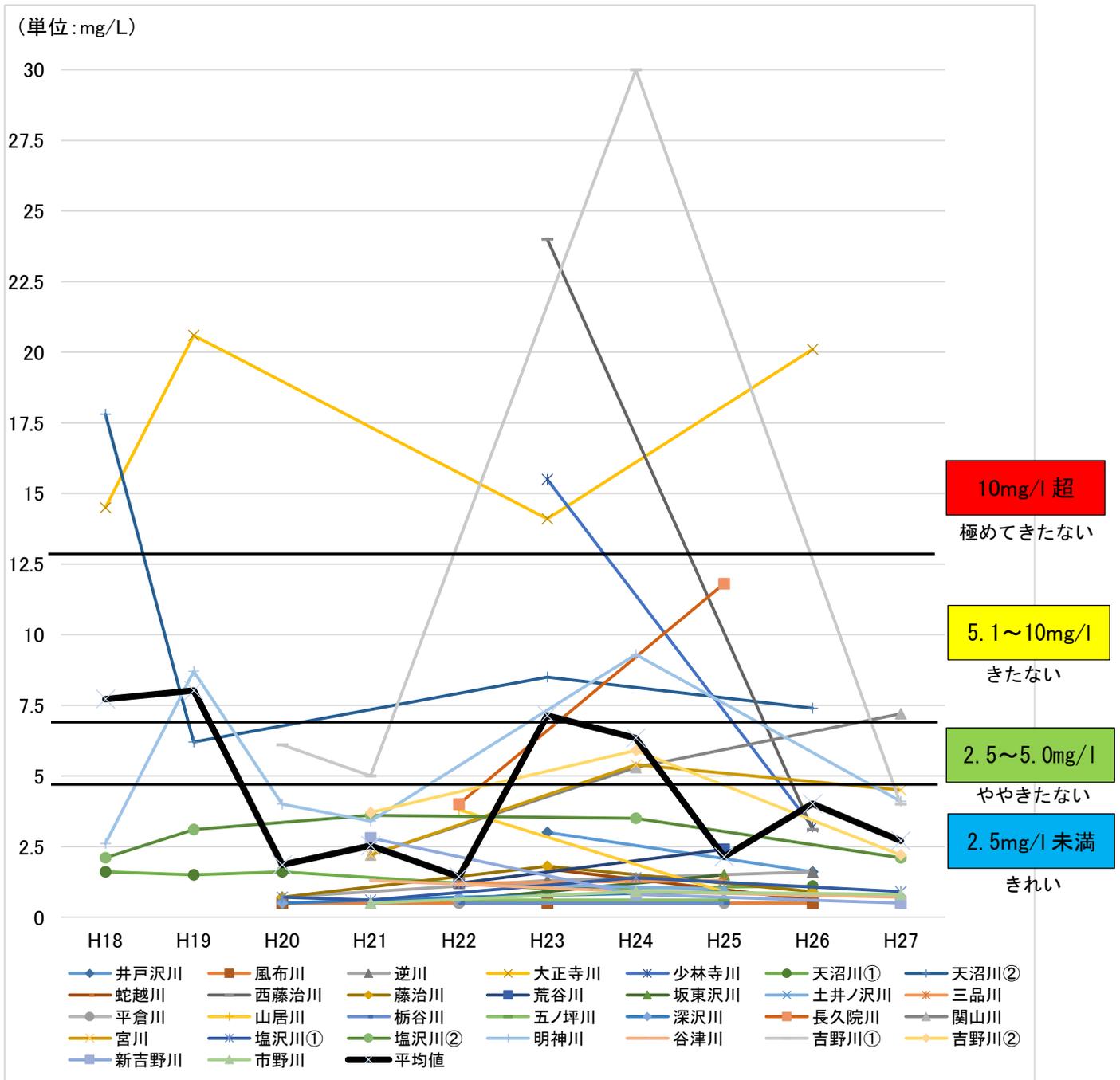
2) 水環境

表 2-5 河川水質の推移

| 河川名   | 実施年度・BOD 結果 (mg/L) |      |      |      |      |      |      |      |      |     |
|-------|--------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
|       | H18                | H19  | H20  | H21  | H22  | H23  | H24  | H25  | H26  | H27 |
| 井戸沢川  |                    |      |      |      |      | 3.0  |      |      | 1.6  |     |
| 風布川   |                    |      | 0.5  |      |      | 0.5  |      |      | 0.5  |     |
| 逆川    |                    |      | 0.7  |      |      | 1.3  |      |      | 1.6  |     |
| 大正寺川  | 14.5               | 20.6 |      |      |      | 14.1 |      |      | 20.1 |     |
| 少林寺川  |                    |      |      |      |      | 15.5 |      |      | 3.2  |     |
| 天沼川①※ | 1.6                | 1.5  | 1.6  |      |      | 1.0  |      |      | 1.1  |     |
| 天沼川②※ | 17.8               | 6.2  |      |      |      | 8.5  |      |      | 7.4  |     |
| 蛇越川   |                    |      |      |      |      | 1.7  |      |      | 0.6  |     |
| 西藤治川  |                    |      |      |      |      | 24.0 |      |      | 3.1  |     |
| 藤治川   |                    |      | 0.7  |      |      | 1.8  |      |      | 0.9  |     |
| 荒谷川   |                    |      |      |      | 1.2  |      |      | 2.4  |      |     |
| 坂東沢川  |                    |      |      |      | 0.6  |      |      | 1.5  |      |     |
| 土井ノ沢川 |                    |      |      |      | 1.2  |      |      | 1.0  |      |     |
| 三品川   |                    |      |      |      | 1.2  |      |      | 1.3  |      |     |
| 平倉川   |                    |      |      |      | 0.5  |      |      | 0.5  |      |     |
| 山居川   |                    |      |      |      | 3.8  |      |      | 0.9  |      |     |
| 栃谷川   |                    |      |      |      | 0.5  |      |      | 0.5  |      |     |
| 五ノ坪川  |                    |      |      |      | 0.6  |      |      | 0.6  |      |     |
| 深沢川   |                    |      | 0.5  |      | 0.7  |      |      | 0.9  |      |     |
| 長久院川  |                    |      |      |      | 4.0  |      |      | 11.8 |      |     |
| 関山川   |                    |      |      | 2.2  |      |      | 5.3  |      |      | 7.2 |
| 宮川    |                    |      |      | 2.2  |      |      | 5.4  |      |      | 4.5 |
| 塩沢川①※ |                    |      | 0.7  | 0.6  |      |      | 1.4  |      |      | 0.9 |
| 塩沢川②※ | 2.1                | 3.1  |      | 3.6  |      |      | 3.5  |      |      | 2.1 |
| 明神川   | 2.6                | 8.7  | 4.0  | 3.4  |      |      | 9.3  |      |      | 4.1 |
| 谷津川   |                    |      |      | 1.3  |      |      | 0.9  |      |      | 0.7 |
| 吉野川①  |                    |      | 6.1  | 5.0  |      |      | 30.0 |      |      | 4.0 |
| 吉野川②  |                    |      |      | 3.7  |      |      | 5.9  |      |      | 2.2 |
| 新吉野川  |                    |      |      | 2.8  |      |      | 0.8  |      |      | 0.5 |
| 市野川   |                    |      |      | 0.5  |      |      | 0.9  |      |      | 0.8 |
| 平均値   | 7.72               | 8.02 | 1.85 | 2.53 | 1.43 | 7.14 | 6.34 | 2.14 | 4.01 | 2.7 |

資料:生活環境エコタウン課

図 2-19 河川水質の推移



※データが欠損している箇所はその前後を直線補間としました。

# 第3章 ごみ処理の状況

## 第1項 ごみの発生量の実績及びその性状

### 1. ごみ処理の流れ

本町から排出されるごみの流れを以下に示します。

住民が排出する可燃ごみ及び可燃粗大ごみは江南清掃センター及び深谷清掃センターで処理し、事業者が排出する可燃ごみは江南清掃センターで処理しています。不燃ごみ（資源）は、大里広域クリーンセンターで処理し、不燃ごみ（資源（小型家電））及び資源物は民間業者で資源化し、有害ごみは本町が回収し、民間業者で資源化しています。

なお、一部の資源物は団体資源回収などにより回収され、直接資源化されています。

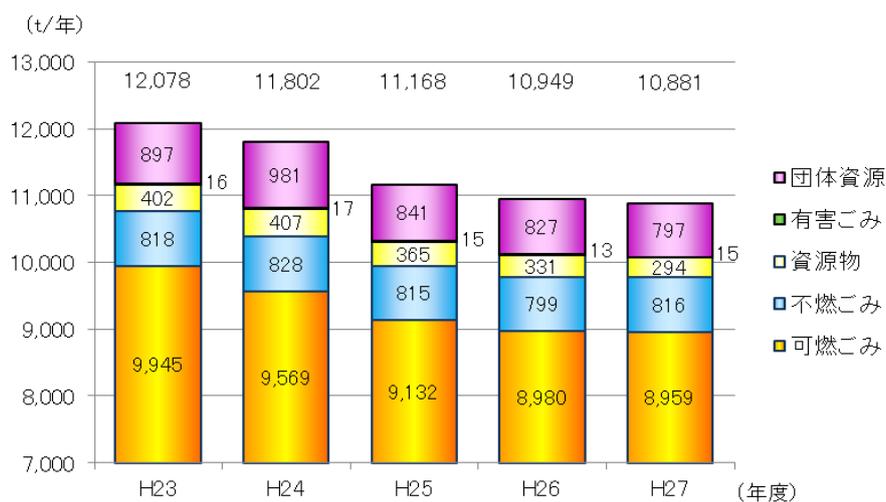
図 3-1 ごみ処理の流れ



## 2. 種類別排出量

ごみ排出量は減少傾向にあります。種類別では可燃ごみが最も多く割合を占めており、減少傾向にあります。不燃ごみは、平成 26 年度から小型家電（使用済小型電子機器）を資源として取り出しを開始したものの、横ばい傾向にあります。資源物や団体資源回収は減少傾向にあります。

図 3-2 種類別排出量

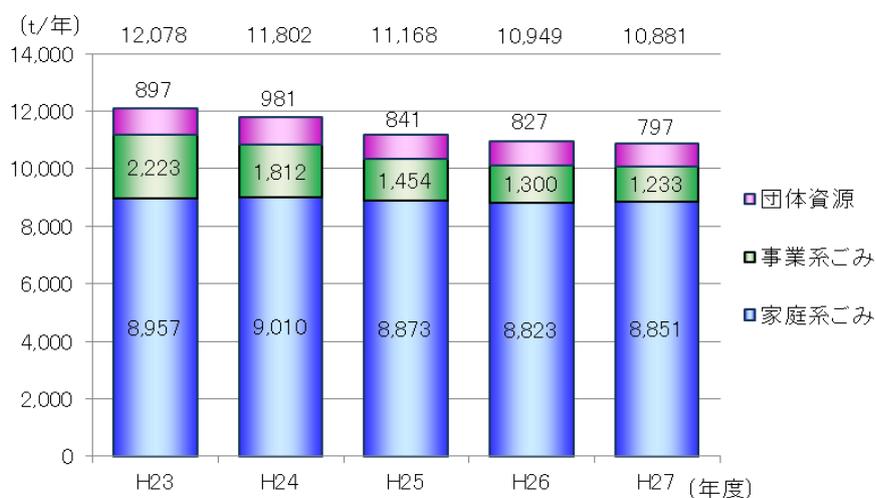


※年間量は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

## 3. 排出形態別排出量

家庭系ごみは減少傾向にありますが、近年は横ばい傾向にあります。他方、事業系ごみは減少傾向にあります。

図 3-3 排出形態別排出量

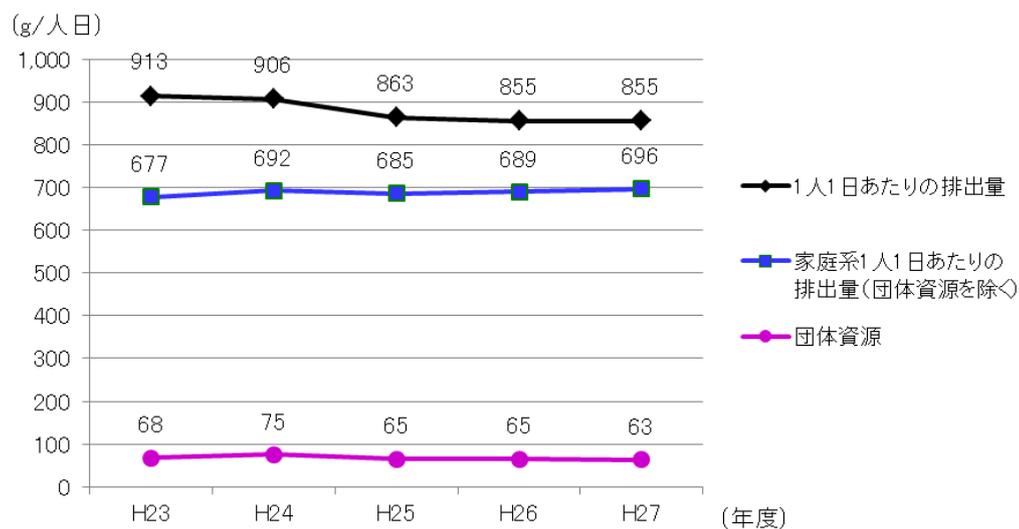


※年間量は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。  
 ※家庭系ごみは、可燃ごみの委託収集、持込、不燃ごみ、資源物、有害ごみの合計としました。

#### 4. 1人1日当たりの排出量

1人1日当たりの排出量は平成23年度から減少していますが、近年は横ばい傾向にあります。家庭系ごみはやや増加傾向にあります。

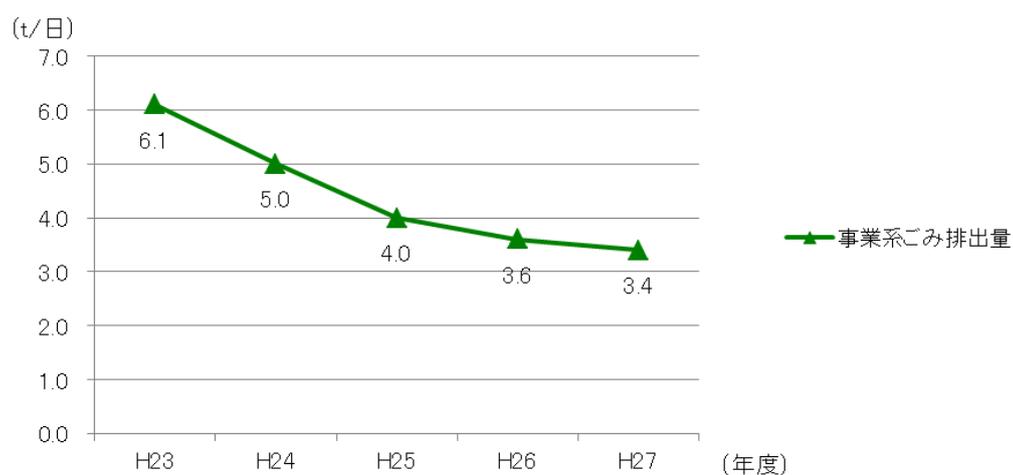
図3-4 1人1日当たりの排出量



#### 5. 1日当たりの事業系ごみの排出量

1日当たりの事業系ごみは減少傾向にあります。

図3-5 1日当たりの事業系ごみの排出量



## 6. 中間処理量

本町の焼却処理量を図 3-6、資源化量とリサイクル率を図 3-7 に示します。

可燃ごみや可燃粗大ごみは江南清掃センター及び深谷清掃センターで焼却処理を行っています。焼却処理量は平成 23 年度からは減少傾向にありますが、近年では横ばい傾向です。

資源として回収しているものは、分別収集された資源物（新聞、雑誌、段ボール、紙パック、布類）と団体資源回収（紙類、金属類、布類、ビン類）、大里広域クリーンセンターに搬入した不燃ごみから回収される金属類や小型家電、ペットボトルなどがあります。また、可燃ごみを外部委託し、資源化しています。

資源物や団体資源回収は減少傾向にあります。焼却残渣の資源化も平成 25 年度以降、減少していますが、これは組合の焼却施設の基幹的設備改良工事の影響から、焼却残渣が減少したためです。

図 3-6 焼却処理量（外務委託量を含む）

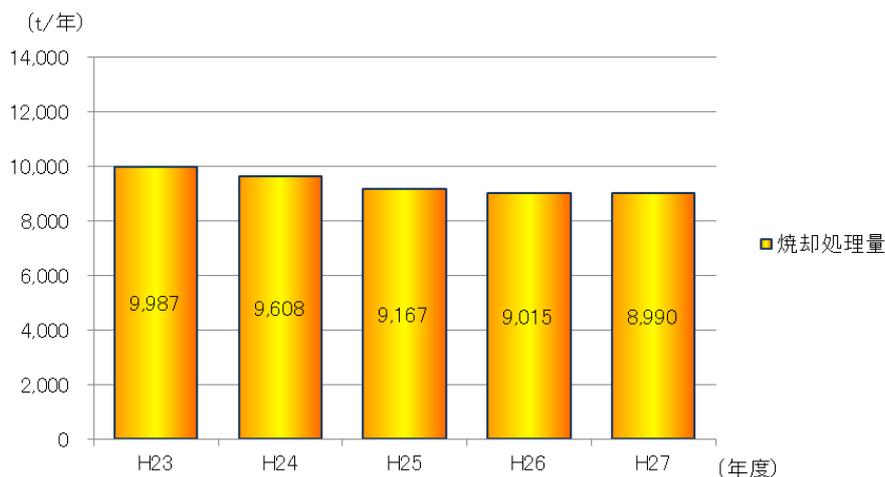
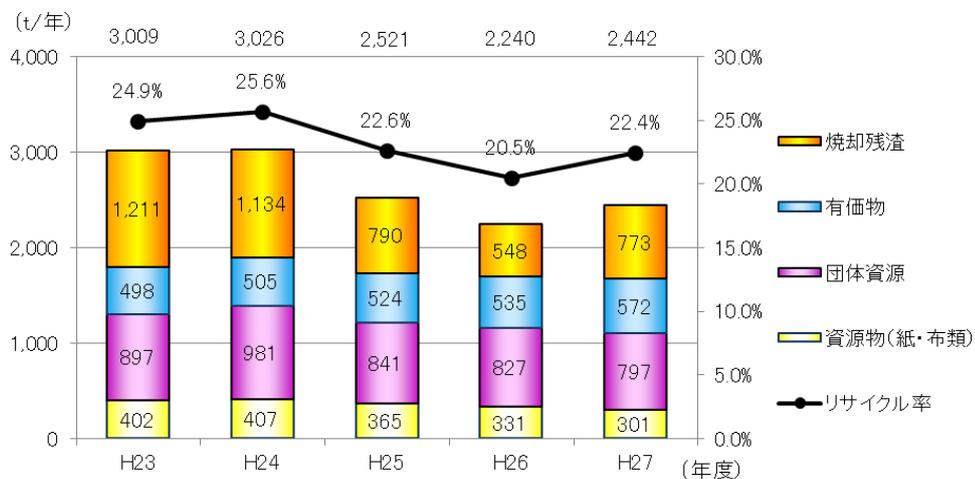


図 3-7 資源化量とリサイクル率（外部委託量を除く）

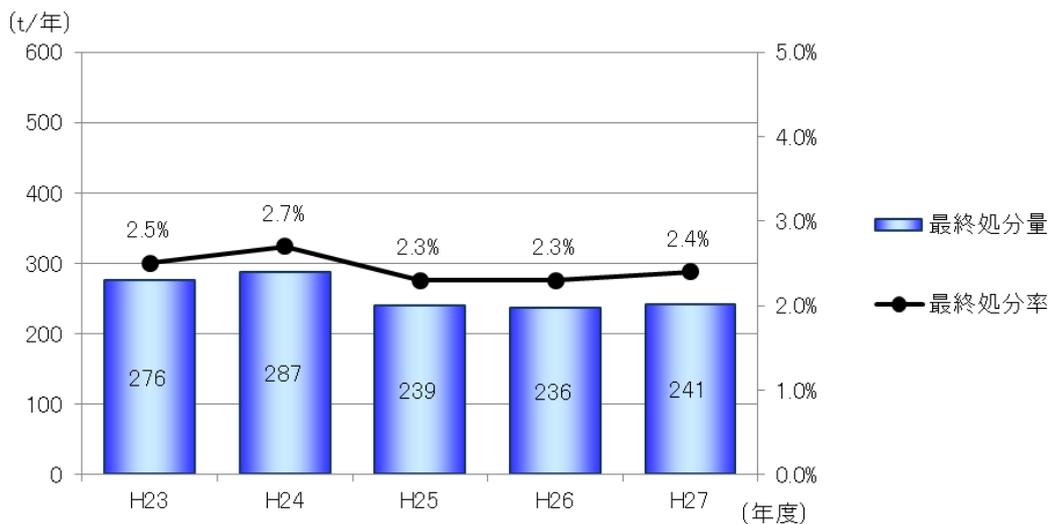


(リサイクル率 = (資源物 + 団体資源回収 + 有価物 + 焼却残渣) / 総排出量)

## 7. 最終処分量

焼却残渣は資源化し、大里広域クリーンセンターで処理後に発生する不燃残渣も彩の国資源循環工場の一部を資源化し、残りを埼玉県環境整備センターで処分しています。そのため、平成 27 年度の最終処分は 241t、最終処分率は 2.4%と極めて低くなっています。

図 3-8 最終処分量



## 8. ごみの性状

深谷清掃センターでは、紙・布類は 36%から 57%程度含まれており、ちゅう芥類は 10%から 15%程度含まれています。

江南清掃センターでは、紙・布類は 40%から 48%程度含まれており、ちゅう芥類は 11%から 21%程度含まれています。

図 3-9 深谷清掃センターにおけるごみ組成分析結果

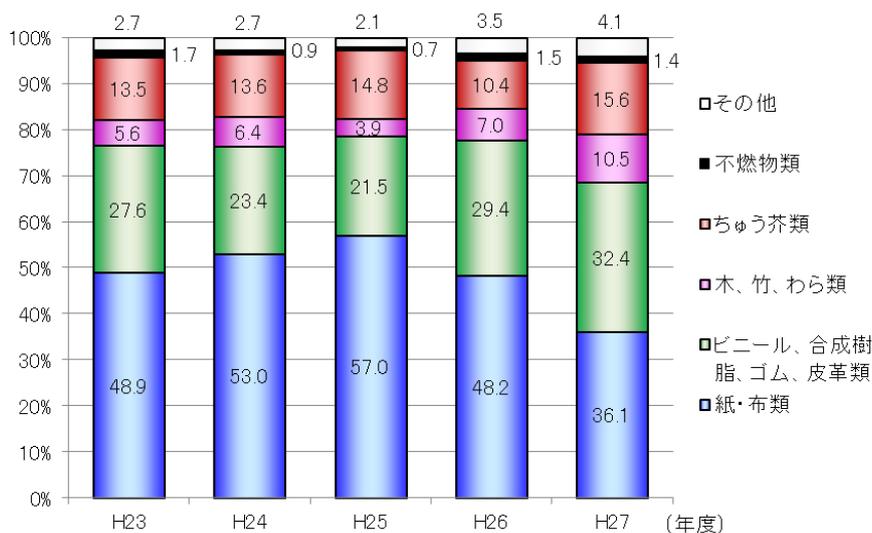


図 3-10 江南清掃センターにおけるごみ組成分析結果

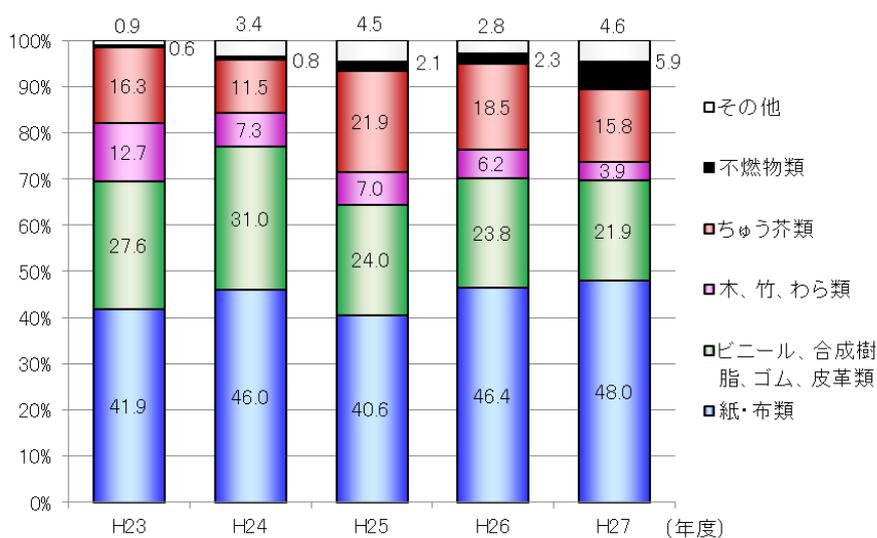


表 3-1 ごみの性状

| 項目         | 平成23年度            |          | 平成24年度   |          | 平成25年度   |          | 平成26年度   |          | 平成27年度   |          |       |      |
|------------|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|------|
|            | 深谷清掃センター          | 江南清掃センター | 深谷清掃センター | 江南清掃センター | 深谷清掃センター | 江南清掃センター | 深谷清掃センター | 江南清掃センター | 深谷清掃センター | 江南清掃センター |       |      |
| ごみ組成分析     | 紙・布類              | %        | 48.9     | 41.9     | 53.0     | 46.0     | 57.0     | 40.6     | 48.2     | 46.4     | 36.1  | 48.0 |
|            | プラスチック、ゴム、皮革類     | %        | 27.6     | 27.6     | 23.4     | 31.0     | 21.5     | 24.0     | 29.4     | 23.8     | 32.4  | 21.9 |
|            | 木、竹、わら類           | %        | 5.6      | 12.7     | 6.4      | 7.3      | 3.9      | 7.0      | 7.0      | 6.2      | 10.5  | 3.9  |
|            | ちゅう芥類             | %        | 13.5     | 16.3     | 13.6     | 11.5     | 14.8     | 21.9     | 10.4     | 18.5     | 15.6  | 15.8 |
|            | 不燃物類              | %        | 1.7      | 0.6      | 0.9      | 0.8      | 0.7      | 2.1      | 1.5      | 2.3      | 1.4   | 5.9  |
|            | その他               | %        | 2.7      | 0.9      | 2.7      | 3.4      | 2.1      | 4.5      | 3.5      | 2.8      | 4.1   | 4.6  |
| 単位容積重量     | kg/m <sup>3</sup> | 162.0    | 310.0    | 197.0    | 135.0    | 172.0    | 146.0    | 137.0    | 184.0    | 167.0    | 167.0 |      |
| 三成分        | 水分                | %        | 44.9     | 47.8     | 51.6     | 46.1     | 47.5     | 45.2     | 39.6     | 46.9     | 47.3  | 43.6 |
|            | 可燃物               | %        | 49.8     | 47.1     | 42.7     | 48.6     | 47.5     | 48.3     | 54.5     | 47.0     | 47.0  | 47.8 |
|            | 灰分                | %        | 5.3      | 5.1      | 5.7      | 5.3      | 5.0      | 6.5      | 5.9      | 6.1      | 5.8   | 8.7  |
| 低位発熱量(計算値) | kcal/kg           | 1,974    | 1,831    | 1,613    | 1,911    | 1,851    | 1,901    | 2,217    | 1,833    | 1,829    | 1,887 |      |

出典: 組合資料

※小数点以下を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

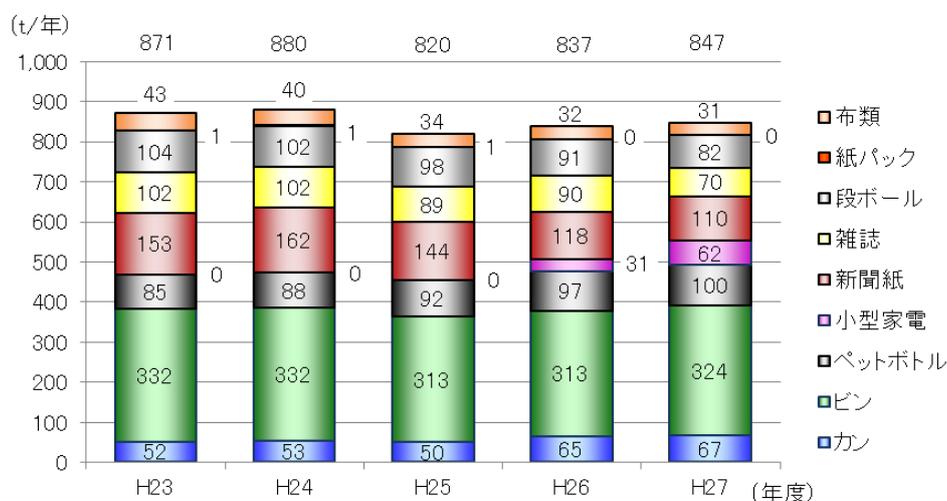
## 第 2 項 ごみの減量化・再資源化

### 1. 資源となるごみの分別収集

家庭系ごみでは、不燃ごみとしてカン、ビン、ペットボトル、小型家電を分別、資源物として新聞、雑誌、段ボール、紙パック、布類を分別収集しています。

収集量は平成 25 年度に減少しましたが、平成 26 年度から小型家電（使用済小型電子機器等）の収集を開始したことで、平成 26 年度以降増加しています。

図 3-11 資源となるごみの収集量（団体資源回収は含まない）

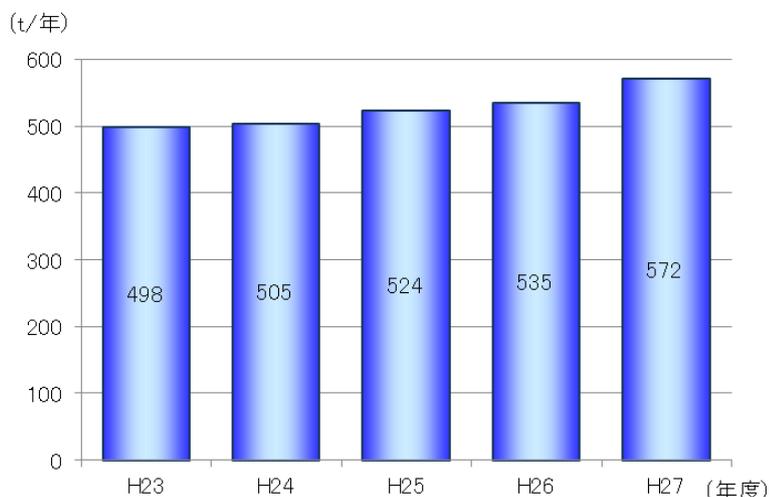


※年間量は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

### 2. 不燃ごみからの資源回収

収集された不燃ごみは大里広域クリーンセンターで処理し、有価物を回収しています。有価物の回収量を以下に示します。

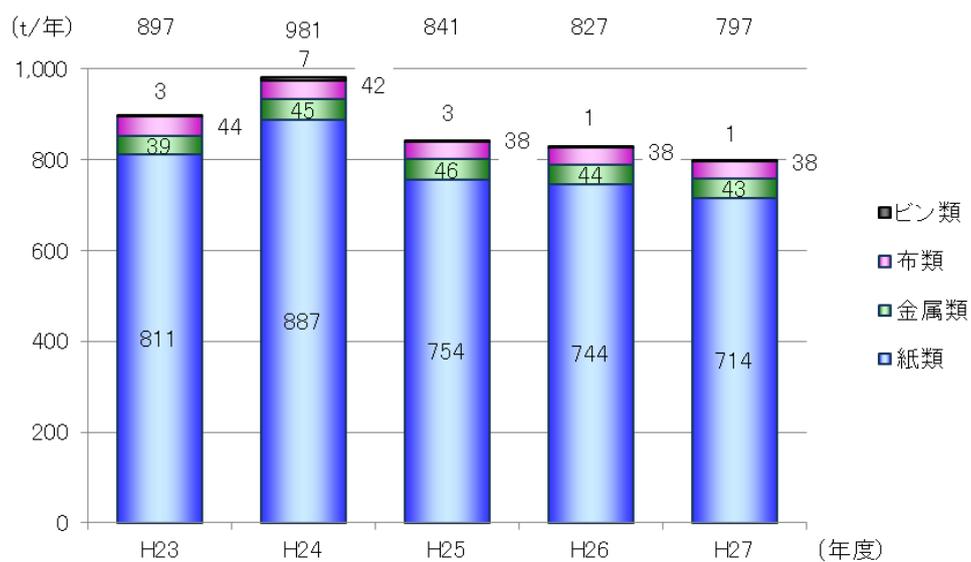
図 3-12 不燃ごみからの有価物回収量



### 3. 団体資源回収

資源を回収している住民団体に、回収した量に応じたりサイクル活動推進奨励金の支給を行っています。回収品目は紙類、金属類、布類、ビン類であり、紙類の回収量は増加していますが、全体の回収量は減少傾向にあります。

図 3-13 団体資源回収量



※年間量は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

## 第 3 項 ごみ処理の体制

### 1. 家庭系ごみの処理体制

家庭系ごみの収集運搬は委託で行っています。収集運搬体制を以下に示します。

可燃ごみは、深谷清掃センター、江南清掃センターにおいて焼却処理し、焼却残渣は熊谷市内の再資源化事業者へ委託しセメント原料として再生利用しています。

不燃ごみは、大里広域クリーンセンターにおいて破碎処理・選別処理・保管を行い、不燃残渣については、一部を再資源化事業者へ委託・資源化し、一部を埋立処分しています。

なお、江南清掃センター及び深谷清掃センターでは家庭系可燃ごみの直接搬入を受け入れており、手数料は 50kg までは無料、50kg を超える量については 10kg 当たり 10 円としています。家庭系不燃ごみの直接搬入は、町が収集しているもののみを大里広域クリーンセンターで受け入れており、住民の直接搬入は協力企業の敷地内に引取所を設置し、手数料は無料としています。

表 3-2 収集運搬体制

| 項目\区分  | 家庭系                   | 事業系 |
|--------|-----------------------|-----|
| 可燃ごみ   | 委託                    | 許可  |
| 不燃ごみ   | 委託                    |     |
| 資源物    | 委託                    |     |
| 有害ごみ   | 委託                    |     |
| 収集運搬   | 委託: 2 業者<br>許可: 57 業者 |     |
| 収集運搬車両 | 委託: 19 台<br>許可: 265 台 |     |

資料: 生活環境エコタウン課(平成 28 年 4 月 1 日現在)

### 2. 事業系ごみの処理体制

事業系ごみ(事業活動に伴って生じた廃棄物)は、ごみ集積所に出すことはできないため、事業者自らの責任において適正な処理をお願いしています。

なお、事業系可燃性一般廃棄物は、本町の許可業者に委託するか、江南清掃センターに直接搬入することができ、直接搬入の場合の手数料は 10kg につき 180 円としています。産業廃棄物の受入は行っていません。

事業系可燃性一般廃棄物は、江南清掃センターにおいてのみ家庭系可燃ごみと同じように焼却処理を行い、焼却残渣は熊谷市内の再資源化事業者へ委託しセメント原料として再生利用しています。

### 3. 中間処理の状況

可燃ごみ、不燃ごみの中間処理は、現在、組合において行なわれています。中間処理施設の概要を以下に示します。

表 3-3 中間処理施設（可燃ごみ）の概要

|      |  |
|------|--|
| 施設名  | 大里広域市町村圏組合立・江南清掃センター   |
| 所在地  | 熊谷市千代 9 番地   |
| 施設規模 | 100t/日 (50t/24h × 2 炉)   |
| 処理方式 | 全連続燃焼式(ストーカ式)  |
| 建設年度 | 着工:昭和 53 年 8 月<br>竣工:昭和 54 年 12 月<br>改造工事(ダイオキシン恒久対策)平成 13 年度～平成 14 年度<br>基幹改良工事(長寿命化対策)平成 27 年度～28 年度 |
| 余熱利用 | 場内温水、場外温水  |

|      |   |
|------|---|
| 施設名  | 大里広域市町村圏組合立・深谷清掃センター  |
| 所在地  | 深谷市大字檜合 750 番地  |
| 施設規模 | 120t/日 (60t/24h × 2 炉)  |
| 処理方式 | 全連続燃焼式(ストーカ式)   |
| 建設年度 | 着工:平成元年 8 月<br>竣工:平成4年3月<br>改造工事(ダイオキシン恒久対策)平成 13 年度～平成 14 年度<br>基幹改良工事(長寿命化対策)平成 27 年度～28 年度 |
| 余熱利用 | 場内温水、場外温水   |

|      |  |  |
|------|--|--|
| 施設名  | 大里広域市町村圏組合立・熊谷衛生センター   |  |
| 所在地  | 熊谷市大字西別府 583 番地 1  |  |
| 区分   | 第一工場   | 第二工場   |
| 施設規模 | 140t/日 (70t/24h × 2 炉)   | 180t/日 (90t/24h × 2 炉)   |
| 処理方式 | 全連続燃焼式(ストーカ式)  | 全連続燃焼式(ストーカ式)  |
| 建設年度 | 着工:昭和 53 年 10 月<br>竣工:昭和 55 年 3 月<br>改造工事<br>(ダイオキシン恒久対策)<br>平成 13 年度～平成 14 年度 | 着工:昭和 62 年 8 月<br>竣工:平成元年 8 月<br>改造工事<br>(ダイオキシン恒久対策)<br>平成 11 年度～平成 12 年度<br>基幹改良工事(長寿命化対策)<br>平成 25 年度～26 年度 |
| 余熱利用 | 場内温水、場外温水  | 場内温水   |

表 3-4 中間処理施設（不燃ごみ）の概要

|      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 施設名  | 大里広域市町村圏組合立・大里広域クリーンセンター          |
| 所在地  | 熊谷市大字大麻生 200 番地2                  |
| 施設規模 | 60t/日（破碎能力：60t/5h、前処理設備：38.7t/5h） |
| 処理方式 | 横型回転式                             |
| 建設年度 | 着工：昭和 57 年6月<br>竣工：昭和 58 年 3 月    |

表 3-5 中間処理施設（ペットボトル）の概要

|      |  |
|------|--|
| 施設名  | 大里広域市町村圏組合立・大里広域クリーンセンター内<br>ペットボトル減容化施設 |
| 所在地  | 熊谷市大字大麻生 200 番地2                         |
| 施設規模 | 4t/日（能力：4t/5h）                           |
| 処理方式 | 手選別及び圧縮機                                 |
| 建設年度 | 着工：平成 11 年 6 月、竣工：平成 11 年 12 月           |

#### 4. 最終処分の状況

本町の可燃ごみと不燃ごみは、現在、組合において処理しており、処理後の焼却残渣は民間委託によりセメント原料等に再利用し、選別や破碎処理後の処理後資源物は民間委託によりリサイクルし、不燃残渣は埼玉県環境整備センターにおいて最終処分（埋立）しています。

埼玉県環境整備センターの概要を以下に示します。

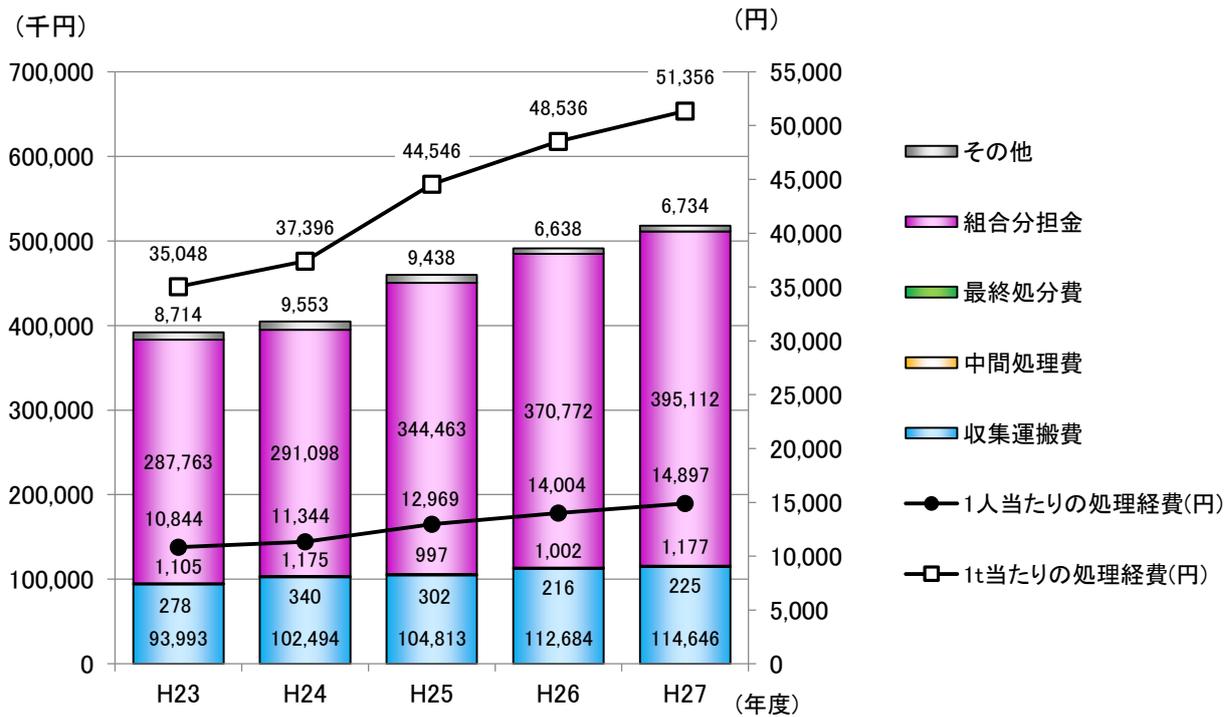
表 3-6 最終処分場の概要

|   |  |          |
|---|--|----------|
| 名 称   | 埼玉県環境整備センター  |          |
| 所 在 地   | 埼玉県大里郡寄居町大字三ヶ山、大字富田地内  |          |
| 事 業 者   | 埼玉県  |          |
| 事 業 内 容   | 一般廃棄物及び産業廃棄物の最終処分(埋立処分)  |          |
| 埋 立 の 期 間   | 平成元年 2 月から平成 43 年*3 月 31 日まで<br>※関係機関と県が締結した新協定により、平成 28 年から平成 43 年まで延長。 |          |
| 受 入 対 象   | 県内市町村、一部事務組合からの一般廃棄物<br>中小企業等の県内で排出された産業廃棄物・建設残土                         |          |
| 規 模   | 敷地面積   | 137.4ha  |
|   | 埋立面積   | 28.3ha   |
|   | 埋立重量   | 271 万トン  |
| 埋 立 廃 棄 物<br>(有害廃棄物を除いた無機物を主体とした廃棄物で、次に掲げるもの。これらのものでも更に含水率、大きさ、形状などの制限をしている。) | 一般廃棄物<br>(市町村等)  | ごみ焼却灰    |
|   |  | し尿処理場焼却灰 |
|   |  | 不燃物      |
|   | 産業廃棄物<br>(県、企業局、公社、中小企業者、リサイクル推進企業)                                      | 燃え殻      |
| 廃プラスチック、ゴムくず、金属くず、ガラス・陶磁器くず   |  |          |
| 鋳さい   |  |          |
| 建設残土  | がれき類   |          |

## 5. ごみ処理経費の状況

基幹改良工事を行ったことから、処理経費は増加傾向にあり、平成 23 年度は約 4 億円でしたが、平成 27 年度には約 5 億円まで増加しています。そのため、平成 27 年度における 1 人当たりの処理経費は約 14,000 円、1t 当たりの処理経費は約 51,000 円となりました。

図 3-14 処理経費



資料：一般廃棄物処理事業実態調査結果

## 第 4 項 ごみ処理の施策展開の現状

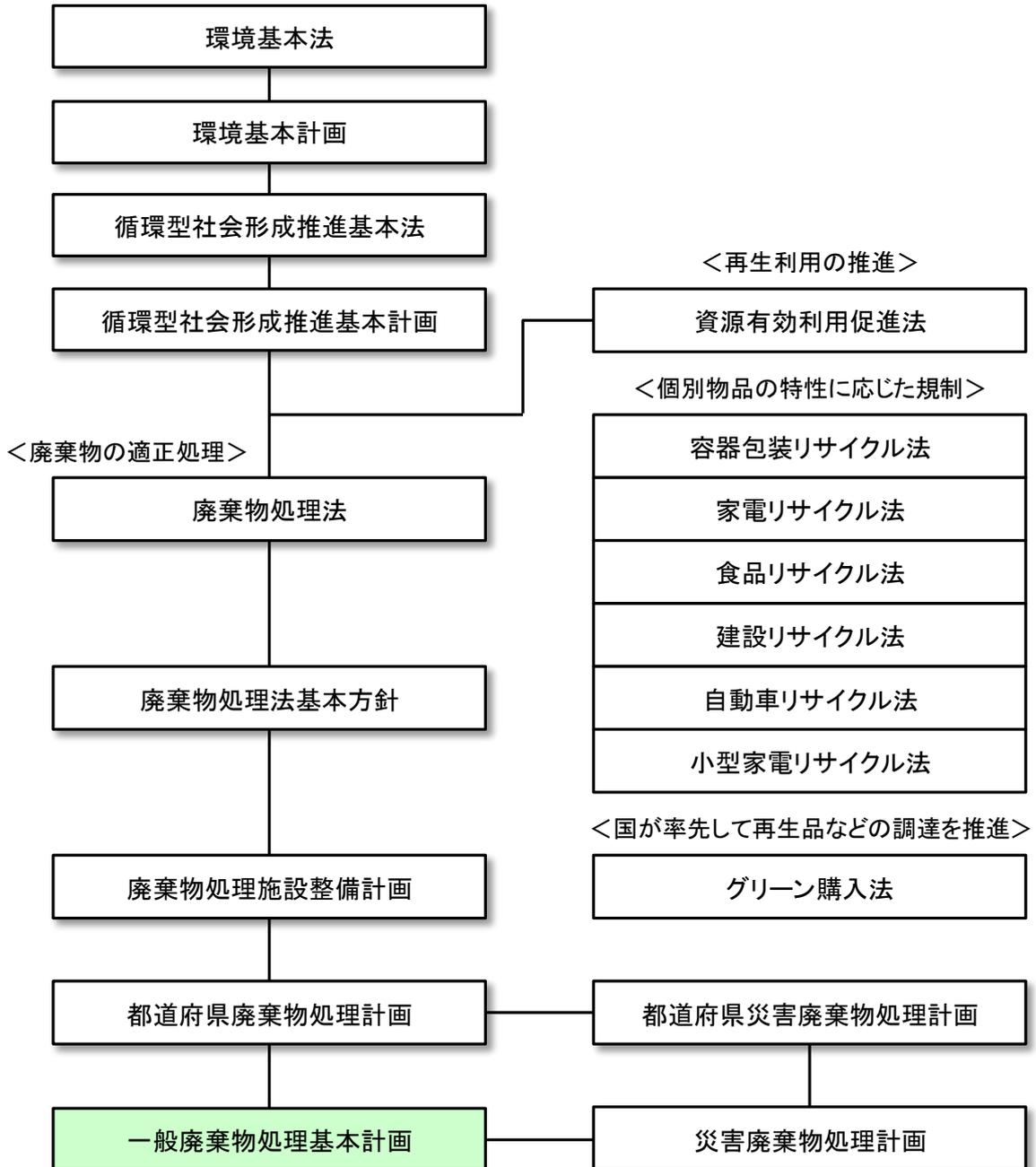
ごみの発生・排出抑制の施策、分別排出、収集運搬、中間処理、最終処分等の主な施策の実施状況を以下に示します。

| 年   | 月 日      | ごみ処理に関する主な施策                        |
|-----|----------|-------------------------------------|
| H12 | 4 月 1 日  | 生ごみ処理容器購入費補助金開始                     |
| H13 | 4 月 1 日  | 不燃ごみ収集袋の指定袋収集開始                     |
| H14 | 4 月      | 大里広域市町村圏組合「秋山最終処分場」埋め立て開始           |
|     | 12 月 1 日 | 寄居町環境事業所の稼働休止(昭和 59 年 4 月 1 日稼働開始)  |
| H17 | 3 月 31 日 | 生ごみ処理容器購入費補助金終了(平成 16 年度末)          |
| H18 | 9 月 29 日 | 大里広域市町村圏組合「秋山最終処分場」埋め立て終了           |
| H19 | 3 月      | 寄居町一般廃棄物(ごみ)処理基本計画策定                |
| H20 | 4 月 1 日  | 不燃ごみ収集袋の透明袋収集開始(指定袋の解除)             |
| H23 | 12 月 1 日 | 廃乾電池のボックス回収開始(於:役場庁舎)               |
| H24 | 1 月 28 日 | 廃蛍光管臨時回収開始(於:役場庁舎)                  |
|     | 5 月 1 日  | 廃乾電池のボックス回収開始(於:男衾連絡所・用土連絡所)        |
|     | 8 月 1 日  | ふれあい収集事業開始                          |
|     | 10 月 1 日 | ごみ収集カレンダー配布開始                       |
| H25 | 4 月 10 日 | 不燃ごみ引取り所開設(於:益栄商事株)                 |
| H26 | 3 月 2 日  | 大雪災害(2 月 14 日)による災害廃棄物受入(9 月 1 日まで) |
|     | 4 月 1 日  | 不燃ごみ収集の曜日固定収集開始                     |
|     | 4 月 1 日  | 缶詰・菓子缶等の缶類の分別が変更(不燃ごみの「その他」→「カン類」)  |
|     | 10 月 1 日 | 使用済小型家電のステーション収集開始                  |
| H28 | 4 月 1 日  | 100 円ライターの分別収集改正(分解せずに単体で不燃ごみに)     |

## 第 5 項 関係法令

一般廃棄物処理基本計画に関連する法令と上位計画等の関係を以下に示します。

図 3-15 一般廃棄物処理基本計画と法令や上位計画等の関係



## 第 6 項 課題の抽出

### 1. 排出抑制に関する課題

事業系ごみは減少傾向にあります。家庭系ごみは近年横ばい傾向にあります。1人1日当たりの家庭系ごみにおいてはやや増加しており、5年間で2.8%ほど増加しています。循環型社会の形成をめざし、更なる排出抑制、分別の徹底が求められます。

### 2. 資源化に関する課題

不燃ごみの引取所の開設や分別区分の変更などにより分別が進んでいるものの、雑がみなどは、まだ可燃ごみに含まれており、更なる分別の徹底が求められます。資源物や団体資源回収は減少しており、平成27年度のリサイクル率（外部委託量を除く）は22.4%となりました。循環型社会を形成するためにも、住民、事業者と一体となって取り組み、不燃ごみ、資源物の分別の徹底とリサイクル率の増加が求められます。また、資源化をより推進するためには、プラスチック製容器包装ごみ等の分別収集の検討が必要です。

### 3. 収集運搬に関する課題

収集運搬量は人口の減少に伴って減少することが想定され、ごみ収集量に応じた効率的な収集体制を構築していく必要があります。また、組合の構成市町では、分別区分を独自に取り決めているため、統一に向けた検討が必要です。

### 4. 収集不適ごみに関する課題

消火器やバッテリーなどの適正処理困難物は、組合の施設では処理できないため、購入店などでの引き取りや専門処理業者へ処分を依頼するよう、指導していますが、収集ごみに混入していることがあります。処理不適ごみの混入は、収集や処理を進める上でも支障を来すため、住民への周知が必要です。また、家電リサイクル法で定められている特定家電品や収集できないごみに関しては、排出方法を周知する必要があります。

### 5. 中間処理に関する課題

組合が管理する中間処理施設は老朽化が進行しており、順次、基幹的設備改良工事を行っていますが、現在の施設を長期間使用することは難しいため、新たな施設整備の検討等を行う必要があります。

### 6. 最終処分に関する課題

焼却施設から発生する焼却残渣は全て資源化しています。一方、不燃ごみの処理施設では、有価物の回収や不燃残渣を資源化し、最終処分量の抑制に努めています。今後ごみの減量化、資源物の分別収集に努め、組合による中間処理施設での減容化を徹底し、最終処分量を極力削減する必要があります。

## 第4章 ごみ処理基本計画

### 第1項 ごみの発生・排出抑制の方策

#### 1. 行政における方策

行政が自ら実施する取り組み及び住民・事業者が実施する取り組みへの支援策等を以下に示します。

| 行政における方策 |   |
|----------|---|
| (1)      | <b>情報提供と普及啓発</b><br>住民・事業者が積極的に3Rに取り組めるよう、情報提供や普及啓発を行います。   |
| (2)      | <b>住民等への支援</b><br>団体資源回収など資源化活動をしている住民等に対する支援を行います。   |
| (3)      | <b>適正排出しやすい環境づくり</b><br>分別の徹底を図るため、わかりやすいパンフレットの作成など、ごみを適正に出しやすい環境づくりを行います。   |
| (4)      | <b>適正な処理・処分の実施</b><br>住民・事業者が排出したごみを、環境に負荷を与えないように配慮しながら、適正かつ衛生的に処理・処分します。  |
| (5)      | <b>家庭ごみの有料化の検討</b><br>家庭ごみの有料化は、組合及び構成市町で連携を図りながら統一の方式となるよう検討していきます。  |
| (6)      | <b>多量排出事業者等への指導</b><br>多量にごみを排出する事業者や小売店等に対し、ごみの減量、簡易包装の実施、レジ袋の削減等の指導を行います。<br>また、食品リサイクル法が適用される排出事業所に対しは、法に基づき肥料化・飼料化を推進するよう指導を行います。 |
| (7)      | <b>許可業者の指導・育成</b><br>許可業者の指導・育成を行います。   |
| (8)      | <b>温室効果ガス排出量の削減</b><br>可燃ごみなどの焼却対象量を減らし、一般廃棄物の処理に伴い発生する温室効果ガス（二酸化炭素、メタンなど）の発生量を削減します。   |
| (9)      | <b>災害廃棄物の迅速・適正処理</b><br>災害時に発生する廃棄物は迅速かつ適正に処理を行います。   |

## 2. 住民における方策

住民が自ら実施する取り組みを以下に示します。

| 住民における方策 |  |
|----------|--|
| (1)      | <b>マイバッグの活用とレジ袋の削減</b><br>収集・運搬や中間処理、最終処分の負担を減らすため、マイバッグを活用することでレジ袋の使用を減らします。また、過剰包装を断り、容器包装ごみの発生を抑制します。     |
| (2)      | <b>生ごみの水切り、食べ残しの削減</b><br>生ごみの多くは水分が含まれているため、毎日水切りを実践し、可燃ごみの削減に努めます。また、食べ残しや余分な食材の購入を減らすことで可燃ごみの発生を抑制します。    |
| (3)      | <b>リターナブル容器の活用</b><br>ごみの発生抑制を促進するために、リターナブル容器を利用し、容器類をごみとしないように努めます。  |
| (4)      | <b>長期使用の推進</b><br>フリーマーケットやリサイクルショップを利用し、不用になったものを必要としている人に譲る、また、使用可能な家具や家電製品を捨てずに修理して長く使用することでごみの発生抑制に努めます。 |
| (5)      | <b>ごみ分別への協力</b><br>可燃ごみ・不燃ごみ・資源物・有害ごみの分別を徹底します。特に、可燃ごみと資源物の分別を徹底し、ごみの減量と資源化に努めます。                            |
| (6)      | <b>温室効果ガス排出量の削減</b><br>可燃ごみなどの焼却対象量を減らし、一般廃棄物の処理に伴い発生する温室効果ガス（二酸化炭素、メタンなど）の発生量を削減します。                        |

### 3. 事業者における方策

事業者が自ら実施する取り組みを以下に示します。

| 事業者における方策 |  |
|-----------|--|
| (1)       | <b>発生源における排出抑制・資源化の推進</b><br>ごみの出にくい商品や環境に配慮した商品の購入・販売を心がけ、ごみの発生抑制、資源化を推進します。また、簡易包装やレジ袋の削減等を図ります。 |
| (2)       | <b>適正な処理の実施</b><br>事業活動に伴って生じた廃棄物は、自らの責任において適正に処理するとともに、その処理に関する技術の開発に努め、ごみの減量化やリサイクルの推進を図ります。     |
| (3)       | <b>ごみ分別への協力</b><br>可燃ごみ・不燃ごみ・資源物等の分別を徹底します。特に、可燃ごみと資源物の分別を徹底し、ごみの減量と資源化に努めます。                      |
| (4)       | <b>食品リサイクル法に基づく肥料化・飼料化の推進</b><br>食品リサイクル法が適用される排出事業所は、法に基づき肥料化・飼料化を推進します。                          |
| (5)       | <b>温室効果ガス排出量の削減</b><br>可燃ごみなどの焼却対象量を減らし、一般廃棄物の処理に伴い発生する温室効果ガス（二酸化炭素、メタンなど）の発生量を削減します。              |

### 4. その他民間活用（彩の国資源循環工場）による方策

環境型社会の担い手となる環境産業・循環産業の事業者について期待される活動を以下に示します。

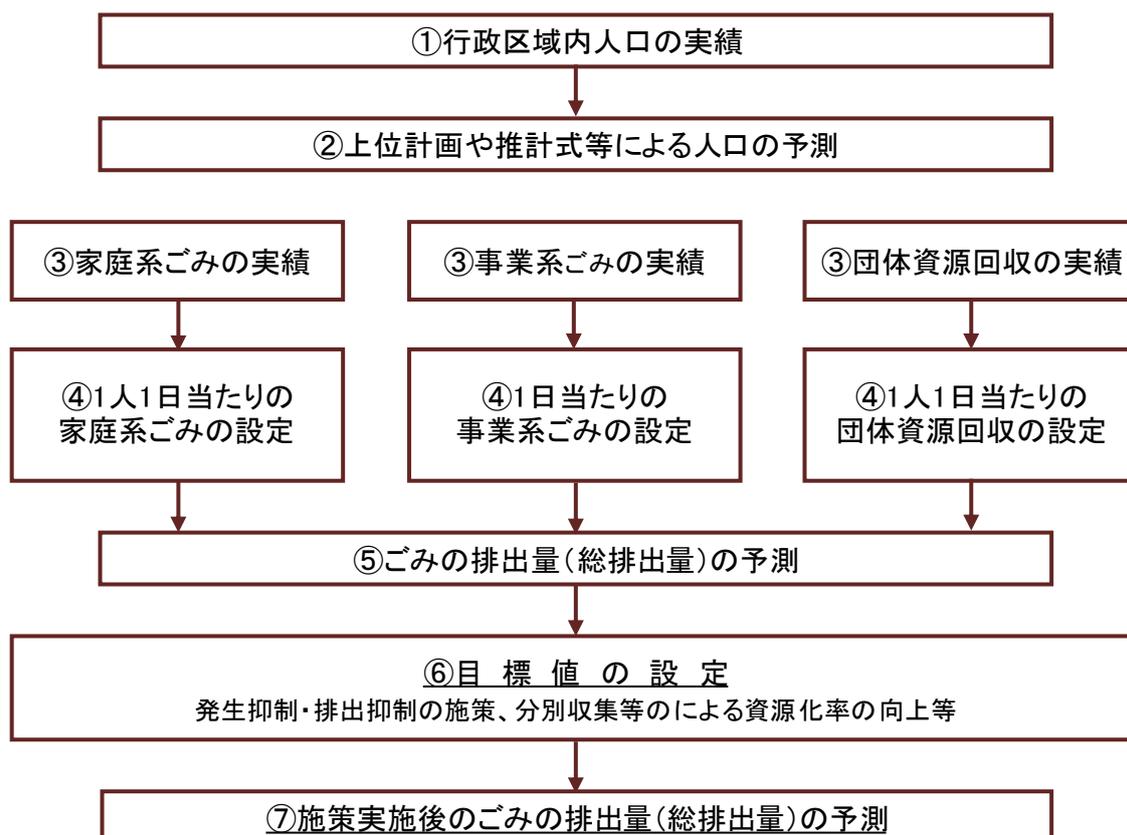
| その他による方策 |  |
|----------|--|
| (1)      | <b>廃棄物を再生資源とした利用推進</b><br>焼却残渣等の廃棄物を再生資源として利用します。また、処理体制を強化し、処理を高度化することで、社会的信頼度を更に高め、循環型社会の形成に努めます。                                      |
| (2)      | <b>彩の国資源循環工場の適切な運営管理</b><br>先端技術を持ったリサイクル産業が多く集積する彩の国資源循環工場を、各企業が事業活動しやすく、適切で安全に運営されるようにし、リサイクルを推進します。併せて、工場見学などを開催し、広く県民に知ってもらう取組を進めます。 |

## 第 2 項 ごみの排出量及び処理量の見通し

ごみ排出量の予測フローを以下に示します。

国・県の基本方針（減量目標）との整合を図りながら、社会状況や地域性を踏まえ、実施する取り組み効果を考慮して、最適な数値目標を設定しますが、ここでは現状の傾向が継続した場合のごみ量（⑤ごみの排出量の予測）を算定します。

図 4-1 排出量の予測フロー



- ① 行政区域内人口の実績を整理します。
- ② 上位計画（総合計画など）により、将来の人口を予測します。
- ③ 家庭系ごみ量、事業系ごみ量、団体資源回収量の過去 5 年間の実績を整理します。
- ④ ③の傾向を踏まえ、将来の 1 人 1 日当たりの家庭系ごみ量、1 日当たりの事業系ごみ量、1 人 1 日当たりの団体資源回収量を予測式などを用いて設定します。
- ⑤ 設定した 1 人 1 日当たりの家庭系ごみ量及び団体資源回収量に②将来の人口を乗じて年間排出量を算出します。事業系ごみ量は、設定した 1 日当たりの事業系ごみ量から年間排出量を算出します。
- ⑥ 目標値を設定します。国や県の目標を踏まえ、ごみの発生を抑える施策（リデュース・リフューズ）、ごみとしないで再使用・再生利用する施策（リユース・リサイクル）など、既存の施策と新たな施策を検討し、削減量を決めます。
- ⑦ 施策の実施あるいは目標値の設定に合わせて、ごみの排出量、家庭系ごみ排出量、事業系ごみ排出量、団体資源回収量を算出します。

# 1. 行政区域内人口の予測

人口実績は減少しているため、予測式はいずれの式も減少傾向を示しましたが、人口の現状と将来の展望を提示する「寄居町人口ビジョン」を策定していることを踏まえ、この「寄居町人口ビジョン」における「人口の将来展望」を将来の人口とします。

将来人口は、平成 33 年度に 32,877 人、平成 38 年度に 31,717 人を見込んでいます。

図 4-2 人口の予測結果

| 年度   |       | 実績値             | 推計値                         |                 |                 |                        |                      |                           |           | 人口問題研究所 | 人口ビジョン | 採用値    |
|------|-------|-----------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|------------------------|----------------------|---------------------------|-----------|---------|--------|--------|
| (西暦) | (平成)  |                 | ①一次傾向線                      | ②二次傾向線          | ③一次指数曲線         | ④べき乗曲線                 | ⑤ルート式                | ⑥対数式                      | ⑦ロジスティック式 |         |        |        |
| 2006 | 18    | 37,762          |                             |                 |                 |                        |                      |                           |           |         |        |        |
| 2007 | 19    | 37,544          |                             |                 |                 |                        |                      |                           |           |         |        |        |
| 2008 | 20    | 37,214          |                             |                 |                 |                        |                      |                           |           |         |        |        |
| 2009 | 21    | 37,001          |                             |                 |                 |                        |                      |                           |           |         |        |        |
| 2010 | 22    | 36,583          |                             |                 |                 |                        |                      |                           |           | 35,774  |        |        |
| 2011 | 23    | 36,134          |                             |                 |                 |                        |                      |                           |           |         |        |        |
| 2012 | 24    | 35,672          |                             |                 |                 |                        |                      |                           |           |         |        |        |
| 2013 | 25    | 35,470          |                             |                 |                 |                        |                      |                           |           |         |        |        |
| 2014 | 26    | 35,083          |                             |                 |                 |                        |                      |                           |           |         |        |        |
| 2015 | 27    | 34,766          |                             |                 |                 |                        |                      |                           |           | 34,252  | 34,404 |        |
| 2016 | 28    |                 | 34,411                      | 34,316          | 34,446          | 34,602                 | 34,494               | 34,575                    | 33,977    |         |        | 34,436 |
| 2017 | 29    |                 | 34,064                      | 33,916          | 34,117          | 34,345                 | 34,186               | 34,304                    | 33,387    |         |        | 34,105 |
| 2018 | 30    |                 | 33,716                      | 33,507          | 33,792          | 34,099                 | 33,885               | 34,043                    | 32,750    |         |        | 33,775 |
| 2019 | 31    |                 | 33,369                      | 33,090          | 33,470          | 33,863                 | 33,588               | 33,791                    | 32,064    |         |        | 33,444 |
| 2020 | 32    |                 | 33,021                      | 32,664          | 33,151          | 33,635                 | 33,296               | 33,546                    | 31,328    | 32,662  | 33,114 | 33,114 |
| 2021 | 33    |                 | 32,674                      | 32,230          | 32,835          | 33,416                 | 33,008               | 33,309                    | 30,542    |         |        | 32,877 |
| 2022 | 34    |                 | 32,326                      | 31,786          | 32,522          | 33,205                 | 32,725               | 33,079                    | 29,707    |         |        | 32,640 |
| 2023 | 35    |                 | 31,978                      | 31,334          | 32,211          | 33,002                 | 32,445               | 32,856                    | 28,823    |         |        | 32,402 |
| 2024 | 36    |                 | 31,631                      | 30,874          | 31,904          | 32,805                 | 32,170               | 32,639                    | 27,893    |         |        | 32,165 |
| 2025 | 37    |                 | 31,283                      | 30,404          | 31,600          | 32,615                 | 31,899               | 32,428                    | 26,919    | 30,887  | 31,928 | 31,928 |
| 2026 | 38    |                 | 30,936                      | 29,926          | 31,299          | 32,431                 | 31,631               | 32,222                    | 25,905    |         |        | 31,717 |
| 備考   | 推計式   | $y=a+b \cdot x$ | $y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$ | $y=a \cdot b^x$ | $y=a \cdot x^b$ | $y=a+b \cdot \sqrt{x}$ | $y=a+b \cdot \log x$ | $y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$ |           |         |        |        |
|      | 定数 a  | 44142.94545     | 41975.51364                 | 45042.52644     | 70172.46824     | 51845.89035            | 60242.78844          | 0.00696                   |           |         |        |        |
|      | 定数 b  | -347.55758      | -151.70530                  | 0.99047         | -0.21219        | -3279.27522            | -17736.94237         | -0.11429                  |           |         |        |        |
|      | 定数 c  |                 | -4.35227                    |                 |                 |                        |                      |                           |           |         |        |        |
|      | 収束値 k |                 |                             |                 |                 |                        |                      | 39,781                    |           |         |        |        |
|      | 相関係数  | 0.99670         | 0.99720                     | 0.99624         | 0.99185         | 0.99532                | 0.99307              | 0.99308                   |           |         |        |        |
|      | 相関順位  | 2               | 1                           | 3               | 7               | 4                      | 6                    | 5                         |           |         |        |        |
| 数値順位 | 5     | 6               | 4                           | 1               | 3               | 2                      | 7                    |                           |           |         |        |        |

資料: 寄居町人口ビジョン(平成 27 年 12 月)

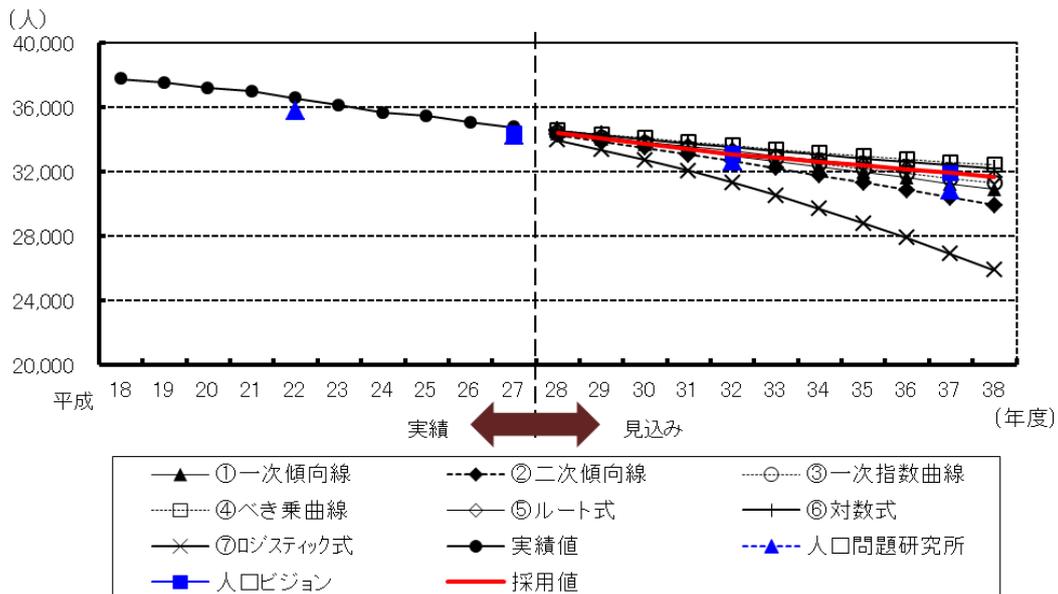
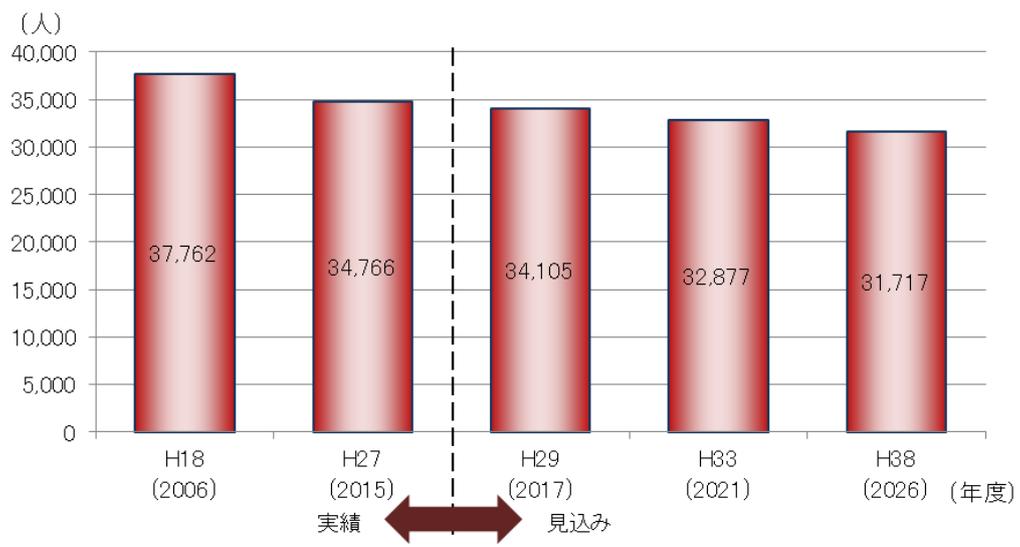


図 4-3 人口の見通し



## 2. ごみ排出量の見通し

### 3) 家庭系ごみ

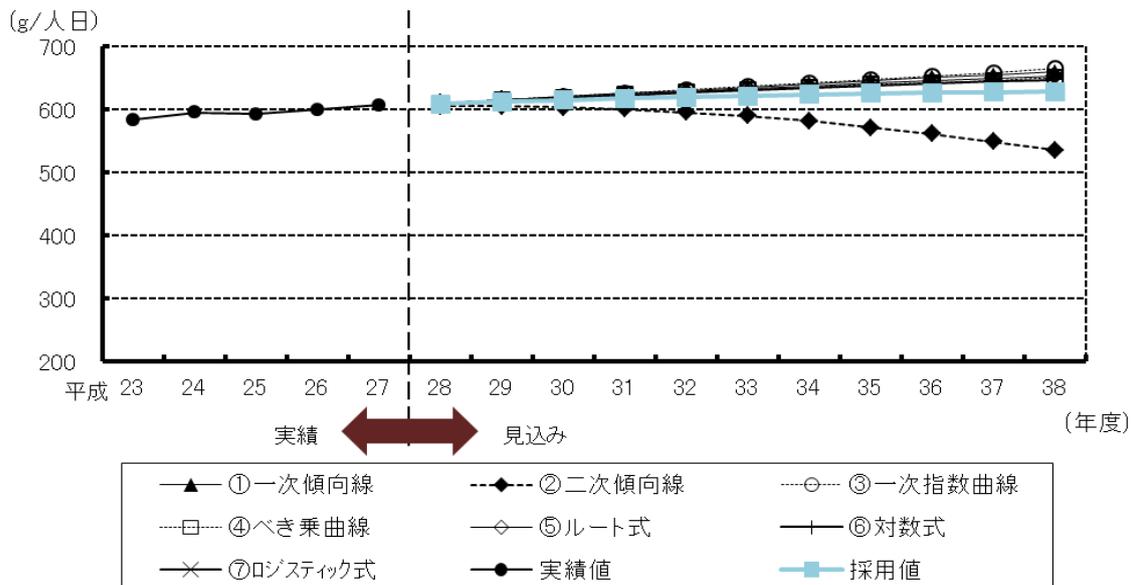
家庭系ごみ量の予測は、現状の傾向が継続した場合を次のように仮定しました。

#### (1) 可燃ごみ

近年は増加傾向のため、予測式は二次傾向線を除き増加傾向を示しました。今後もこれまでの施策を継続することから急激な増加は考えにくいいため、増加傾向が最も緩やかなロジスティック式を採用します。

図 4-4 家庭系可燃ごみの予測結果

| 年度   |       | 実績値             | 推計値                         |                 |                 |                        |                      |                           |           | 採用値 |
|------|-------|-----------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|------------------------|----------------------|---------------------------|-----------|-----|
| (西暦) | (平成)  |                 | ①一次傾向線                      | ②二次傾向線          | ③一次指数曲線         | ④べき乗曲線                 | ⑤ルート式                | ⑥対数式                      | ⑦ロジスティック式 |     |
| 2011 | 23    | 584.0           |                             |                 |                 |                        |                      |                           |           |     |
| 2012 | 24    | 596.0           |                             |                 |                 |                        |                      |                           |           |     |
| 2013 | 25    | 598.0           |                             |                 |                 |                        |                      |                           |           |     |
| 2014 | 26    | 600.0           |                             |                 |                 |                        |                      |                           |           |     |
| 2015 | 27    | 607.0           |                             |                 |                 |                        |                      |                           |           |     |
| 2016 | 28    |                 | 611                         | 606             | 611             | 610                    | 611                  | 610                       | 609       | 609 |
| 2017 | 29    |                 | 616                         | 606             | 616             | 615                    | 615                  | 615                       | 613       | 613 |
| 2018 | 30    |                 | 621                         | 604             | 621             | 619                    | 620                  | 619                       | 615       | 615 |
| 2019 | 31    |                 | 626                         | 601             | 627             | 624                    | 624                  | 623                       | 618       | 618 |
| 2020 | 32    |                 | 631                         | 596             | 632             | 628                    | 629                  | 627                       | 620       | 620 |
| 2021 | 33    |                 | 636                         | 590             | 637             | 632                    | 633                  | 631                       | 622       | 622 |
| 2022 | 34    |                 | 641                         | 582             | 643             | 636                    | 638                  | 635                       | 624       | 624 |
| 2023 | 35    |                 | 646                         | 572             | 648             | 640                    | 642                  | 638                       | 626       | 626 |
| 2024 | 36    |                 | 651                         | 562             | 654             | 643                    | 646                  | 642                       | 627       | 627 |
| 2025 | 37    |                 | 656                         | 549             | 659             | 647                    | 650                  | 645                       | 628       | 628 |
| 2026 | 38    |                 | 661                         | 536             | 665             | 651                    | 654                  | 648                       | 629       | 629 |
| 備考   | 推計式   | $y=a+b \cdot x$ | $y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$ | $y=a \cdot b^x$ | $y=a \cdot x^b$ | $y=a+b \cdot \sqrt{x}$ | $y=a+b \cdot \log x$ | $y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$ |           |     |
|      | 定数 a  | 471.00000       | 0.00339                     | 483.13561       | 303.79032       | 346.28719              | 194.71849            | 1.92757                   |           |     |
|      | 定数 b  | 5.00000         | 42.75777                    | 1.00843         | 0.20944         | 49.96258               | 287.19517            | 0.13473                   |           |     |
|      | 定数 c  |                 | -0.75431                    |                 |                 |                        |                      |                           |           |     |
|      | 収束値 k |                 |                             |                 |                 |                        |                      | 636                       |           |     |
|      | 相関係数  | 0.92848         | 0.91427                     | 0.92847         | 0.92844         | 0.92848                | 0.92840              | 0.92690                   |           |     |
|      | 相関順位  | 2               | 7                           | 3               | 4               | 1                      | 5                    | 6                         |           |     |
| 数値順位 | 2     | 7               | 1                           | 4               | 3               | 5                      | 6                    |                           |           |     |

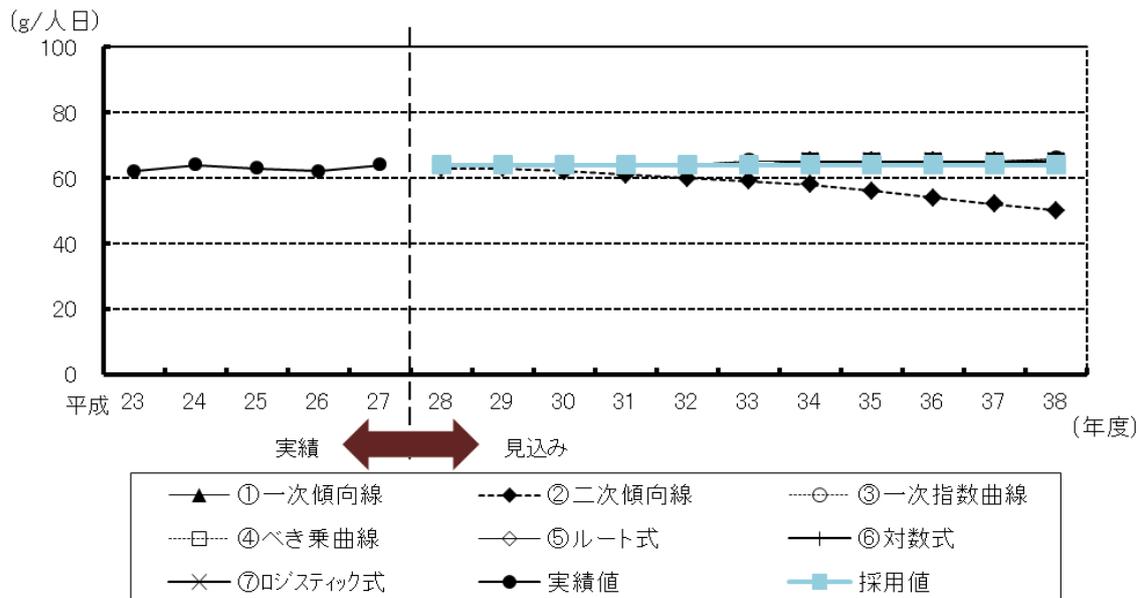


(2) 不燃ごみ

不燃ごみの実績は1人1日当たり63g前後を推移しており、予測式は二次傾向線を除き同様の傾向を示し、65g前後となりました。よって、平成27年度の値が推移するものとしします。

図4-5 家庭系不燃ごみの予測結果

| 年度   |       | 実績値            | 推計値                       |                |                |                       |                     |                          |           | 採用値 |
|------|-------|----------------|---------------------------|----------------|----------------|-----------------------|---------------------|--------------------------|-----------|-----|
| (西暦) | (平成)  |                | ①一次傾向線                    | ②二次傾向線         | ③一次指数曲線        | ④べき乗曲線                | ⑤ルート式               | ⑥対数式                     | ⑦ロジスティック式 |     |
| 2011 | 23    | 62.0           |                           |                |                |                       |                     |                          |           |     |
| 2012 | 24    | 64.0           |                           |                |                |                       |                     |                          |           |     |
| 2013 | 25    | 63.0           |                           |                |                |                       |                     |                          |           |     |
| 2014 | 26    | 62.0           |                           |                |                |                       |                     |                          |           |     |
| 2015 | 27    | 64.0           |                           |                |                |                       |                     |                          |           |     |
| 2016 | 28    |                | 64                        | 63             | 64             | 64                    | 64                  | 64                       | 64        | 64  |
| 2017 | 29    |                | 64                        | 63             | 64             | 64                    | 64                  | 64                       | 64        | 64  |
| 2018 | 30    |                | 64                        | 62             | 64             | 64                    | 64                  | 64                       | 64        | 64  |
| 2019 | 31    |                | 64                        | 61             | 64             | 64                    | 64                  | 64                       | 64        | 64  |
| 2020 | 32    |                | 64                        | 60             | 64             | 64                    | 64                  | 64                       | 64        | 64  |
| 2021 | 33    |                | 65                        | 59             | 65             | 64                    | 64                  | 64                       | 64        | 64  |
| 2022 | 34    |                | 65                        | 58             | 65             | 65                    | 65                  | 65                       | 65        | 64  |
| 2023 | 35    |                | 65                        | 56             | 65             | 65                    | 65                  | 65                       | 65        | 64  |
| 2024 | 36    |                | 65                        | 54             | 65             | 65                    | 65                  | 65                       | 65        | 64  |
| 2025 | 37    |                | 65                        | 52             | 65             | 65                    | 65                  | 65                       | 65        | 64  |
| 2026 | 38    |                | 66                        | 50             | 66             | 65                    | 65                  | 65                       | 65        | 64  |
| 備考   | 推計式   | $y=a+b\cdot x$ | $y=a+b\cdot x+c\cdot x^2$ | $y=a\cdot b^x$ | $y=a\cdot x^b$ | $y=a+b\cdot \sqrt{x}$ | $y=a+b\cdot \log x$ | $y=k/(1+a\cdot e^{-bx})$ |           |     |
|      | 定数 a  | 58.00000       | 0.00042                   | 58.18701       | 48.80094       | 53.00501              | 46.92099            | 0.25038                  |           |     |
|      | 定数 b  | 0.20000        | 4.84958                   | 1.00318        | 0.07935        | 1.99980               | 11.50767            | 0.06074                  |           |     |
|      | 定数 c  |                | -0.09289                  |                |                |                       |                     |                          |           |     |
|      | 収束値 k |                |                           |                |                |                       |                     | 67                       |           |     |
|      | 相関係数  | 0.31623        | 0.27877                   | 0.31623        | 0.31669        | 0.31643               | 0.31675             | 0.31656                  |           |     |
|      | 相関順位  | 6              | 7                         | 5              | 2              | 4                     | 1                   | 3                        |           |     |
| 数値順位 | 1     | 7              | 1                         | 3              | 3              | 3                     | 6                   |                          |           |     |

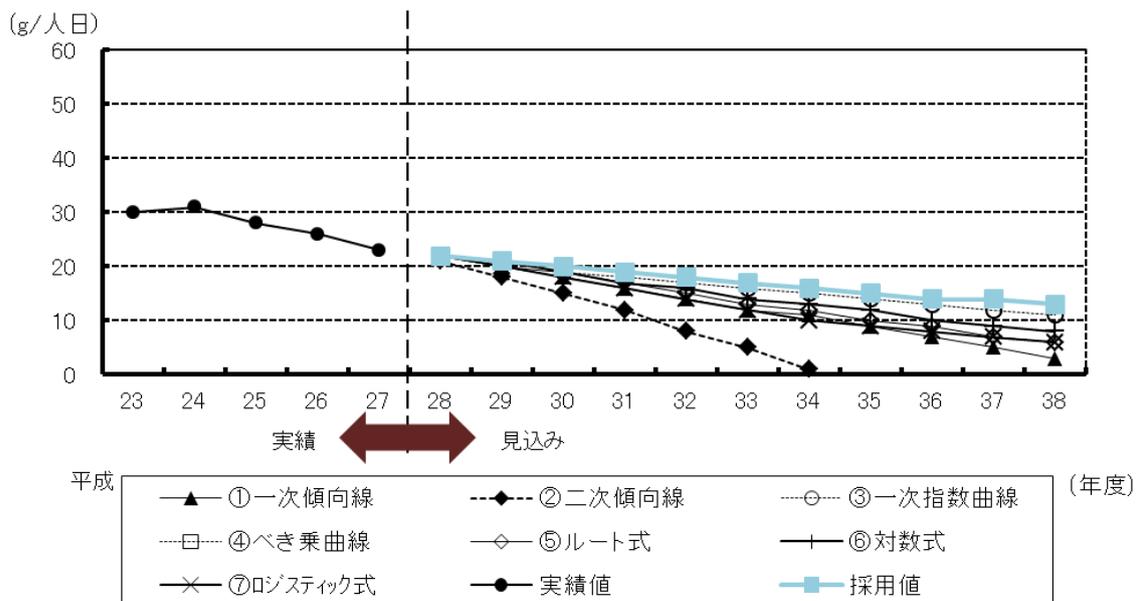


### (3) 資源物

平成 24 年度以降は減少傾向であり、予測式は全て減少傾向を示しました。今後もこれまでの施策を継続することから急激な減少は考えにくいいため、減少傾向が最も緩やかなべき乗曲線を採用します。

図 4-6 家庭系資源物の予測結果

| 年度   |       | 実績値             | 推計値                         |                 |                 |                        |                      |                             |           | 採用値 |
|------|-------|-----------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|------------------------|----------------------|-----------------------------|-----------|-----|
| (西暦) | (平成)  |                 | ①一次傾向線                      | ②二次傾向線          | ③一次指数曲線         | ④べき乗曲線                 | ⑤ルート式                | ⑥対数式                        | ⑦ロジスティック式 |     |
| 2011 | 23    | 30.0            |                             |                 |                 |                        |                      |                             |           |     |
| 2012 | 24    | 31.0            |                             |                 |                 |                        |                      |                             |           |     |
| 2013 | 25    | 28.0            |                             |                 |                 |                        |                      |                             |           |     |
| 2014 | 26    | 26.0            |                             |                 |                 |                        |                      |                             |           |     |
| 2015 | 27    | 23.0            |                             |                 |                 |                        |                      |                             |           |     |
| 2016 | 28    |                 | 22                          | 21              | 22              | 22                     | 22                   | 22                          | 22        | 22  |
| 2017 | 29    |                 | 20                          | 18              | 21              | 21                     | 20                   | 21                          | 20        | 21  |
| 2018 | 30    |                 | 18                          | 15              | 19              | 20                     | 19                   | 19                          | 18        | 20  |
| 2019 | 31    |                 | 16                          | 12              | 18              | 19                     | 17                   | 17                          | 16        | 19  |
| 2020 | 32    |                 | 14                          | 8               | 17              | 18                     | 15                   | 16                          | 14        | 18  |
| 2021 | 33    |                 | 12                          | 5               | 16              | 17                     | 13                   | 14                          | 12        | 17  |
| 2022 | 34    |                 | 11                          | 1               | 15              | 16                     | 12                   | 13                          | 10        | 16  |
| 2023 | 35    |                 | 9                           | -4              | 14              | 15                     | 10                   | 12                          | 9         | 15  |
| 2024 | 36    |                 | 7                           | -8              | 13              | 14                     | 9                    | 10                          | 8         | 14  |
| 2025 | 37    |                 | 5                           | -13             | 12              | 14                     | 7                    | 9                           | 7         | 14  |
| 2026 | 38    |                 | 3                           | -18             | 11              | 13                     | 6                    | 8                           | 6         | 13  |
| 備考   | 推計式   | $y=a+b \cdot x$ | $y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$ | $y=a \cdot b^x$ | $y=a \cdot x^b$ | $y=a+b \cdot \sqrt{x}$ | $y=a+b \cdot \log x$ | $y=k / (1+a \cdot e^{-bx})$ |           |     |
|      | 定数 a  | 75.10000        | -0.00170                    | 160.84457       | 7643.56104      | 122.13013              | 178.91595            | 0.00451                     |           |     |
|      | 定数 b  | -1.90000        | 4.14897                     | 0.93171         | -1.74975        | -18.91360              | -108.29607           | -0.19215                    |           |     |
|      | 定数 c  |                 | -0.12140                    |                 |                 |                        |                      |                             |           |     |
|      | 収束値 k |                 |                             |                 |                 |                        |                      | 43                          |           |     |
|      | 相関係数  | 0.93606         | 0.95519                     | 0.92292         | 0.91463         | 0.93251                | 0.92880              | 0.94543                     |           |     |
|      | 相関順位  | 3               | 1                           | 6               | 7               | 4                      | 5                    | 2                           |           |     |
| 数値順位 | 6     | 7               | 2                           | 1               | 5               | 3                      | 3                    |                             |           |     |



(4) 有害ごみ

家庭系有害ごみは平成 23 年度から 1 人 1 日当たりの量は変わらないため、今後も同じ排出量を維持するものとします。

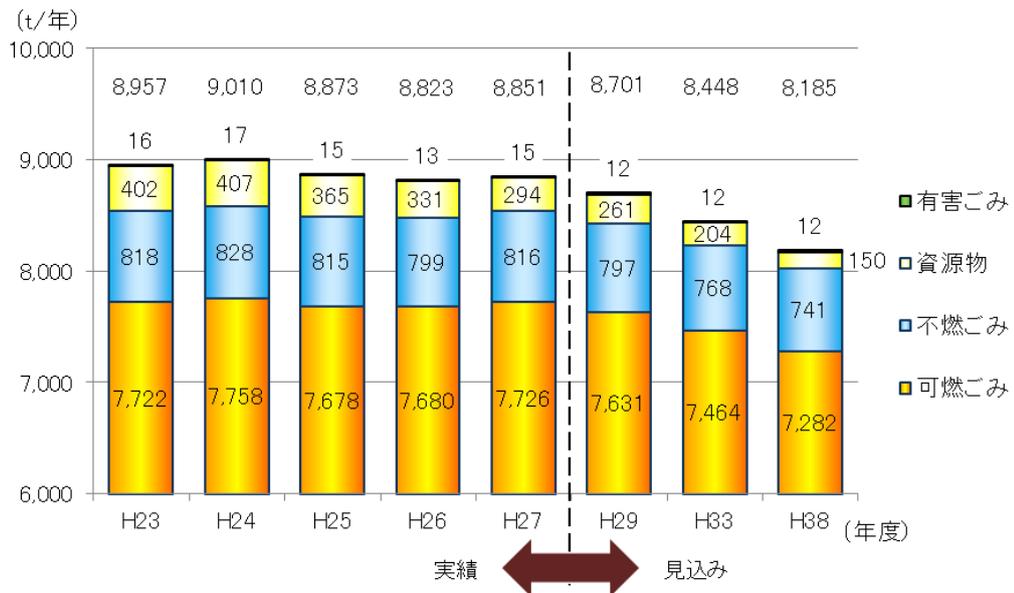
表 4-1 家庭系有害ごみの予測結果

|      |      | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 予測採用値 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 有害ごみ | g/人日 | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1     |

(5) 家庭系ごみの見通し

現状の傾向が継続した場合の家庭系ごみは平成 33 年度に 8,448t、平成 38 年度には 8,185t と見込まれます。

図 4-7 家庭系ごみの見通し



#### 4) 事業系ごみ

事業系ごみは減少傾向であり、予測式は全て減少傾向を示しました。近年は減少傾向が緩やかになっていることから、平成 27 年度実績を採用します。

現状の傾向が継続した場合の事業系ごみは 3.4t/日と見込まれます。

図 4-8 事業系ごみの予測結果

| 年度   |       | 実績値            | 推計値                       |                |                |                       |                     |                          |           | 採用値 |
|------|-------|----------------|---------------------------|----------------|----------------|-----------------------|---------------------|--------------------------|-----------|-----|
| (西暦) | (平成)  |                | ①一次傾向線                    | ②二次傾向線         | ③一次指数曲線        | ④べき乗曲線                | ⑤ルート式               | ⑥対数式                     | ⑦ロジスティック式 |     |
| 2011 | 23    | 6.1            |                           |                |                |                       |                     |                          |           |     |
| 2012 | 24    | 5.0            |                           |                |                |                       |                     |                          |           |     |
| 2013 | 25    | 4.0            |                           |                |                |                       |                     |                          |           |     |
| 2014 | 26    | 3.6            |                           |                |                |                       |                     |                          |           |     |
| 2015 | 27    | 3.4            |                           |                |                |                       |                     |                          |           |     |
| 2016 | 28    |                | 2.4                       | 2.2            | 2.8            | 2.8                   | 2.4                 | 2.5                      | 2.5       | 3.4 |
| 2017 | 29    |                | 1.7                       | 1.3            | 2.4            | 2.5                   | 1.8                 | 1.9                      | 2.0       | 3.4 |
| 2018 | 30    |                | 1.0                       | 0.3            | 2.0            | 2.2                   | 1.2                 | 1.3                      | 1.6       | 3.4 |
| 2019 | 31    |                | 0.3                       | -0.7           | 1.8            | 1.9                   | 0.5                 | 0.7                      | 1.2       | 3.4 |
| 2020 | 32    |                | -0.3                      | -1.9           | 1.5            | 1.7                   | -0.1                | 0.2                      | 1.0       | 3.4 |
| 2021 | 33    |                | -1.0                      | -3.0           | 1.3            | 1.5                   | -0.7                | -0.3                     | 0.7       | 3.4 |
| 2022 | 34    |                | -1.7                      | -4.3           | 1.1            | 1.4                   | -1.3                | -0.9                     | 0.6       | 3.4 |
| 2023 | 35    |                | -2.4                      | -5.6           | 1.0            | 1.2                   | -1.8                | -1.4                     | 0.4       | 3.4 |
| 2024 | 36    |                | -3.1                      | -7.0           | 0.8            | 1.1                   | -2.4                | -1.8                     | 0.3       | 3.4 |
| 2025 | 37    |                | -3.7                      | -8.4           | 0.7            | 1.0                   | -3.0                | -2.3                     | 0.2       | 3.4 |
| 2026 | 38    |                | -4.4                      | -9.9           | 0.6            | 0.9                   | -3.5                | -2.8                     | 0.2       | 3.4 |
| 備考   | 推計式   | $y=a+b\cdot x$ | $y=a+b\cdot x+c\cdot x^2$ | $y=a\cdot b^x$ | $y=a\cdot x^b$ | $y=a+b\cdot \sqrt{x}$ | $y=a+b\cdot \log x$ | $y=k/(1+a\cdot e^{-bx})$ |           |     |
|      | 定数 a  | 21.42000       | 0.00092                   | 182.28528      | 760797.58370   | 38.49836              | 59.36884            | 0.00085                  |           |     |
|      | 定数 b  | -0.68000       | 1.02734                   | 0.86092        | -3.75485       | -6.81840              | -39.32661           | -0.28952                 |           |     |
|      | 定数 c  |                | -0.03392                  |                |                |                       |                     |                          |           |     |
|      | 収束値 k |                |                           |                |                |                       |                     | 10                       |           |     |
|      | 相関係数  | 0.95708        | 0.93825                   | 0.97839        | 0.98279        | 0.96039               | 0.96357             | 0.96106                  |           |     |
|      | 相関順位  | 6              | 7                         | 2              | 1              | 5                     | 3                   | 4                        |           |     |
| 数値順位 | 6     | 7              | 2                         | 1              | 5              | 4                     | 3                   |                          |           |     |

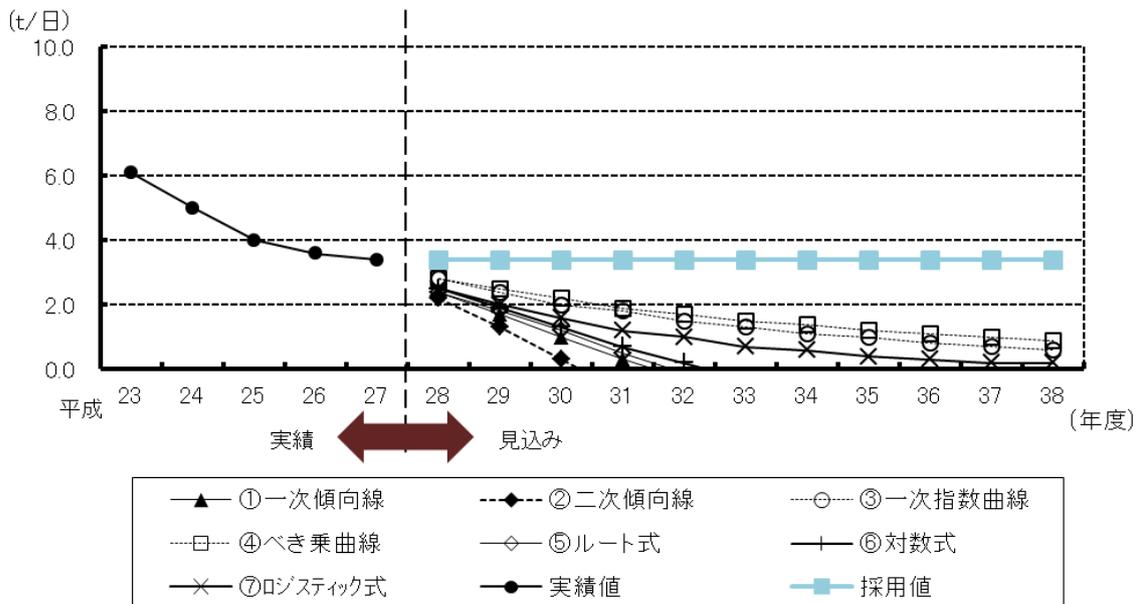
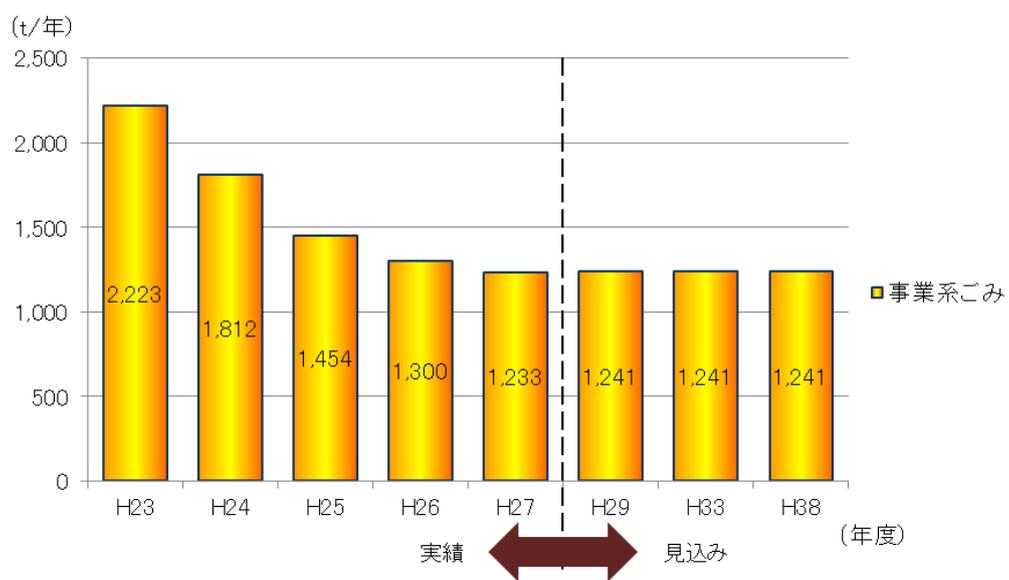


図 4-9 事業系ごみの見通し



## 5) 団体資源回収

平成 24 年度実績を除くと、実績はやや減少傾向であり、予測式も全て減少傾向を示しました。今後もこれまでの施策を継続することから急激な減少は考えにくいため、平成 27 年度実績を採用します。

ただし、人口が減少傾向であるため、1 人 1 日平均排出量が現状維持の傾向であっても、平成 33 年度に 756t、平成 38 年度には 729t と見込まれます。

図 4-10 団体資源回収の予測結果

| 年度   |       | 実績値             | 推計値                         |                 |                 |                        |                      |                             |           | 採用値 |
|------|-------|-----------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|------------------------|----------------------|-----------------------------|-----------|-----|
| (西暦) | (平成)  |                 | ①一次傾向線                      | ②二次傾向線          | ③一次指数曲線         | ④べき乗曲線                 | ⑤ルート式                | ⑥対数式                        | ⑦ロジスティック式 |     |
| 2011 | 23    | 68.0            |                             |                 |                 |                        |                      |                             |           |     |
| 2012 | 24    | 75.0            |                             |                 |                 |                        |                      |                             |           |     |
| 2013 | 25    | 65.0            |                             |                 |                 |                        |                      |                             |           |     |
| 2014 | 26    | 65.0            |                             |                 |                 |                        |                      |                             |           |     |
| 2015 | 27    | 63.0            |                             |                 |                 |                        |                      |                             |           |     |
| 2016 | 28    |                 | 62                          | 61              | 62              | 62                     | 62                   | 62                          | 62        | 63  |
| 2017 | 29    |                 | 61                          | 59              | 61              | 61                     | 61                   | 61                          | 61        | 60  |
| 2018 | 30    |                 | 60                          | 56              | 60              | 60                     | 60                   | 60                          | 60        | 58  |
| 2019 | 31    |                 | 59                          | 53              | 59              | 59                     | 59                   | 59                          | 59        | 57  |
| 2020 | 32    |                 | 57                          | 50              | 58              | 59                     | 58                   | 58                          | 58        | 55  |
| 2021 | 33    |                 | 56                          | 47              | 57              | 58                     | 57                   | 57                          | 57        | 53  |
| 2022 | 34    |                 | 55                          | 43              | 56              | 57                     | 56                   | 56                          | 56        | 51  |
| 2023 | 35    |                 | 54                          | 39              | 55              | 56                     | 55                   | 55                          | 55        | 49  |
| 2024 | 36    |                 | 53                          | 34              | 54              | 56                     | 54                   | 55                          | 55        | 47  |
| 2025 | 37    |                 | 51                          | 30              | 53              | 55                     | 53                   | 54                          | 54        | 44  |
| 2026 | 38    |                 | 50                          | 25              | 52              | 54                     | 52                   | 53                          | 53        | 42  |
| 備考   | 推計式   | $y=a+b \cdot x$ | $y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$ | $y=a \cdot b^x$ | $y=a \cdot x^b$ | $y=a+b \cdot \sqrt{x}$ | $y=a+b \cdot \log x$ | $y=k / (1+a \cdot e^{-bx})$ |           |     |
|      | 定数 a  | 94.82857        | 0.00059                     | 102.37475       | 273.38320       | 123.96988              | 159.30697            | 0.00921                     |           |     |
|      | 定数 b  | -1.17143        | 6.45400                     | 0.98231         | -0.44406        | -11.69078              | -67.11159            | -0.11872                    |           |     |
|      | 定数 c  |                 | -0.15274                    |                 |                 |                        |                      |                             |           |     |
|      | 収束値 k |                 |                             |                 |                 |                        |                      | 77                          |           |     |
|      | 相関係数  | 0.97043         | 0.95507                     | 0.97063         | 0.97080         | 0.97067                | 0.97079              | 0.96820                     |           |     |
| 相関順位 | 5     | 7               | 4                           | 1               | 3               | 2                      | 6                    |                             |           |     |
| 数値順位 | 5     | 7               | 3                           | 1               | 4               | 2                      | 6                    |                             |           |     |

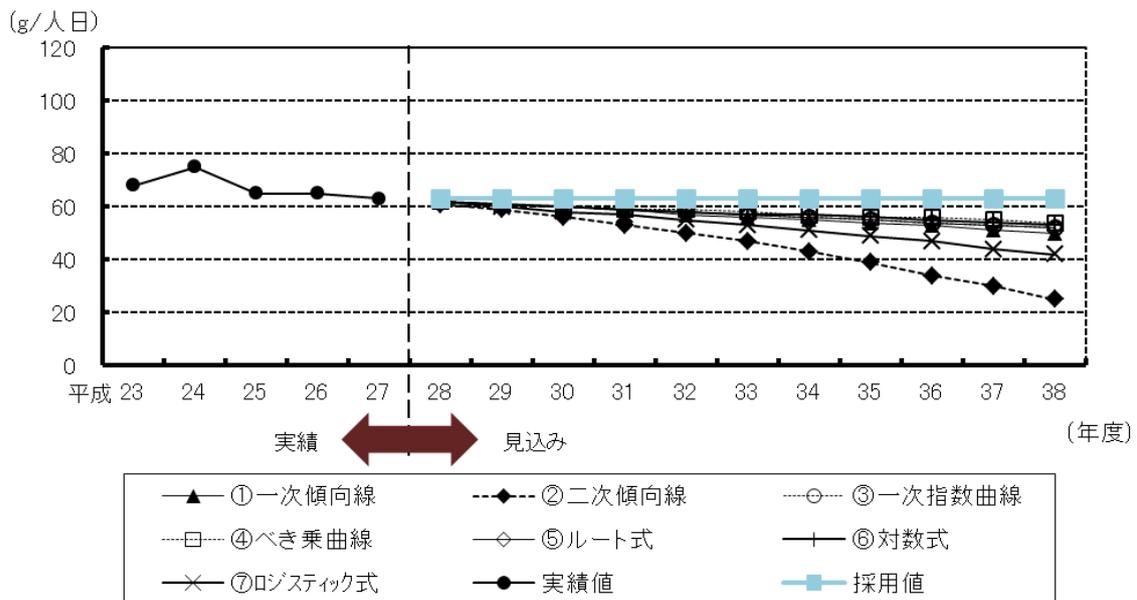
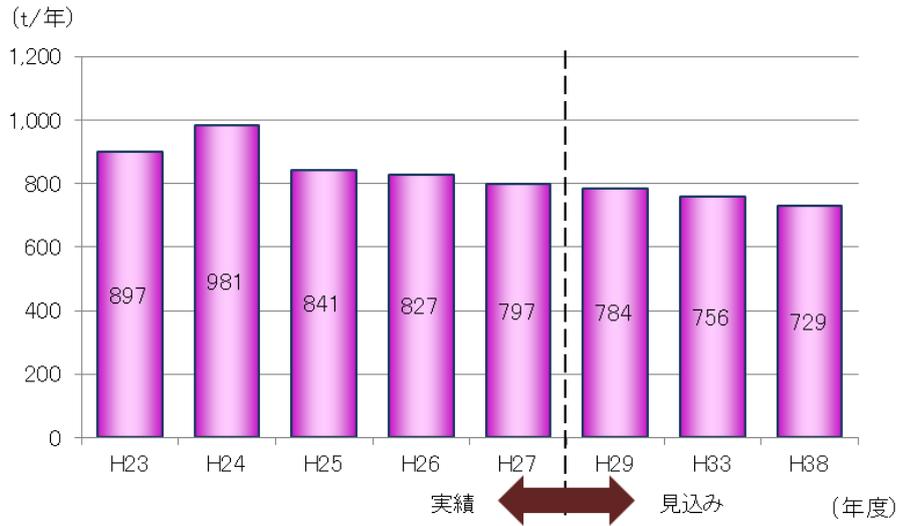


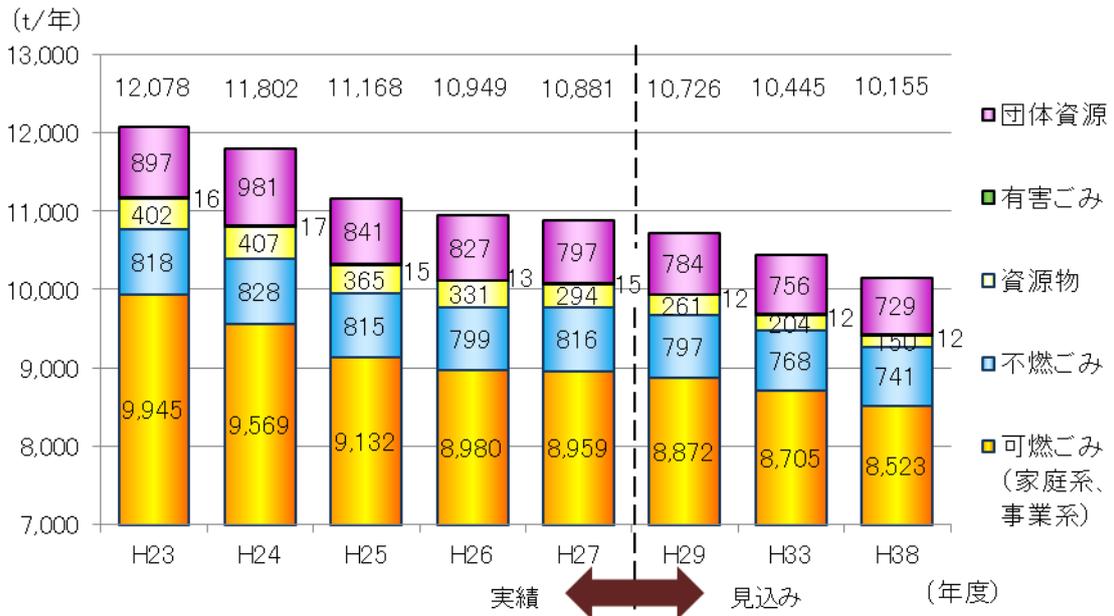
図 4-11 団体資源回収の見通し



### 3. 種類別排出量の見通し

現状の傾向が継続した場合のごみ排出量は平成 33 年度に 10,445t、平成 38 年度には 10,155t と見込まれます。

図 4-12 種類別排出量の見通し

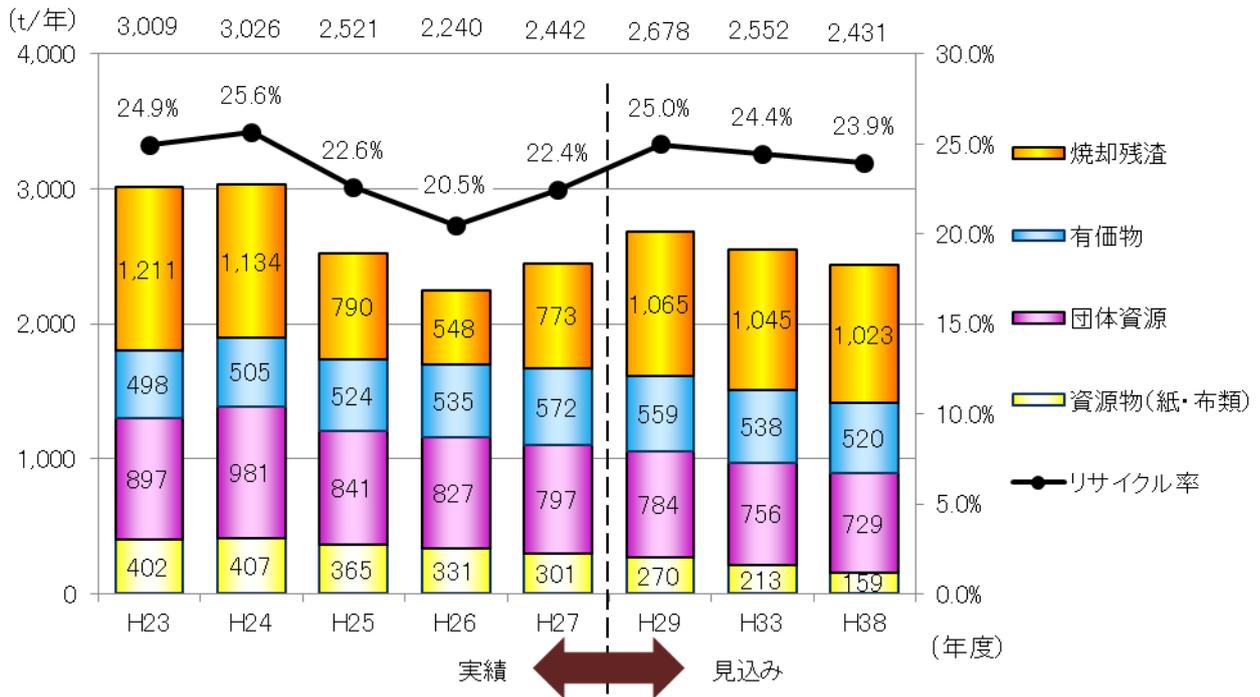


#### 4. 資源化量の見通し

現状の傾向が継続した場合、平成 29 年度以降は焼却残渣の資源化が平成 25 年度以前の量に戻ると想定されますが、資源物や団体資源回収、大里広域クリーンセンターからの有価物回収は徐々に減少すると見込まれます。

なお、基幹改良工事に伴い、可燃ごみを外部委託していましたが、今後は予定していないため、可燃ごみの外部委託量を除く資源化量を以下に示します。

図 4-13 資源化量の見通し



## 5. 発生・排出抑制による減量効果の予測

国・県の目標と本町の実績、現状の傾向が継続した場合の見通しを比較すると、1人1日当たりの排出量や1人1日当たりの家庭系ごみ（資源を除く）の目標は達成が難しい状況です。

表 4-2 国や県の目標との比較

|                     |      | 廃棄物処理法に基づく基本方針※1 | 第三次循環型社会形成推進基本計画※2 | 第8次埼玉県廃棄物処理基本計画※3 | 寄居町実績  | 寄居町見通し |        | 備考<br>(国や県の目標の基準となる実績) |        |        |
|---------------------|------|------------------|--------------------|-------------------|--------|--------|--------|------------------------|--------|--------|
|                     |      | H32              | H32                | H32               | H27    | H32    | H38    | H12※4                  | H24    | H25    |
| 総排出量(団体資源回収含む)      | t/年  | 10,386           |                    |                   | 10,881 | 10,500 | 10,155 |                        | 11,802 | 11,168 |
| 1人1日当たりの排出量         | g/人日 |                  | 604                |                   | 855    | 869    | 877    | 806                    | 906    | 863    |
| 家庭系ごみ               | t/年  |                  |                    |                   | 8,851  | 8,498  | 8,185  |                        | 9,010  | 8,873  |
| 1人1日当たりの家庭系ごみ(資源除く) | g/人日 | 500              | 483                | 578               | 629※5  | 642    | 651    | 644                    | 624    | 622    |
| 事業系ごみ               | t/年  |                  | 692                | 1,308             | 1,233  | 1,241  | 1,241  | 1,065                  | 1,812  | 1,454  |
| 資源回収量               |      |                  |                    |                   | 2,442  | 2,578  | 2,431  |                        | 3,026  | 2,521  |
| 再生利用率               | %    | 27.0             |                    |                   | 22.4   | 24.6   | 23.9   |                        | 25.6   | 22.6   |
| 最終処分量               | t/年  | 247              |                    |                   | 241    | 228    | 219    |                        | 287    | 239    |
|                     | g/人日 |                  |                    | 16                | 19     | 19     | 19     |                        | 22     | 18     |

□は未達成

※1におけるごみ発生量

=H24年度の12%減

※1における最終処分量

=H24年度の14%減

※2における1人1日当たりのごみ排出量

=H12年度の25%減

※2における1人1日当たりの家庭系ごみ

=H12年度の25%減

※2における事業系ごみ

=H12年度の35%減

※3における1人1日当たりの家庭系ごみ

=H25年度の約7%減

※3における事業系ごみ

=H25年度の約10%減

※3における1人1日当たり最終処分量

=H25年度の約10%減

※4平成12年度実績は一般廃棄物実態調査結果より算出

※5 (総排出量8,851.31t-Σ(カン66.78t,ビン324.08t,小型家電61.6t,ペットボトル100.38t,資源物293.92t))÷総人口34,766人÷366日より算出

### 第3項 発生抑制及び資源化の目標

#### 1. 目標値の設定

減量や資源化の目標を設定し、埼玉県廃棄物処理基本計画の目標達成を目指すこととします。

減量の目標値（一人一日当たりの資源物を除く家庭系ごみ）を以下のとおりとします。

<第8次埼玉県廃棄物処理基本計画>

629g/人・日（平成27年度） ⇒ 578g/人・日（平成38年度）

（578g/人・日=622g/人・日（H25実績）×0.93）・・・平成25年度の7%削減

また、事業系ごみ、最終処分量の目標値も埼玉県廃棄物処理基本計画にならい以下のとおりとします。

表4-3 目標値の設定

|                         |      | 第8次<br>埼玉県廃棄物<br>処理基本計画※<br>1 | 寄居町<br>実績 | 見通し    | 削減後   | 備考     |
|-------------------------|------|-------------------------------|-----------|--------|-------|--------|
|                         |      | H32                           | H27       | H38    | H38   | H25    |
| 総排出量(団体資源回収含む)          | t/年  |                               | 10,881    | 10,155 | 9,669 | 11,168 |
| 1人1日当たりの排出量             | g/人日 |                               | 855       | 877    | 835   | 863    |
| 家庭系ごみ                   | t/年  |                               | 8,851     | 8,185  | 7,699 | 8,873  |
| 1人1日当たりの家庭系ごみ<br>(資源除く) | g/人日 | 578                           | 629※2     | 651    | 578   | 622    |
| 事業系ごみ                   | t/年  | 1,308                         | 1,233     | 1,241  | 1,241 | 1,454  |
| 資源回収量※3                 |      |                               | 2,442     | 2,431  | 2,688 | 2,521  |
| 再生利用率                   | %    |                               | 22.4      | 23.9   | 27.8  | 22.6   |
| 最終処分量                   | t/年  |                               | 241       | 219    | 219   | 239    |
|                         | g/人日 | 16                            | 19        | 19     | 19    | 18     |

□は未達成

※1における1人1日当たりの家庭系ごみ

※1における事業系ごみ

※1における1人1日当たり最終処分量

※2（総排出量8,832.45t-Σ（カン66.78t,ビン324.08t,小型家電61.6t1,ペットボトル100.38t,資源物293.92t）÷総人口34,766人÷366日より算出

※3資源回収量に可燃ごみの外部委託量は含まない

## 2. 削減目標の設定

家庭系可燃ごみには、紙類や食べ残し等の生ごみ、レジ袋等のプラスチック、さらに重量の半分近くを占める生ごみに含まれる水分があります。

そこで、家庭系可燃ごみに含まれている紙類は資源物として分別し、生ごみは食べ残し等の削減と水切りを強化、レジ袋等はマイバッグ持参やプラスチック容器包装を削減することでごみの発生を抑え、可燃ごみを削減します。このような取り組みにより、可燃ごみを1人1日当たり51g減らすことができます。

その結果、1人1日当たりの家庭系ごみは埼玉県の目標値を達成し、廃棄物処理法に基づく基本方針の総排出量や再生利用率の目標も達成することができます。

表 4-4 家庭系可燃ごみの内訳及び削減目標

|    | 平均ごみ質<br>(湿ベース) | H27家庭系<br>可燃ごみ<br>内訳 | 原単位   | 削減目標  | 削減割合 | 備考    |                     |
|----|-----------------|----------------------|-------|-------|------|-------|---------------------|
|    | %               | t/年                  | g/人・日 | g/人・日 | %    |       |                     |
| 組成 | 紙類              | 34.0                 | 2,627 | 206   | 21   | 10.2  | 紙類の資源化              |
|    | 布類              | 3.4                  | 263   | 21    |      |       |                     |
|    | 木・竹・ワラ類         | 8.0                  | 618   | 49    |      |       |                     |
|    | プラスチック類         | 15.0                 | 1,159 | 91    | 5    | 5.5   | レジ袋の削減<br>容器包装プラの削減 |
|    | ゴム・皮革類          | 4.8                  | 371   | 29    |      |       |                     |
|    | ちゅう芥類           | 31.3                 | 2,418 | 190   | 25   | 13.2  |                     |
|    |                 |                      |       |       | (15) | (7.9) | 食べ残し等の削減            |
|    |                 |                      |       |       | (10) | (5.3) | 水切りの強化              |
|    | 不燃物類            | 1.3                  | 100   | 8     |      |       |                     |
|    | その他             | 2.2                  | 170   | 13    |      |       |                     |
| 合計 | 100.0           | 7,726                | 607   | 51    |      |       |                     |

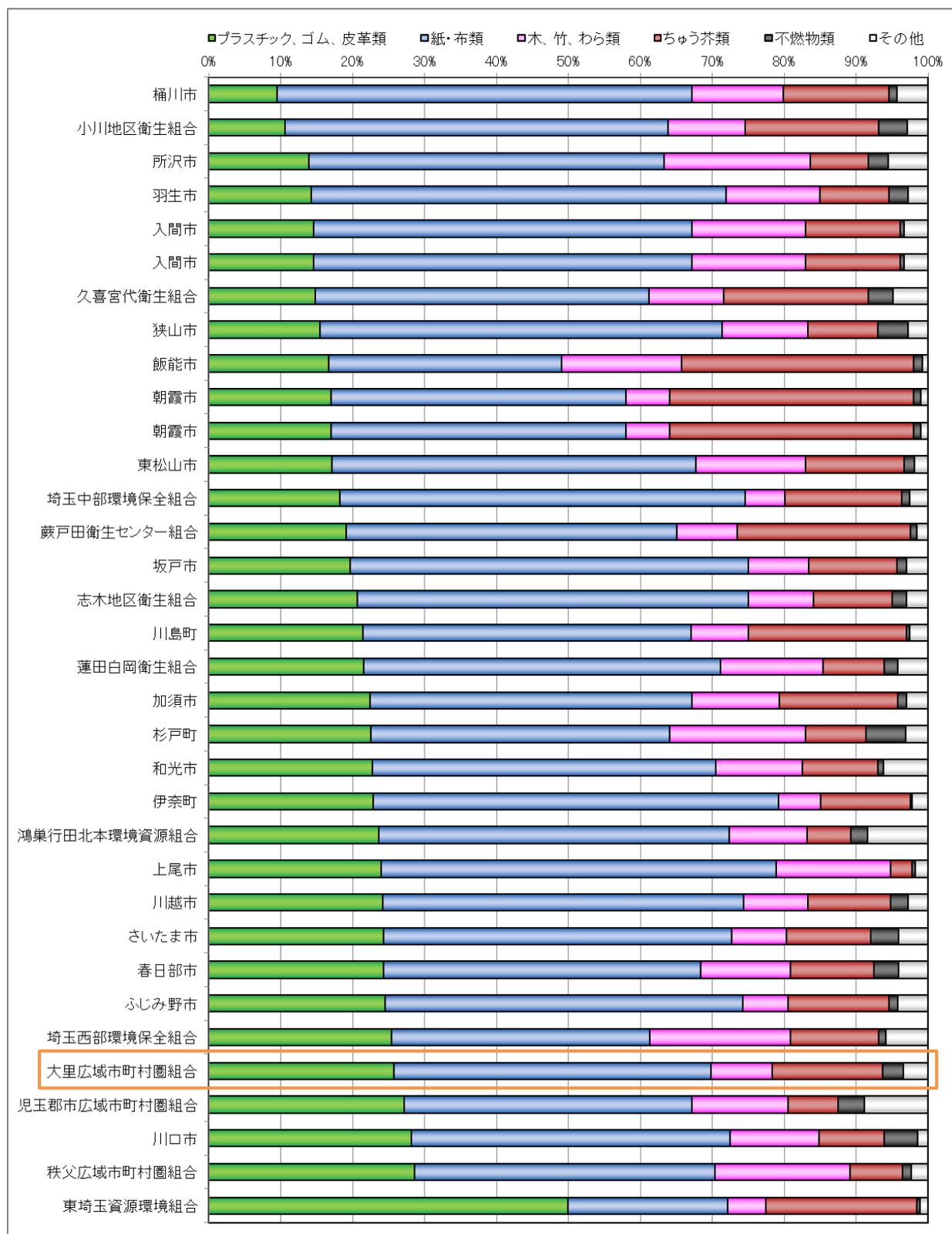
※平均ごみ質(湿ベース)は深谷清掃センター、江南清掃センターのごみ質より算出しています。

なお、一般廃棄物処理事業実態調査結果より、平成 26 年度の埼玉県内の組成分析結果を図 4-14 に示します。

プラスチック・ゴム・皮革類が組成に占める割合をみると、組合ではプラスチック類を焼却していることもあり、他市町より高い傾向にあります。プラスチック製容器包装を削減するために分別品目の追加など、新たな施策の検討が必要です。

プラスチック製容器包装の分別を実施した場合、表 4-4 から想定される資源化量を図 4-15 に示します。

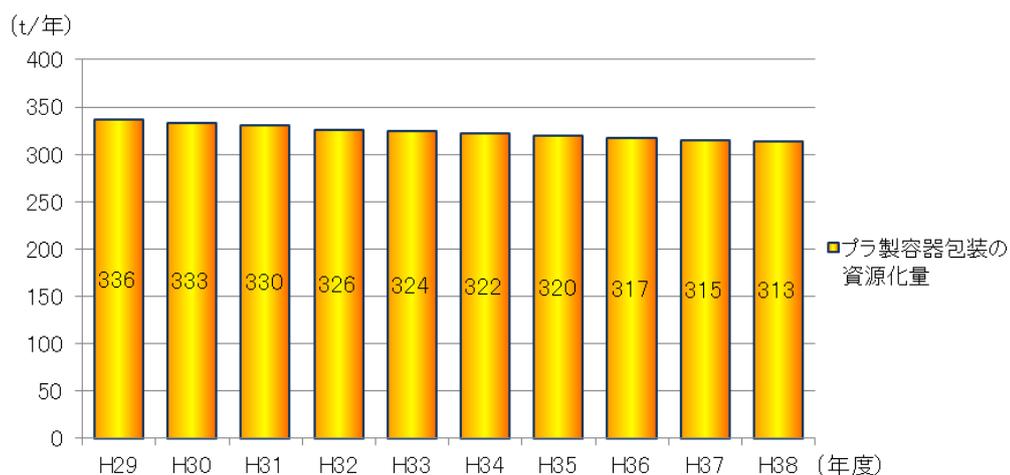
図 4-14 埼玉県内における市町等のごみ組成分析結果



資料：一般廃棄物処理事業実態調査結果(平成 26 年度)

複数の施設がある市町等は平均を算出した。

図 4-15 想定されるプラスチック製容器包装の資源化量（参考）



※家庭系可燃ごみのごみ質から、家庭系可燃ごみに含まれるプラスチック類の 30%を回収した場合  
 (=607g/人日(平成 27 年度実績)×プラスチック類のごみ質 15%×人口の見通し×365 日/1,000,000×30%)

表 4-5 埼玉県内におけるプラスチック製容器包装の資源化量

|       | 人口<br>(人) | 容器包装プラ<br>資源化量<br>(t/年) | 1人1日<br>当たりの量<br>(g/人日) |
|-------|-----------|-------------------------|-------------------------|
| さいたま市 | 1,259,858 | 4,784                   | 10                      |
| 川越市   | 349,317   | 3,273                   | 26                      |
| 川口市   | 588,222   | 3,048                   | 14                      |
| 所沢市   | 342,814   | 5,376                   | 43                      |
| 飯能市   | 80,937    | 1,061                   | 36                      |
| 東松山市  | 89,274    | 1,428                   | 44                      |
| 狭山市   | 154,567   | 2,134                   | 38                      |
| 鴻巣市   | 119,415   | 1,449                   | 33                      |
| 蕨市    | 72,321    | 355                     | 13                      |
| 戸田市   | 132,335   | 782                     | 16                      |
| 入間市   | 150,060   | 2,235                   | 41                      |
| 朝霞市   | 133,849   | 811                     | 17                      |
| 和光市   | 80,077    | 657                     | 22                      |
| 桶川市   | 75,165    | 896                     | 33                      |
| 久喜市   | 154,877   | 2,430                   | 43                      |
| 北本市   | 68,712    | 706                     | 28                      |
| 坂戸市   | 101,191   | 1,441                   | 39                      |
| 幸手市   | 53,199    | 709                     | 37                      |
| 鶴ヶ島市  | 70,132    | 387                     | 15                      |
| ふじみ野市 | 111,339   | 1,493                   | 37                      |
| 伊奈町   | 44,067    | 521                     | 32                      |
| 三芳町   | 38,263    | 584                     | 42                      |
| 毛呂山町  | 35,418    | 178                     | 14                      |
| 越生町   | 12,351    | 66                      | 15                      |
| 嵐山町   | 18,255    | 463                     | 69                      |
| 小川町   | 32,356    | 953                     | 81                      |
| 川島町   | 21,309    | 173                     | 22                      |
| 吉見町   | 20,492    | 348                     | 47                      |
| 鳩山町   | 14,504    | 94                      | 18                      |
| 東秩父村  | 3,147     | 80                      | 70                      |
| 宮代町   | 33,347    | 723                     | 59                      |
| 杉戸町   | 46,373    | 465                     | 27                      |
| 平均    |           |                         | 34                      |

資料：一般廃棄物処理事業実態調査結果(平成 26 年度)

### 3. 目標を達成した場合のごみ排出量

毎日 51g の家庭系可燃ごみを減らすことにより、他の項目についても以下のような目標値を達成することができます。

図 4-16 排出量の実績と目標値

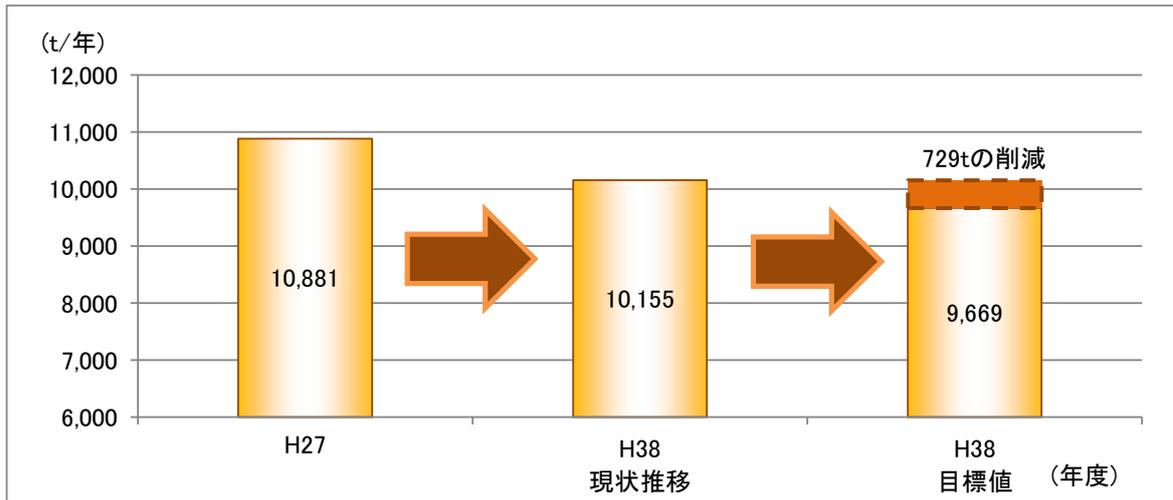


図 4-17 1人1日当たりの家庭系ごみ（資源除く）の実績と目標値

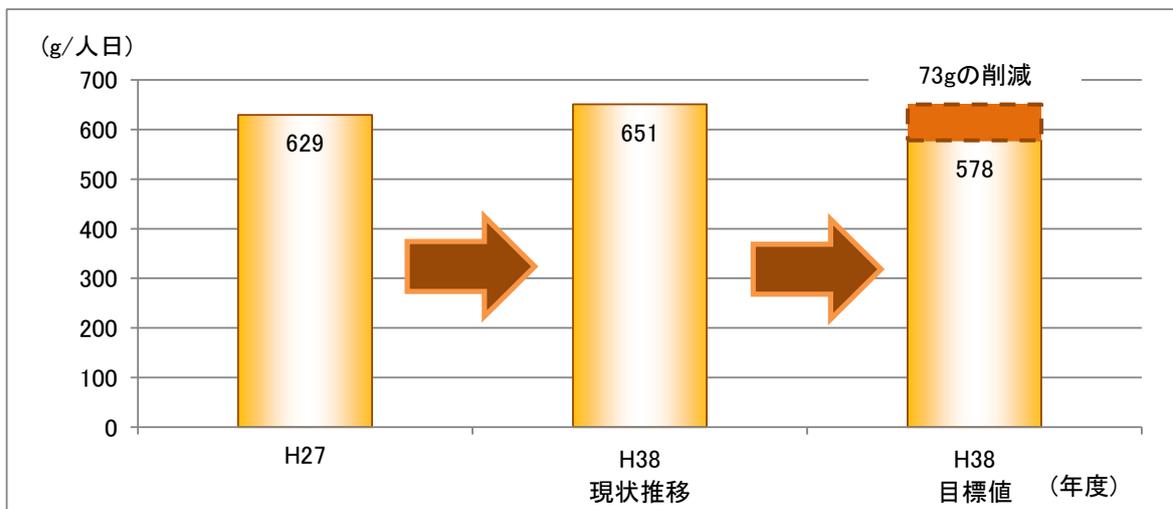


図 4-18 最終処分量の実績と目標値

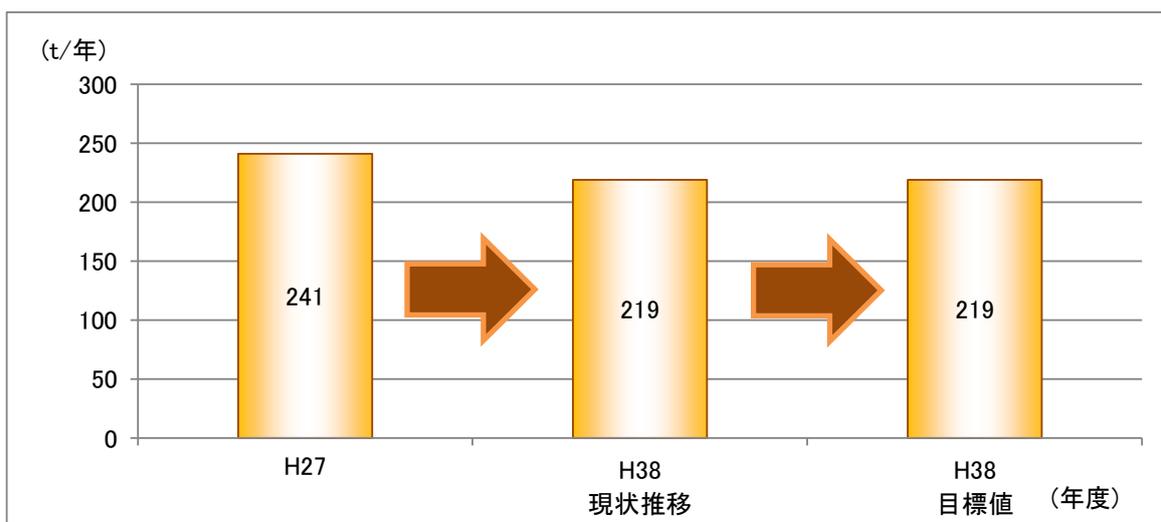


表 4-6 目標を達成した場合の排出量

|                         |      | 実績     |        | 見込み    |        |       |
|-------------------------|------|--------|--------|--------|--------|-------|
|                         |      | H23    | H27    | H29    | H33    | H38   |
| 排出形態別                   | t/年  | 12,078 | 10,881 | 10,639 | 10,145 | 9,669 |
| 家庭系ごみ                   | t/年  | 8,957  | 8,851  | 8,614  | 8,148  | 7,699 |
| 可燃ごみ                    | t/年  | 7,722  | 7,726  | 7,493  | 6,966  | 6,437 |
| 不燃ごみ                    | t/年  | 818    | 816    | 797    | 768    | 741   |
| 資源物                     | t/年  | 402    | 294    | 312    | 402    | 509   |
| 有害ごみ                    | t/年  | 16     | 15     | 12     | 12     | 12    |
| 事業系ごみ                   | t/年  | 2,223  | 1,233  | 1,241  | 1,241  | 1,241 |
| 団体資源                    | t/年  | 897    | 797    | 784    | 756    | 729   |
| 1人1日当たりの排出量             | g/人日 | 913    | 855    | 855    | 845    | 835   |
| 家庭系ごみ                   | g/人日 | 677    | 696    | 692    | 679    | 665   |
| 資源を除く家庭系ごみ              | g/人日 | 611    | 629    | 624    | 602    | 578   |
| 不燃ごみ中の資源物 <sup>※1</sup> | g/人日 | 35     | 43     | 43     | 43     | 43    |
| 資源物                     | g/人日 | 30     | 23     | 25     | 34     | 44    |
| 団体資源                    | g/人日 | 68     | 63     | 63     | 63     | 63    |
| 1日当たりの事業系ごみ             | t/日  | 6.1    | 3.4    | 3.4    | 3.4    | 3.4   |

※小数点以下を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

※1 不燃ごみ中の資源物はカン、ビン、小型家電、ペットボトル

## 第 4 項 ごみの発生・排出抑制施策の展開

基本方針を達成させるための主な施策を以下に示します。

図 4-19 施策体系

| 基本方針                            | 基本方針に基づく主な施策  |
|---------------------------------|---|
| I : 3Rの推進                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) マイバッグの活用とレジ袋の削減の推進</li> <li>(2) 生ごみの水切り、食べ残しの削減</li> <li>(3) リターナブル容器の活用</li> <li>(4) 長期使用の推進</li> <li>(5) 発生源における排出抑制・資源化の推進</li> <li>(6) 食品リサイクル法に基づく肥料化・飼料化の推進</li> </ul>   |
| II : 安心安全で環境にやさしいごみ処理の推進        | <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 適正排出しやすい環境づくり</li> <li>(2) ごみ分別への協力</li> <li>(3) 適正な処理・処分の実施</li> <li>(4) 家庭ごみの有料化の検討</li> <li>(5) 多量排出事業者等への指導</li> <li>(6) 許可業者の指導・育成</li> <li>(7) 彩の国資源循環工場の適切な運営管理</li> <li>(8) 温室効果ガス排出量の削減</li> <li>(9) 災害廃棄物の迅速・適正処理</li> </ul> |
| III : 住民・事業者が実践し協働しやすいごみ処理体制の構築 | <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 情報提供と普及啓発</li> <li>(2) 住民等への支援</li> <li>(3) 廃棄物を再生資源とした利用推進</li> </ul>   |

## 1. 行政による施策展開

行政が自ら実施する取り組み及び住民・事業者が実施する取り組みへの支援策について、今後も継続して行います。

| 施策  |               | H29 年度 | H33 年度 | H38 年度 |
|-----|---------------|--------|--------|--------|
| (1) | 情報提供と普及啓発     | →      |        |        |
| (2) | 住民等への支援       | →      |        |        |
| (3) | 適正排出しやすい環境づくり | →      |        |        |
| (4) | 適正な処理・処分の実施   | →      |        |        |
| (5) | 家庭ごみの有料化の検討   |        | →      |        |
| (6) | 多量排出事業者等への指導  | →      |        |        |
| (7) | 許可業者の指導・育成    | →      |        |        |
| (8) | 温室効果ガス排出量の削減  | →      |        |        |
| (9) | 災害廃棄物の迅速・適正処理 | →      |        |        |

## 2. 住民による施策展開

住民が自ら実施する取り組み及び住民が実施する取り組みへの支援策について、今後も継続して行います。

| 施策  |                    | H29 年度 | H33 年度 | H38 年度 |
|-----|--------------------|--------|--------|--------|
| (1) | マイバッグの活用とレジ袋の削減の推進 | →      |        |        |
| (2) | 生ごみの水切り、食べ残しの削減    | →      |        |        |
| (3) | リターナブル容器の活用        | →      |        |        |
| (4) | 長期使用の推進            | →      |        |        |
| (5) | ごみ分別への協力           | →      |        |        |
| (6) | 温室効果ガス排出量の削減       | →      |        |        |

### 3. 事業者による施策展開

---

事業者が自ら実施する取り組み及び事業者が実施する取り組みへの支援策について、今後も継続して行います。

|     | 施策                     | H29 年度 | H33 年度 | H38 年度 |
|-----|------------------------|--------|--------|--------|
| (1) | 発生源における排出抑制・資源化の推進     |        |        |        |
| (2) | 適正な処理の実施               |        |        |        |
| (3) | ごみ分別への協力               |        |        |        |
| (4) | 食品リサイクル法に基づく肥料化・飼料化の推進 |        |        |        |
| (5) | 温室効果ガス排出量の削減           |        |        |        |

### 4. その他民間活用による施策展開

---

その他民間活用による取り組みについて、今後も継続して行います。

|     | 施策                | H29 年度 | H33 年度 | H38 年度 |
|-----|-------------------|--------|--------|--------|
| (1) | 廃棄物を再生資源とした利用推進   |        |        |        |
| (2) | 彩の国資源循環工場の適切な運営管理 |        |        |        |

## 第 5 項 ごみの適正処理に関する基本的事項

### 1. 収集・運搬計画

#### 1) 現行収集・運搬体制の継続

収集・運搬は、今後も本町が行います。

委託業者や許可業者には低公害の収集運搬車両の積極的な導入や環境に配慮した収集運搬に努めるよう、協力をお願いします。

#### 2) 収集地区、頻度の見直し

家庭系ごみの収集運搬は、可燃ごみ及び資源物は可燃ごみ集積所、不燃ごみは不燃ごみ集積所、粗大ごみ及び有害ごみは指定場所にて収集を行います。

ごみの種類によって排出場所が異なることから、最適な収集地区の分けや収集頻度等の見直しを検討します。見直しに際しては、中間処理施設の運転状況を考慮し、組合及び構成市町と連携を図りながら進めるものとします。

#### 3) 分別区分に応じた収集・運搬体制の見直し

本町では、プラスチック製容器包装ごみ等の分別収集を行っていませんが、新たな分別区分を設ける場合やごみの分別区分の見直しは、組合と連携し、見直すものとします。また、分別方法、収集・運搬方法、処理方法についても組合と協議し、推進していくものとします。

組合の構成市町では、分別区分が統一されていないため、今後は、収集・運搬や処理方法を考慮し、統一に向けた検討を行います。

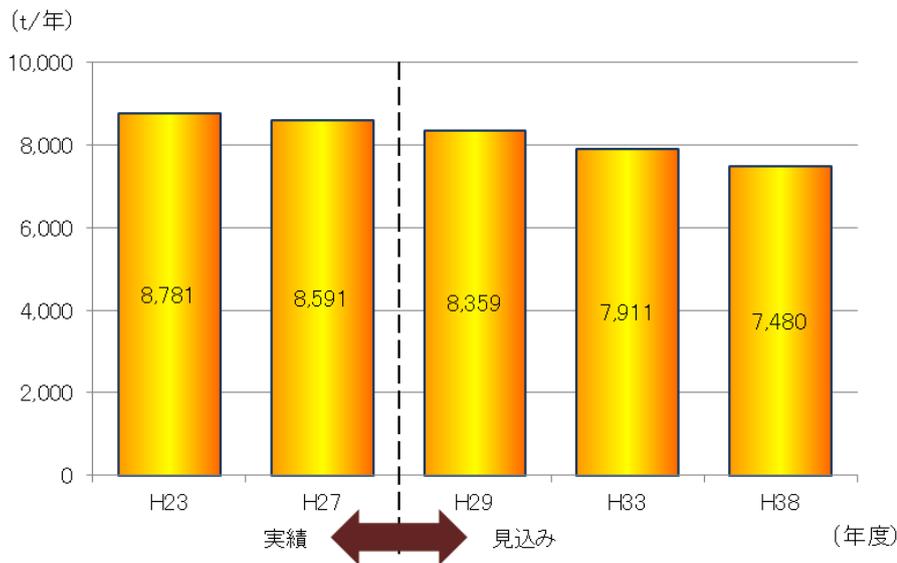
#### 4) 多量排出事業者

多量に排出する事業者や小売店等に対し、ごみの減量、簡易包装の実施、レジ袋の削減等の指導を行います。

#### 5) 収集運搬量

家庭系ごみ収集運搬量の見込みは次に示すとおりです。

図 4-20 家庭系ごみの収集運搬量の推移



## 2. 中間処理計画

### 1) 中間処理の体制

可燃ごみ、不燃ごみ及び直接搬入ごみの中間処理は、今後も組合において行います。資源物は本町で委託処理を継続します。

### 2) 焼却や選別による資源の回収の推進

今後も焼却施設での熱回収や焼却残渣の資源化、不燃ごみ処理施設での金属等の資源回収を推進します。

### 3) 中間処理施設の長寿命化の推進

今後も現状の処理体制を維持するものとしませんが、深谷清掃センター（平成 4 年 4 月稼動）は稼動後 20 年以上、江南清掃センター（昭和 54 年 12 月稼動）は稼動後 30 年以上経過しているため、各施設の基幹的設備の改良工事を行います。

また、中間処理施設を適正に管理・運営することにより、環境への負荷を減らしながら、計画的かつ効率的な維持管理を推進し、施設の長寿命化を図るものとしします。

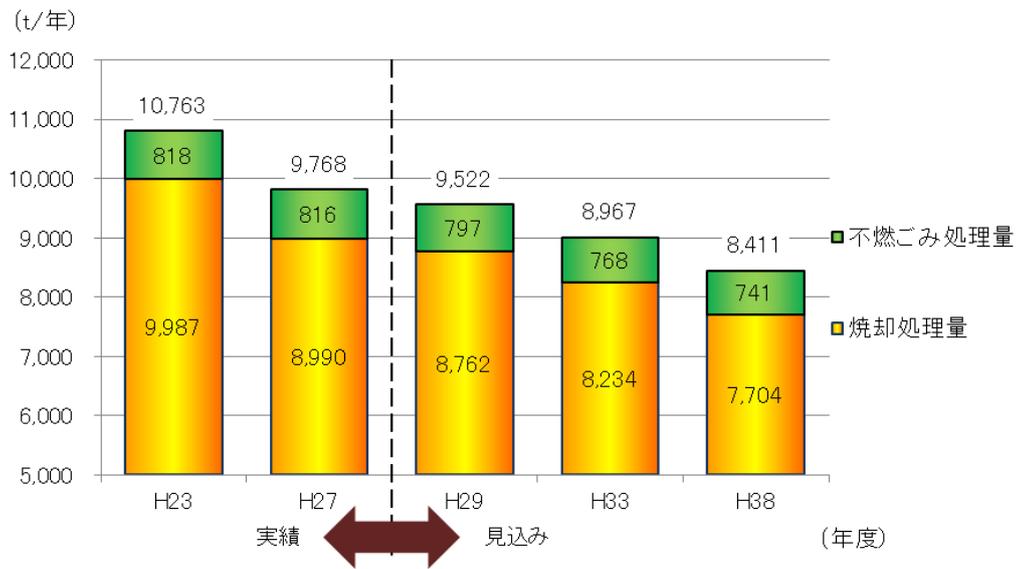
### 4) 中間処理量

中間処理量を以下に示します。

可燃ごみ減少により焼却処理量の推移は、年々減少する見込みです。

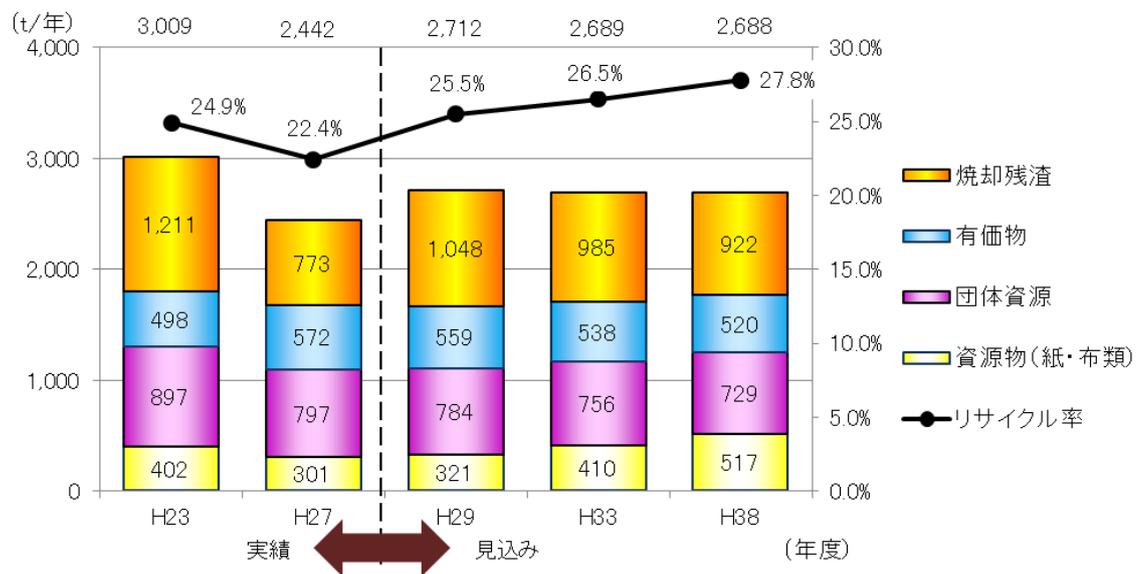
一方、外部委託量を除く資源化量は分別の徹底等の施策により平成 38 年度に 2,688t となり、リサイクル率は 27.8%となる見込みです。

図 4-21 中間処理量の推移



※焼却処理量には不燃ごみ処理後の可燃残渣が含まれているため、中間処理量合計からは除きます。

図 4-22 資源化量とリサイクル率の推移



## 5) 中間処理施設の整備

### (1) 中間処理施設の規模

ごみ排出量の推計結果より、可燃ごみ却焼却施設の規模は次のとおりで約 30t/日となり、資源物処理施設の施設規模は約 5t/日となります。

|                        |  |  |
|------------------------|--|--|
| <b>■可燃ごみ焼却施設の施設規模■</b> |  |  |
|                        | $:7,704\text{t}/\text{年}(\text{平成 } 38 \text{ 年度の可燃ごみ処理量}) \div 365 \text{ 日}$ |  |
|                        | $\times \text{実稼働率}(280 \text{ 日}/365 \text{ 日}) \div \text{調整稼働率}(96\%)$      |  |
|                        | $=28.7\text{t}/\text{日}$   |  |
|                        | $\Rightarrow 30\text{t}/\text{日}$  |  |

|                       |  |                                  |
|-----------------------|--|----------------------------------|
| <b>■資源物処理施設の施設規模■</b> |  |                                  |
| 1.カン                  | $61\text{t}/\text{年} \div 200 \text{ 日} \times 1.15(\text{変動係数})$  | $=0.4\text{t}/\text{日}$          |
| 2.ビン                  | $294\text{t}/\text{年} \div 200 \text{ 日} \times 1.15(\text{変動係数})$ | $=1.7\text{t}/\text{日}$          |
| 3.小型家電                | $56\text{t}/\text{年} \div 200 \text{ 日} \times 1.15(\text{変動係数})$  | $=0.4\text{t}/\text{日}$          |
| 4.ペットボトル              | $91\text{t}/\text{年} \div 200 \text{ 日} \times 1.15(\text{変動係数})$  | $=0.6\text{t}/\text{日}$          |
| 5.その他                 | $239\text{t}/\text{年} \div 200 \text{ 日} \times 1.15(\text{変動係数})$ | $=1.4\text{t}/\text{日}$          |
|                       | 合計 4.5t/日  | $\Rightarrow 5\text{t}/\text{日}$ |

### (2) 一般廃棄物の処理システム最適化の検討

可燃ごみについては、大里広域市町村圏組合（江南清掃センター・深谷清掃センター）に委託して処理しています。可燃ごみにはプラスチックやゴム、紙類などが含まれているため、焼却処理をしていますが、今後も焼却処理し効率的に熱回収を行う必要性があります。また、ごみ処理量 1 t 当たりの建設費を抑えること、ライフサイクルコストを抑えること、環境負荷を低減させること、また高効率に熱を回収すること等を考慮すると、今後もしできる限り広域処理することが望ましいと考えられます。

組合の焼却施設は大規模な基幹的設備改良を行い、今後も現状の処理体制で処理を継続させますが、将来的には高効率な発電を行う大規模な施設に集約させることも考えられます。地域の将来のごみ処理に関する状況を踏まえ、組合構成団体との協議のもと、最適なシステムを検討する必要があります。

他方、カン、ビン等の資源物は、大里広域市町村圏組合（大里広域クリーンセンター）で委託して処理していますが、こちらも、ごみ処理量 1 t 当たりの建設費を抑えること、ライフサイクルコストを抑えること等を考慮すると、今後もしできる限り広域処理することが望ましいと考えられます。

### 3. 最終処分計画

#### 1) 最終処分量の減量化

最終処分量を減量化するため、「資源物の分別収集」「不燃ごみ処理施設での金属等の資源物の回収」「焼却施設での減量化」を継続します。

回収した資源は、組合圏域や県内の再生資源化事業者で再利用するよう努めます。

#### 2) 最終処分先の検討

焼却施設で減量化後に発生する焼却残渣は、熊谷市内にある再生資源化事業者でセメント原料として再生利用しており、今後も継続します。

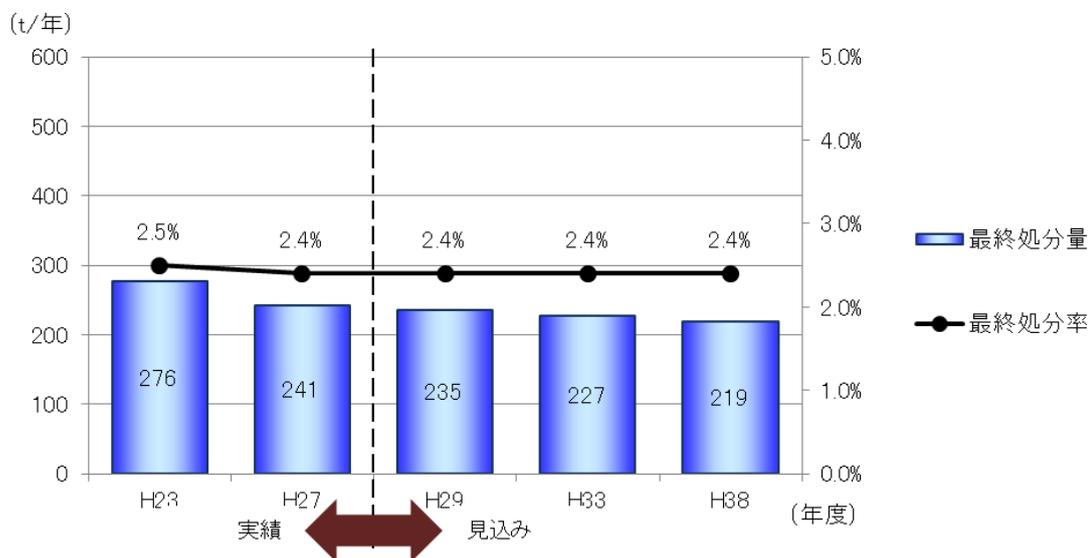
一方、再生利用に適さない残渣は、埼玉県環境整備センターなどで処分を行っていますが、ごみの発生抑制や資源化等の施策により処分量を削減していきます。

最終処分は、埼玉県環境整備センターなどを利用しますが、将来にわたり安定的な最終処分ができるよう、処分先の検討を併せて行います。処分先は、組合圏域や近隣の施設の優先的な活用を検討していきます。

#### 3) 最終処分量

最終処分の計画量を以下に示します。

図 4-23 最終処分量と最終処分率の推移



## 第 6 項 ごみ処理・処分技術の動向

### 1. 可燃ごみの処理方式

可燃ごみの処理方式は、大きく分けて焼却、熔融、燃料化等に分類されます。これらの処理方式の概要は以下に示します。なお、各処理方式の技術概要については、次ページ以降に示します。

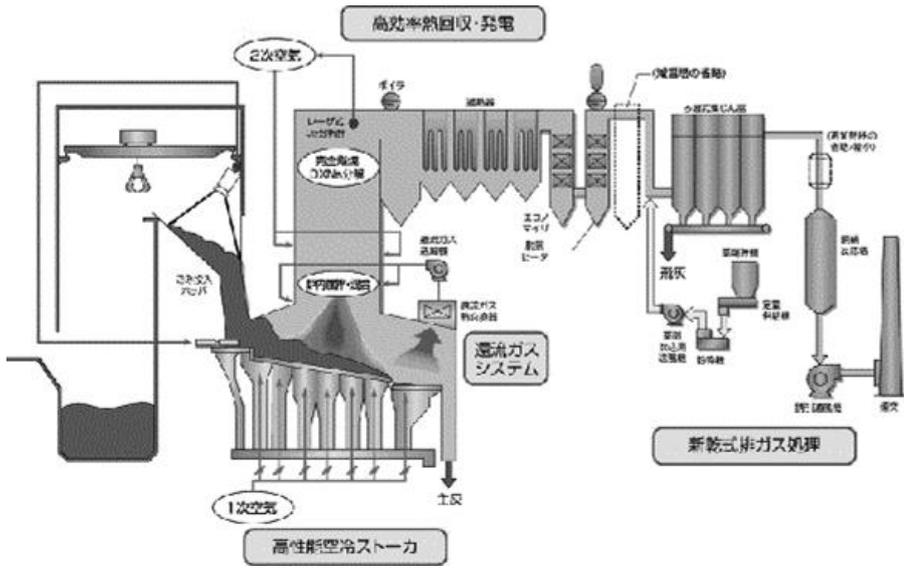
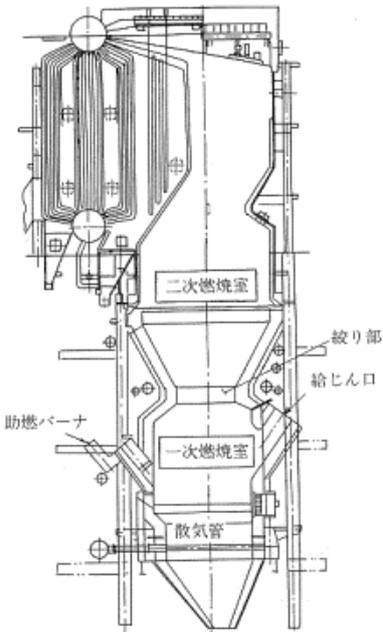
表 4-7 可燃ごみの代表的な処理方式

| 処理方式 | 技術名称       |        |
|------|------------|--------|
| 焼却   | ストーカ式+灰熔融  |        |
|      | ストーカ式      |        |
|      | 流動床式       |        |
|      | キルン式       |        |
| 熔融   | 分離型        | 流動床式   |
|      |            | キルン式   |
|      | 一体型        | シャフト炉式 |
| 燃料化  | 炭化         |        |
|      | バイオガス化     |        |
|      | 固形燃料化(RDF) |        |
| その他  | たい肥化 等     |        |

表 4-8 処理方式の概要

| 項目  | 概要  |
|-----|---|
| 焼却  | 可燃ごみを酸素のある状態で燃焼させ焼却灰とする方法。<br>ダイオキシン特措法により炉内を 850℃以上とする必要がある。一部のストーカでは 1,000℃以上の温度で処理する方式もある。<br>焼却灰を熔融する場合には灰熔融施設が必要となる。 |
| 熔融  | 可燃ごみを都市ガスや電気、コークス等により高温に熱し、スラグとする方法。<br>使用する燃料により、処理する温度域に違いがある。<br>・都市ガス、電気 1,200～1,300℃程度<br>・コークス 1,700～1,800℃程度       |
| 燃料化 | 可燃ごみ及びその一部を原料として燃料を生成し、化石燃料の代替燃料として活用する方法。<br>生成する燃料により様々な処理方式がある。  |
| その他 | 一部の可燃ごみを対象とし、上記以外の方法で、資源化する処理方式。生ごみのたい肥化、木材や剪定枝のチップ化などがある。  |

表 4-9 焼却処理方式の技術概要

| 処理方式         | 概要   |
|--------------|--|
| <p>ストーカ炉</p> | <p>廃棄物をストーカ(「火格子」と呼ばれるごみを燃やす場所。下から空気を送りこみ、ごみを燃えやすくするため、金属の棒を格子状に組み合わせてある)の上で転がし、焼却炉上部からの輻射熱で乾燥、加熱し、攪拌、移動しながら燃やす仕組みの焼却炉。国内の焼却炉で最も多く使われている方式。ストーカの形状やごみの炉内での移動方式により揺動式、階段式、回転式等いろいろな種類がある。</p>  <p style="text-align: right;">出典(図):環境省</p> |
| <p>流動床炉</p>  | <p>塔状の炉内に多孔板又は多孔管があり、その上に「けい砂」による流動層を形成させ、下部から予熱空気を送り、上部からごみを投入し、炉内の流動状態で浮遊する高温の砂とごみを接触させることにより、焼却させる焼却炉。<br/>無機物は乾燥状態で排出される。燃烧残渣のほとんどは、多量の飛灰として排出される。</p>  <p style="text-align: right;">出典(図):環境省</p>                                 |

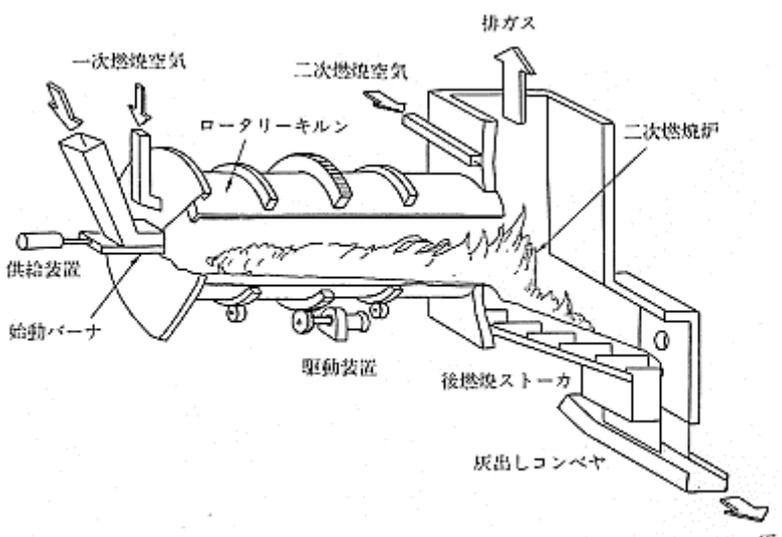
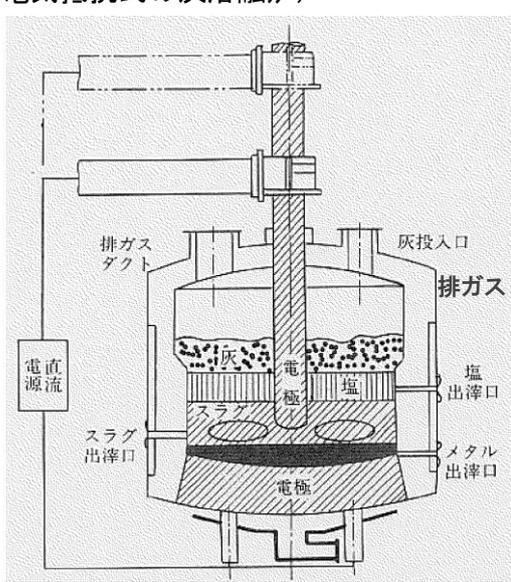
| 処理方式        | 概要   |
|-------------|--|
| <p>キルン式</p> | <p>耐火材を内張りした横型円筒炉(ロータリーキルン)をゆっくりと回転させ、廃棄物を攪拌、焼却する焼却炉。円筒軸は排出側に向けて下り斜面を形成している。流動性のある泥状物や粉体、プラスチック等を含む災害廃棄物や産業廃棄物の処理に利用される。</p>  <p>出典(図):環境省</p> |
| <p>灰溶融炉</p> | <p>都市ガスや電気などを熱源に「焼却灰」を高温で溶融する専用の炉であり、処理後にスラグ、メタルを回収する。<br/>(図は電気を使った電気抵抗式の灰溶融炉)</p>  <p>出典(図):環境省</p>  |

表 4-10 溶融処理方式の技術概要

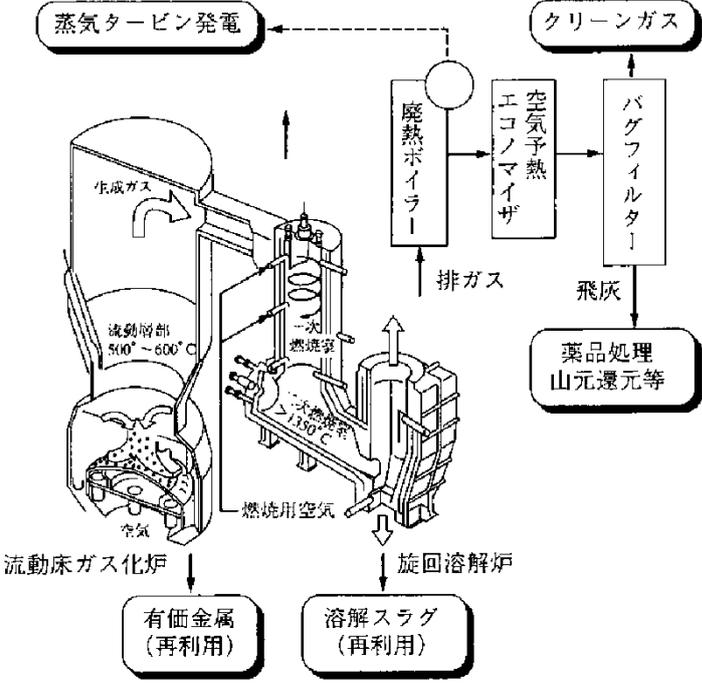
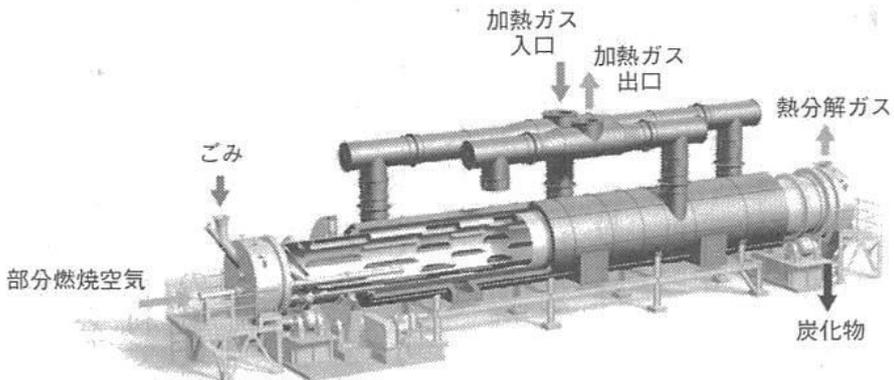
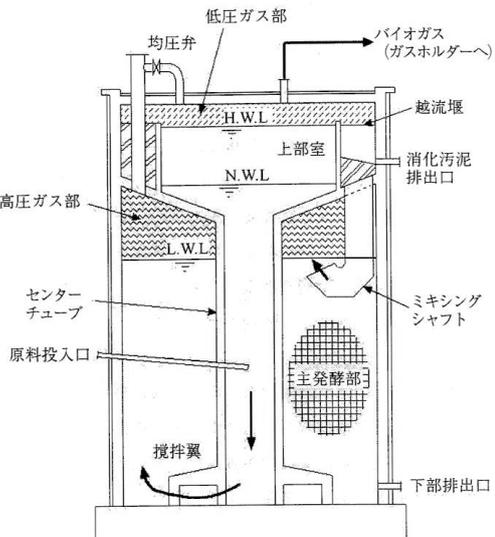
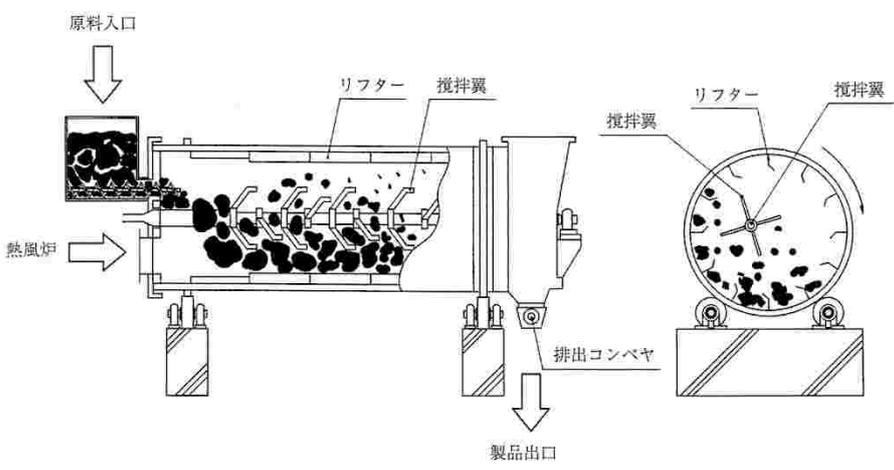
| 処理方式                    | 概要   |
|-------------------------|--|
| 分離型<br>(流動床式)<br>(キルン式) | <p>前段に流動床炉やロータリーキルンを設置し、ごみを 500~600℃で蒸し焼きにして熱分解性ガスを発生させる。また、残った熱分解性残渣を後段の溶融炉で 1,200~1,300℃以上の高温で溶融させスラグ、メタルを回収する。</p> <p>(図は流動床式の高ス化溶融炉)</p>  <p>出典(図): 環境省</p> |
| 一体型<br>(シャフト炉式)         | <p>可燃ごみにコークスや石灰石を混合し、1,700~1,800℃の熱により熱分解と溶融を一体で行う処理方式。処理対象物を燃焼・溶融させ、スラグ・メタルを回収する。</p>  <p>出典(図): 環境省</p>  |

表 4-11 燃料化処理方式の技術概要

| 処理方式     | 概要   |
|----------|--|
| 炭化       | <p>ごみを無酸素状態において高温(500℃程度)で熱分解し、可燃性の熱分解ガスと熱分解残渣(チャー)に分離した後、熱分解残渣から炭化物を回収する。熱分解ガスは、ガス燃焼設備で燃焼し炭化炉における熱源として利用する。炭化物は石炭に比べ、発熱量はやや低いが、脱塩処理の上でキルンや石炭焚きボイラ等の燃料として利用される。</p>  <p>出典(図):ごみ処理施設整備の計画・設計要領</p>                             |
| バイオガス化方式 | <p>バイオガス化技術は、有機性廃棄物(生ごみ等)を対象として、嫌気発酵しバイオガスを得る技術である。バイオガスとは、有機性廃棄物を原料とする微生物利用のメタン発酵によって発生するメタン 60%と二酸化炭素 40%の混合ガスをいう。発酵方式は、発酵温度により中温発酵と高温発酵に、水分率により乾式と湿式に分類される。消化液、消化汚泥及び残渣(不燃物、金属類)が発生する。</p>  <p>出典(図):ごみ処理施設整備の計画・設計要領</p> |

| 処理方式  | 概要   |
|-------|--|
| 固形燃料化 | <p>固形燃料化は、可燃ごみを燃料として取り扱える性状にする技術である。生成される固形燃料を総称して RDF (Refuse Derived Fuel) と呼ぶ。</p>  <p>出典(図):ごみ処理施設整備の計画・設計要領</p> |

## 2. 不燃・粗大ごみの処理方式

不燃・粗大ごみの処理方式は、大きく分けて切断式、回転式（高速、低速）の2種類に分かれます。これらの処理方式の概要を以下に示します。

表 4-12 不燃・粗大ごみの処理方式の概要

| 方式          | 概要  |  |
|-------------|---|--|
| 切断式         | <p>切断刃でゴミを押し切る方式。可燃性の粗大ゴミ、家具、廃材、畳、ふとん等の軟質物、延性物の処理に適する。</p> <p>刃の動く方向によって縦型、横型及びこれらを組み合わせた複合型がある。</p> <p>破碎時の衝撃が少ないことから、爆発の危険性が少ない。</p>  |  |
| 回転式<br>(高速) | <p>主として高速で回転するロータにハンマ状のものを取り付け、ケーシングに固定したバーや衝突板の間の衝撃、せん断、すりつぶし作用によって破碎する方式。ロータ軸の方向によって横型と縦型に分けられ、ハンマ等形式の違いにより様々な方式がある。</p> <p>固いものを破碎するのに適しており、繊維製品やマットレス等の柔らかいものは破碎しにくい。大容量の処理が可能である。破碎中の衝撃による粉じんや火花が爆発や火災の原因となることがある。</p> <p>固いものは細かく碎かれ、柔らかいものは粒度が大きくなるため、破碎した後、粒度や比重を利用した不燃性ゴミとプラスチック、紙類等の可燃性のゴミの選別、磁選機やアルミ選別機を利用した鉄くずや非鉄金属の回収ができる。</p> |  |
| 回転式<br>(低速) | <p>低速で回転する回転刃と固定刃又は2軸の回転刃の間でせん断する方式。</p> <p>軟質のプラスチックや繊維類の破碎に適しているが、大きな金属片やコンクリート塊の処理は困難である。特定の質のそろったゴミを資源回収等の目的で破碎するのに適する。</p> <p>低速で破碎処理を行うため、爆発、引火の危険性、粉じんの発生量等は比較的少ないが、対策は必要である。</p>  |  |

出典(図):ごみ処理施設整備の計画・設計要領

### 3. 最終処分等の方式

ごみ処理の最終処分等の方式として、外部処理による資源化と埋立処分について、これらの方式の概要を以下に示します。

表 4-13 最終処分等の方式の概要

| 方式             | 概要  |                 |   |
|----------------|---|-----------------|---|
| 外部処理による<br>資源化 | 【灰溶融】<br>焼却灰を電気、燃料を用いて1,200℃以上の高温で溶かし、スラグとメタルに分離する。スラグは建設資材などに利用され、メタルは重機のカウンターウェイト等に利用される。 |                 |   |
|                | 【エコセメント化】<br>焼却灰等を原料としてセメントを製造する。製造されたエコセメントはコンクリート製品等の建設資材に用いられる。                          |                 |   |
|                | 【山元還元】<br>亜鉛、鉛、銅等の非鉄金属を含む焼却灰や飛灰等を精錬し、非鉄金属を回収する。特に高濃度の非鉄金属を含む溶融飛灰の資源化に用いられる。                 |                 |   |
| 埋立処分           | 焼却灰や飛灰等を最終処分場に埋め立てて廃棄処分する。資源化やエネルギー回収が行えない状態の廃棄物を対象とする。最終処分場は埋立完了後も長期的に管理する必要がある。           | オープン型<br>(従来型)  | 地形を最大限活かした計画することが可能なことから、大規模な最終処分場を設置する場合に適している。しかし、埋立作業や維持管理等が天候に左右されるため、廃棄物の飛散やゲリラ豪雨等による浸出水発生量の増加が課題となっている。           |
|                |   | クローズド型<br>(覆蓋型) | 最終処分場の上部に掛ける被覆施設(屋根)により、外部環境からの影響を受けないことや、周辺環境や景観との調和が可能な施設である。被覆施設(屋根)が高額なことから、小規模な最終処分場や埋立作業の支障となる降水量の多い地域への設置に適している。 |

## 第 7 項 その他の施策

### 1. 広報啓発活動

3Rの推進には、住民・事業者等の理解と協力が不可欠であり、ごみに対する意識を高めることが必要であることから、住民・事業者に対し情報提供・啓発を行うことで、施策を広く浸透させます。

主な施策を以下に示します。

- ・ ごみ減量、ごみ処理等に関する町及び組合の取り組み等の情報を広報、パンフレット、ホームページ、説明会等を介して提供する。
- ・ 組合の中間処理施設の見学会を実施し、資源循環に関する意識の高揚を図る。
- ・ 小学生への環境副読本等の配布や、小中学生に向けて環境教育や体験学習の実施を検討する。
- ・ 特定家庭用機器再商品化法に基づき、適正な回収、再商品化がなされるように、関係団体や小売店などと協力して住民に普及啓発を行う。

### 2. 再生利用品の需要拡大事業

焼却残渣については、今後もセメント資源化を推進します。

また、大里広域クリーンセンターで処理後に回収する鉄類、非鉄金属類、カレット、生きビン、ペットボトルについては、今後も再生事業者を介して資源化を推進します。

住民、事業者、行政が積極的に再生品を活用することにより循環型社会の形成に寄与します。

### 3. 不法投棄対策

広場、道路などのごみの散乱を防止し、美しいまちづくりを推進するため、美化団体の活動を支援します。

また、県や組合、警察などと連携し、不法投棄パトロールや家屋解体現場への立入指導などを実施することで、不法投棄防止に努めます。

### 4. 災害時の廃棄物処理に関する対応

町内において災害が発生した際は、災害廃棄物を迅速かつ適正に処理を図るため、地域防災計画に基づいた対応を推進します。また、適切な応急措置を行うため、既に締結している相互応援協定などに基づき、他市町村と連携を図り、緊急時の円滑な協力・処理体制を確保します。

なお、地震による大規模災害の場合は、被災地は本町に限らず、周辺都市にも大きな被害をもたらしていることが考えられるため、今後は友好都市や関東地方内との応援協定の締結を図ります。

## 5. 地球温暖化防止に関する対応

---

地域レベル・全国レベルで地球温暖化対策が必要とされており、地球温暖化対策を推進するため、埼玉県では「ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション 2050（埼玉県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」）を策定し、温室効果ガス排出量の削減に向けて目標設定型排出量取引制度など各種の施策を進めています。

本町でも温室効果ガス排出量の削減を進めるため、可燃ごみの削減を進め、循環型社会や低炭素社会の実現を目指します。また、委託業者や許可業者に対して、収集・運搬車両を購入する際は、走行時に温室効果ガス排出量が少ないクリーンエネルギー自動車の導入を検討するよう啓発を進めます。

## 6. 広域化の推進方策

---

組合における現在の中間処理施設は、長寿命化により継続的に使用しますが、施設全体の耐用年数を考慮すると、更なる基幹的整備は難しく建替えが必要になる施設があると考えられるため、新たなごみ処理施設の整備を検討します。検討にあたっては、二酸化炭素等の温室効果ガスの発生抑制のため、剪定枝や生ごみ等のバイオマスの有効利用を行うことや、可燃ごみから電力等のエネルギーを効率的に回収するシステムを構築することを考慮します。

## 7. 関連施設との整合

---

廃棄物処理施設の適正な処理システムの構築を図るとともに、相互の施設の活用等について検討します。

## 第 8 項 進行管理計画

### 1. 施策推進体制の整備

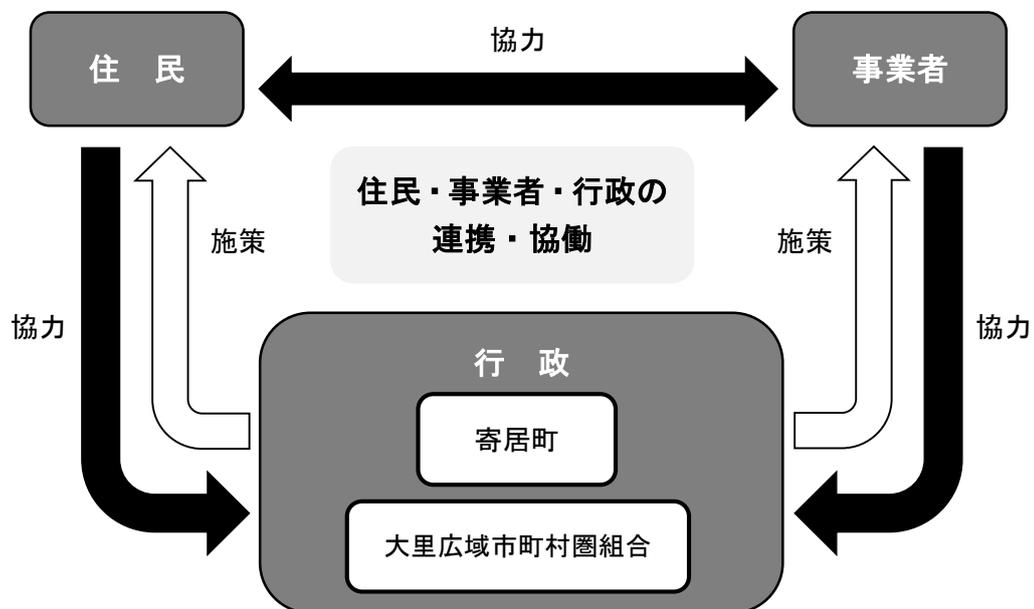
#### 1) 住民、事業者、行政などの連携

住民、事業者、行政などは、協力してごみの発生抑制、資源化に積極的に取り組みます。

#### 2) 行政における推進体制の整備

組合と連携を図りながら計画の立案、進行管理を行い、ごみの発生抑制や資源化を推進します。

図 4-24 計画の推進体制



### 2. 計画の検証方法

計画の評価については、計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果を取りまとめた時点で速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行います。また、「市町村一般廃棄物処理システム比較分析」における評価についてもひとつの指標と捉え、活用するものとする。評価の結果は公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

計画の進捗状況については、概ね5年を評価時期として、評価、見直しに関する意見を求め、評価結果を広く住民に公表すると共に、評価意見や計画の進捗状況、社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。